

第3回（2018年）
家計と貯蓄に関する調査
結果概要報告書

目 次

I 調査の概要

1. 調査目的	1
2. 調査内容	1
3. 調査対象	1
4. 抽出方法	1
5. 調査方法	1
6. 調査期間	1
7. 回収状況	2
8. 利用上の注意	2
9. 回答世帯の属性	3
(1) 回答者	3
(2) 世帯主性別	3
(3) 世帯主および配偶者の年齢	3
(4) 世帯主の子ども人数	4
(5) 同居家族人数	4
(6) 同居家族	5
(7) 別居家族有無	5
(8) 生計を別にする子どもの居住状況（複数回答）	6
(9) 世帯主および配偶者の健康状態	6
(10) 世帯主および配偶者の学歴	7
(11) 世帯主および配偶者の両親	7
(12) 年間の所得税・住民税・社会保険料	10
(13) 世帯で保有する資産（2018年新設）	11

II 結果の概要

1. 生活全般について	13
(1) 現在の生活満足度	13
(2) 日頃の生活の中での悩みや不安	16
(3) 物の豊かさと心の豊かさ	17
(4) 今後の生活において重点を置きたいこと	17
(5) 普段の外出の際に雨具を持参する降水確率	18
(6) 物価動向に関する考え	18
2. 貯蓄について	20

（１）世帯の貯蓄状況.....	20
（２）世帯で保有している預貯金・金融商品	20
（３）保有している預貯金・金融商品の現在高.....	21
（４）金融資産の世帯保有状況	26
（５）保険商品の保有状況	27
（６）世帯貯蓄の目的.....	28
3. 住居について	33
（１）現在の住居の構造・築年数・面積.....	33
（２）現在の住居の住居形態・所有者・取得方法・取得時期.....	35
（３）住居の購入資金.....	37
（４）現在の住居の購入資金調達先.....	39
（５）民間金融機関からの借入金の金利.....	40
（６）現在の住居の３年後の資産価値	41
（７）現在の住居の家賃	42
（８）住居の取得予定.....	43
4. 世帯の借入金について	46
（１）借入の状況.....	46
5. 仕事と家計について	49
（１）世帯主・配偶者の就労有無	49
（２）現在就業中の世帯主・配偶者の就労状況.....	50
（３）就業中世帯主・配偶者の就労継続希望年齢.....	55
（４）就労収入.....	56
（５）世帯収入.....	58
（６）世帯支出.....	59
（７）仕送り	60
（８）世帯の家計をまかなう収入源.....	62
（９）１年後の年間収入	63
（１０）高齢期（６５歳以上）における一か月の世帯支出額見込み.....	64
（１１）高齢期（６５歳以上）を迎えたときの家計支出の収入源	64
6. 年金について	65
（１）世帯主・配偶者の公的年金	65
（２）公的年金でまかなえる高齢期（６５歳以上）の家計支出の割合	69
（３）公的年金受給前に必要な貯蓄額	69
7. 遺産について	70
（１）子どもに残す遺産についての考え方.....	70

(2) 親からの遺産相続.....	72
(3) 配偶者の親からの遺産相続の見込み有無.....	76

Ⅲ 調査票（付：単純集計結果）

I 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、家計の貯蓄の実態や生活に関する考え方を調査することにより、家計（世帯）の金融に関する調査・研究に役立てることを目的とする。第1回を2013年に実施し、今回は第3回となる。

2. 調査内容

調査項目は次のとおりである。なお、具体的な質問内容については、巻末「Ⅲ 調査票（付：単純集計結果）」を参照。

- (1) 生活全般について
- (2) 貯蓄について
- (3) 住居について
- (4) 世帯の借入金について
- (5) 仕事と家計について
- (6) 年金について
- (7) 遺産について
- (8) 対象属性（フェイスシート）

3. 調査対象

全国の二人以上世帯 5,000 サンプル

回答は、世帯主または世帯で家計や貯蓄を管理掌握している方に依頼した。

4. 抽出方法

- (1) 層化二段無作為抽出により、全国から250の調査地点を選び、各地点から世帯員2人以上の世帯から、20歳以上の世帯主（と想定される者）を無作為に20サンプル選ぶことによって、計5,000の調査対象（標本）を抽出した。
- (2) 標本抽出は、原則住民基本台帳を使用し、住民基本台帳が閲覧できなかった地点については住宅地図より抽出した。

5. 調査方法

抽出した調査対象者に依頼状と調査票を送付した後、調査員が対象者宅を訪問し記入済調査票を回収する郵送留め置きの手法で行った。記入済調査票の回収にあたっては、対象者に「調査員による訪問」ないし「郵送」のどちらかを選んで提出してもらった。

6. 調査期間

2018年1月6日（土）～1月31日（水）

7. 回収状況

有効回収数（回収率） 2,005 サンプル（40.1%）

<地域別>

	設定数	回収数	回収率
北海道	220	119	54.1%
東北	340	174	51.2%
関東	1,800	640	35.6%
北陸	200	94	47.0%
中部	580	234	40.3%
近畿	840	275	32.7%
中国	300	145	48.3%
四国	140	49	35.0%
九州	580	275	47.4%
全国計	5,000	2,005	40.1%

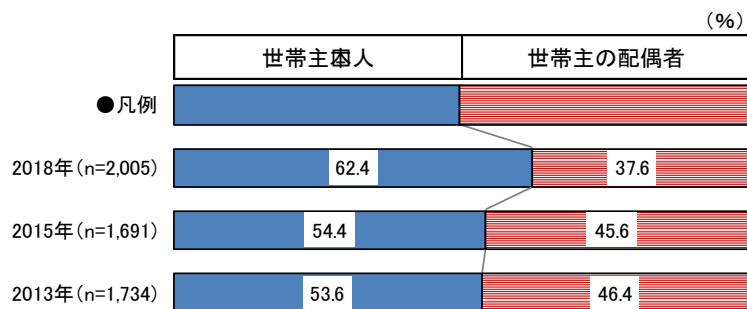
8. 利用上の注意

この調査は標本調査であるため、調査結果には統計的誤差（サンプル誤差）が含まれる。

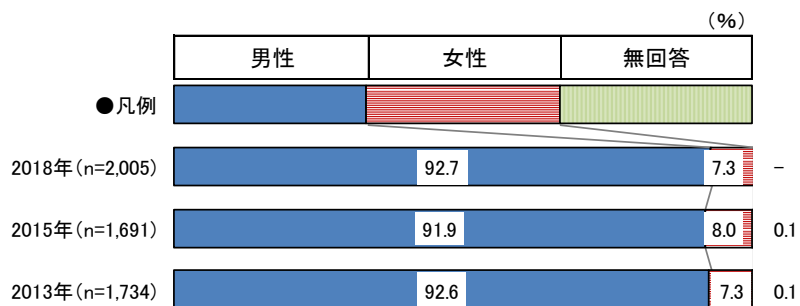
特に言及がない場合、今回の調査結果についてコメントしている。

9. 回答世帯の属性

(1) 回答者

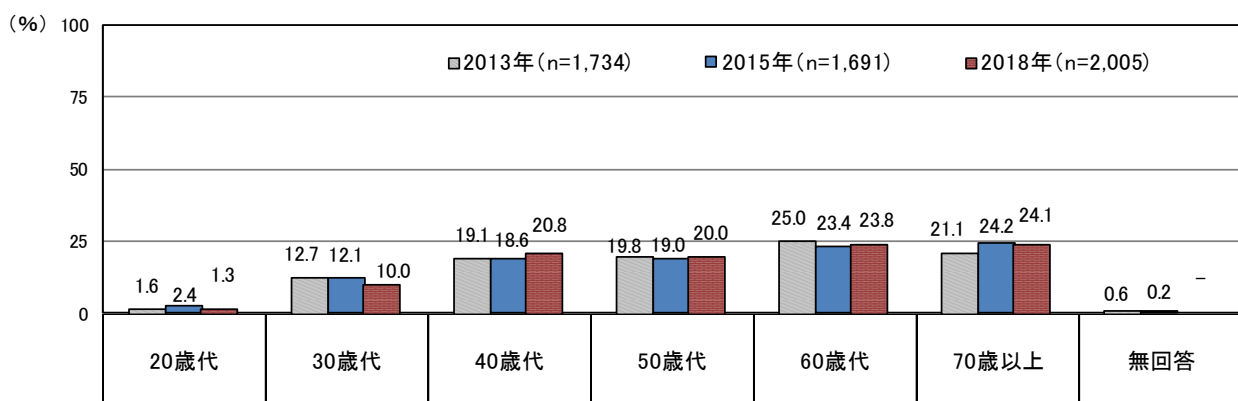


(2) 世帯主性別

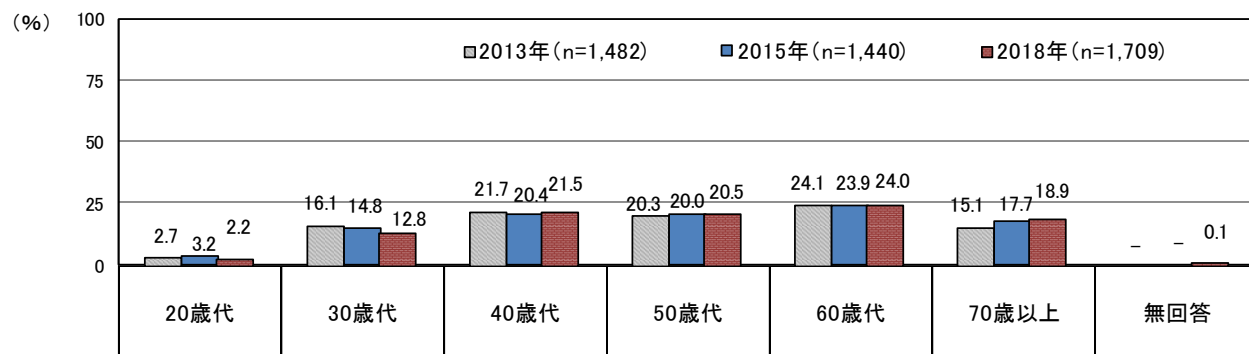


(3) 世帯主および配偶者の年齢

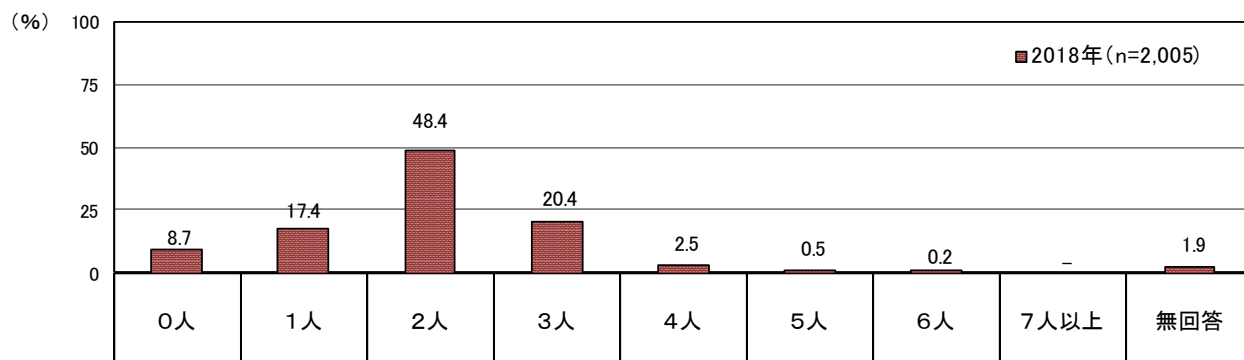
① 世帯主年齢



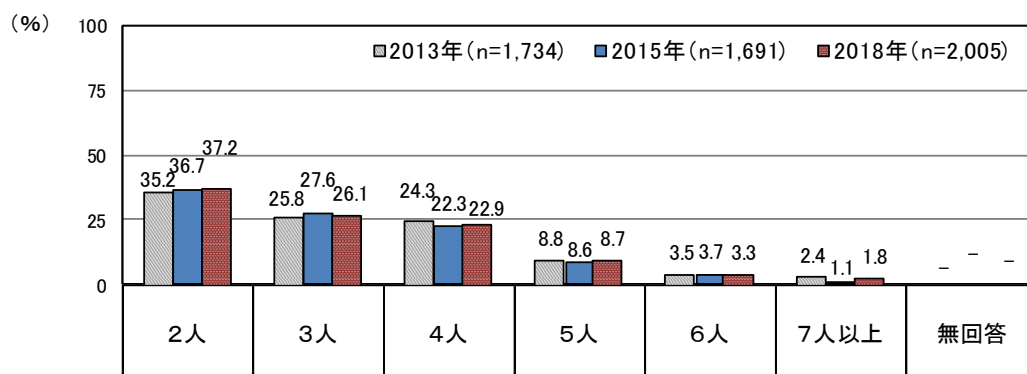
②配偶者年齢



(4) 世帯主の子ども人数 (2018年新設)

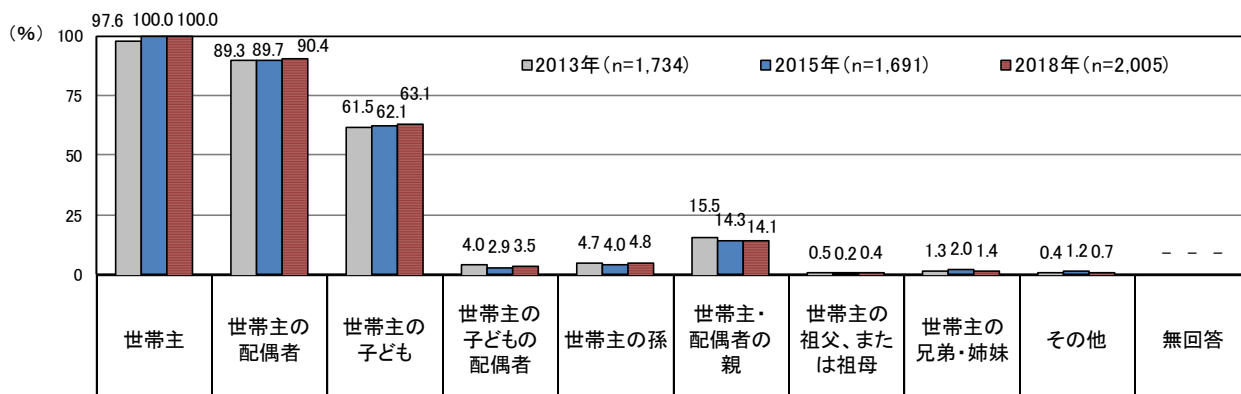


(5) 同居家族人数

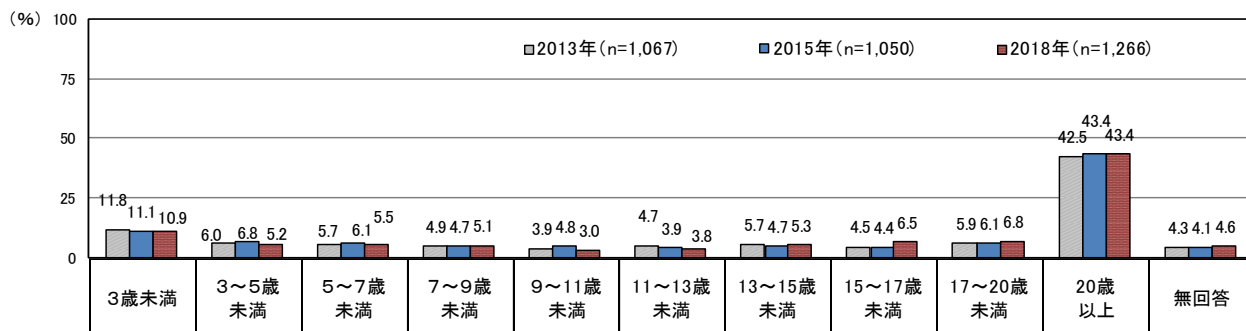


(6) 同居家族

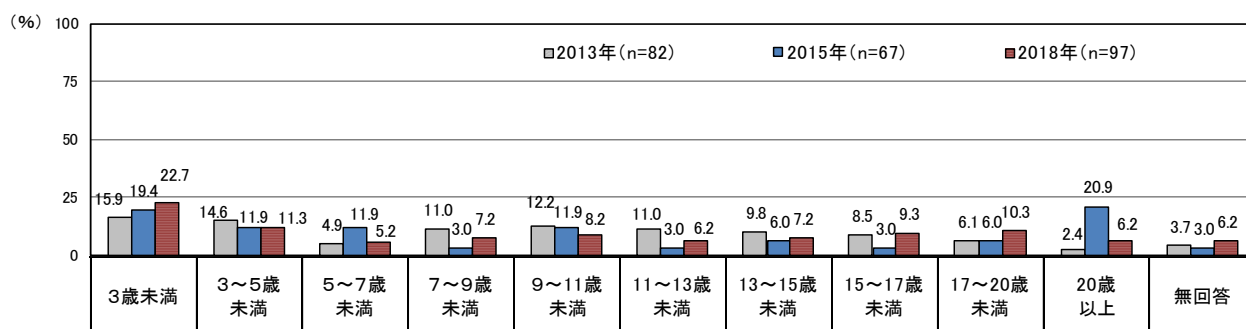
①同居家族の世帯構成（複数回答）



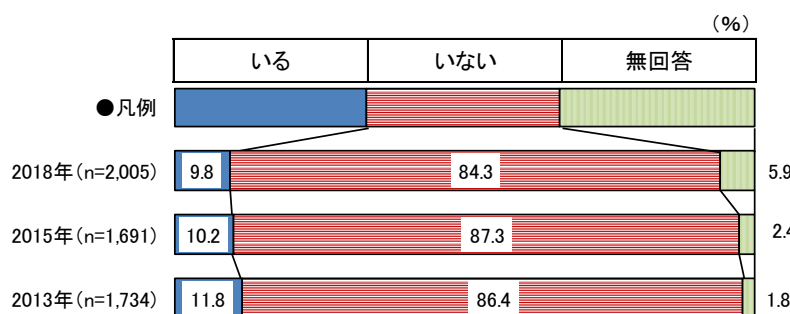
②一番年下の子どもの年齢



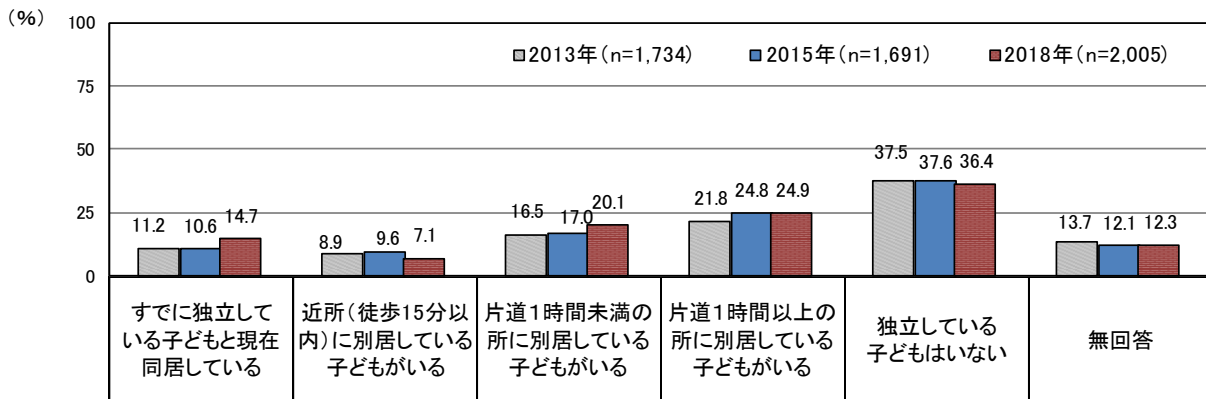
③一番年下の孫の年齢



(7) 別居家族有無

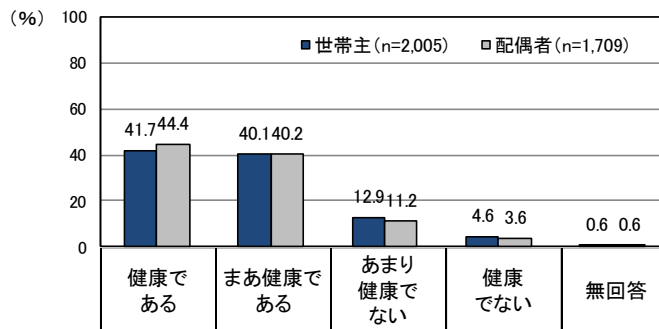


(8) 生計を別にする子どもの居住状況（複数回答）

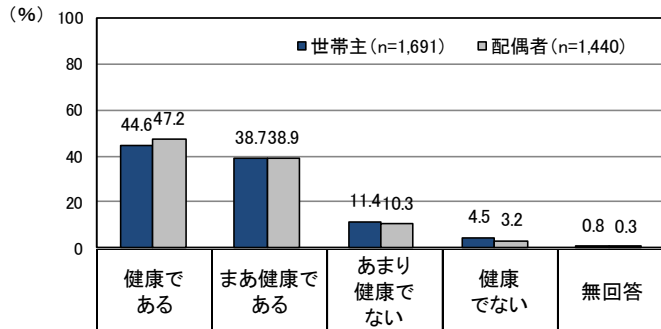


(9) 世帯主および配偶者の健康状態

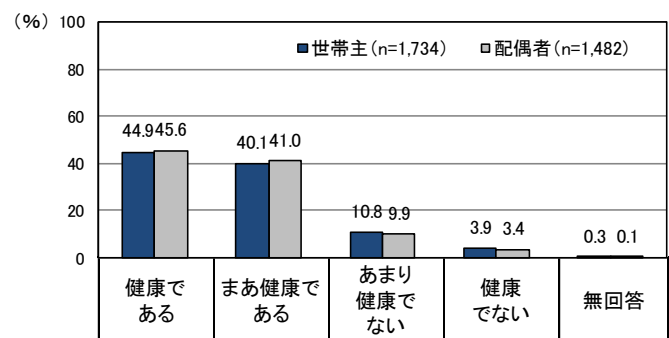
2018 年



2015 年



2013 年



(1 0) 世帯主および配偶者の学歴

2018年

(%)

		中学校 (旧制小・ 高等小)	高等学校 (旧制中・旧 制高女)	専修学校・ 各種学校	短大・高等 専門学校	大学・大学院 (文系)	大学・大学院 (理系)	その他	わからない	無回答
本人	(n=2,005)	12.2	40.6	6.4	5.9	20.3	12.3	0.1	0.2	1.8
配偶者	(n=1,709)	9.4	44.4	9.8	18.7	13.1	3.2	0.1	0.2	1.1

2015年

(%)

		中学校 (旧制小・ 高等小)	高等学校 (旧制中・旧 制高女)	専修学校・ 各種学校	短大・高等 専門学校	大学・大学院 (文系)	大学・大学院 (理系)	その他	わからない	無回答
本人	(n=1,691)	10.8	42.6	8.1	5.9	16.8	12.8	0.4	0.4	2.3
配偶者	(n=1,440)	8.7	44.9	11.2	19.2	11.4	3.5	0.1	0.1	1.0

2013年

(%)

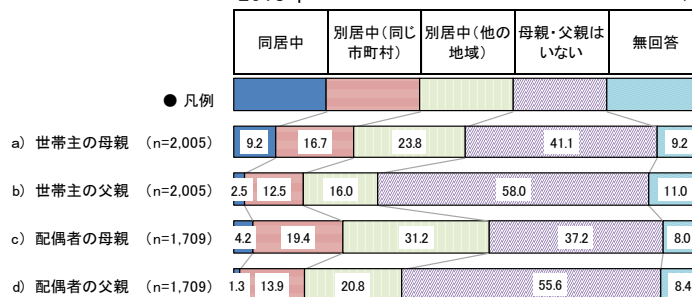
		中学校 (旧制小・ 高等小)	高等学校 (旧制中・旧 制高女)	専修学校・ 各種学校	短大・高等 専門学校	大学・大学院 (文系)	大学・大学院 (理系)	その他	わからない	無回答
本人	(n=1,734)	13.5	40.9	7.2	6.0	20.1	10.1	0.3	0.3	1.6
配偶者	(n=1,482)	10.5	44.6	11.1	20.5	10.7	1.9	0.2	0.1	0.4

(1 1) 世帯主および配偶者の両親

①同居別居状況

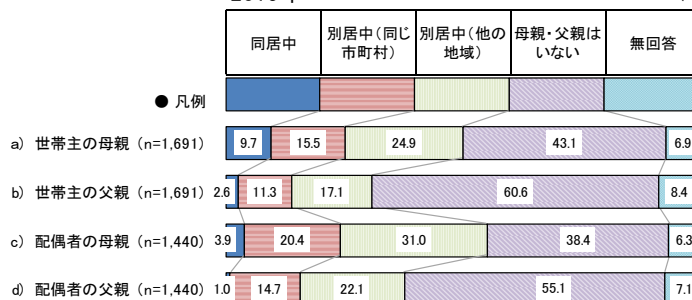
2018年

(%)



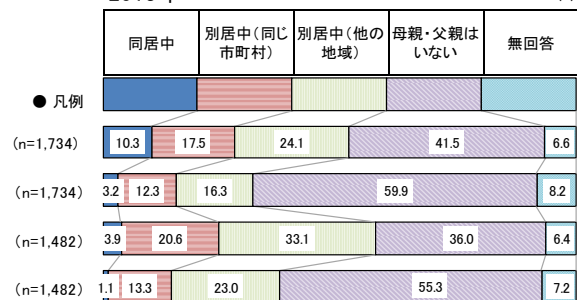
2015年

(%)

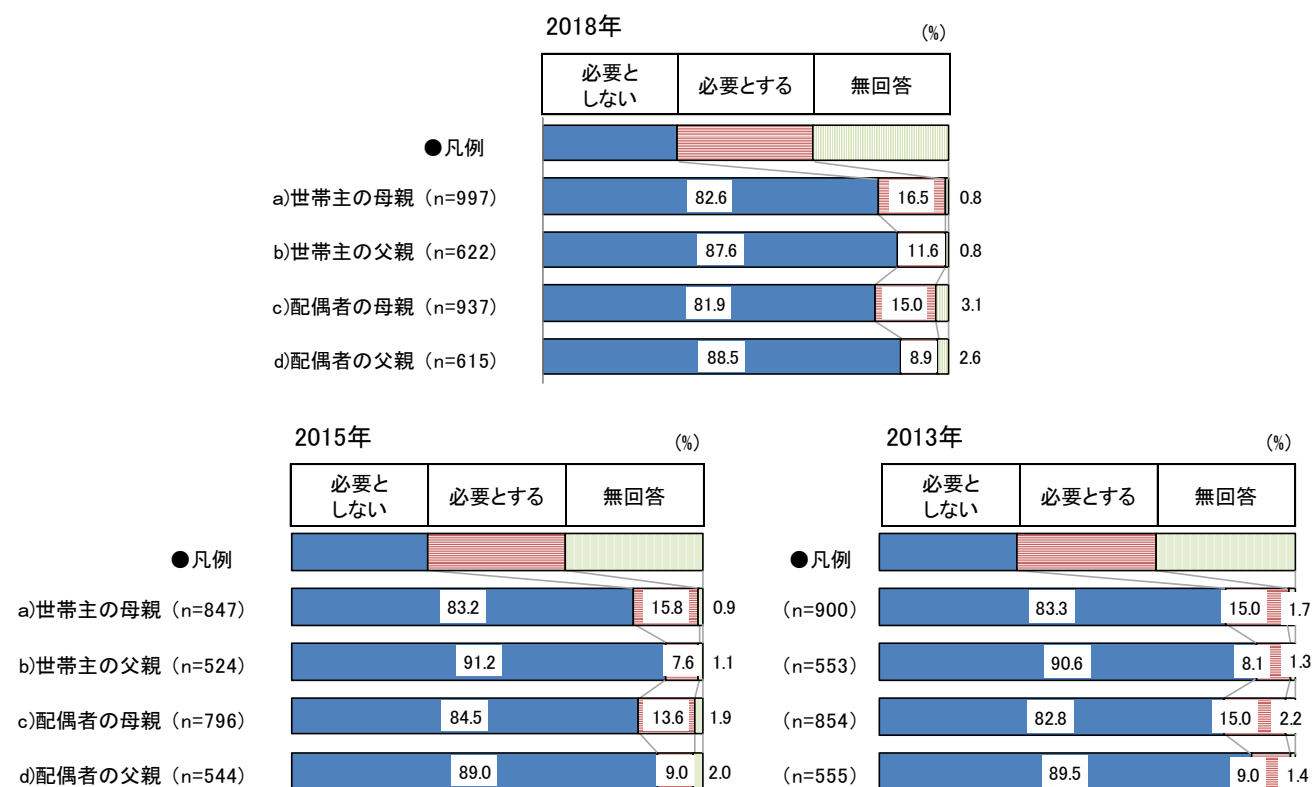


2013年

(%)



②介護の必要有無



③主な介護者（要介護の場合）

2018年

	世帯主	世帯主の配偶者	世帯主／配偶者の親	その他の親族	介護老人福祉施設	介護保健施設	療養型病床	有料老人ホーム	病院	その他	無回答
a)世帯主の母親 (n=165)	13.9	16.4	4.8	18.8	10.9	9.1	3.6	8.5	3.0	10.3	0.6
b)世帯主の父親 (n=72)	13.9	8.3	19.4	6.9	15.3	8.3	-	6.9	9.7	9.7	1.4
c)配偶者の母親 (n=141)	7.1	20.6	5.0	17.0	14.2	6.4	1.4	12.8	5.0	7.1	3.5
d)配偶者の父親 (n=55)	-	20.0	21.8	9.1	3.6	7.3	3.6	9.1	10.9	7.3	7.3

2015年

	世帯主	世帯主の配偶者	世帯主／配偶者の親	その他の親族	介護老人福祉施設	介護保健施設	療養型病床	有料老人ホーム	病院	その他	無回答
a)世帯主の母親 (n=134)	9.7	19.4	9.0	11.2	11.9	9.7	2.2	10.4	8.2	5.2	3.0
b)世帯主の父親 (n=40)	2.5	17.5	22.5	7.5	10.0	10.0	7.5	7.5	7.5	2.5	5.0
c)配偶者の母親 (n=108)	2.8	18.5	5.6	26.9	17.6	8.3	2.8	10.2	3.7	0.9	2.8
d)配偶者の父親 (n=49)	-	26.5	12.2	16.3	8.2	6.1	2.0	10.2	12.2	2.0	4.1

2013年

	世帯主	世帯主の配偶者	世帯主／配偶者の親	その他の親族	介護老人福祉施設	介護保健施設	療養型病床	有料老人ホーム	病院	その他	無回答
a)世帯主の母親 (n=135)	11.1	17.8	1.5	23.0	9.6	11.9	3.7	8.1	5.2	3.7	4.4
b)世帯主の父親 (n=45)	11.1	26.7	11.1	17.8	-	8.9	2.2	6.7	6.7	8.9	-
c)配偶者の母親 (n=128)	3.1	18.8	3.9	27.3	18.0	7.8	2.3	8.6	2.3	4.7	3.1
d)配偶者の父親 (n=50)	-	16.0	26.0	14.0	6.0	10.0	4.0	8.0	4.0	8.0	4.0

④介護費用（要介護の場合）

2018年

(%)

		3万円未満	3～5万円未満	5～7万円未満	7～10万円未満	10～15万円未満	15万円以上	わからない	費用負担はない	無回答
a)世帯主の母親	(n=165)	 21.2	 10.3	 7.3	 6.1	 6.1	 5.5	 21.2	 17.0	 5.5
b)世帯主の父親	(n=72)	 11.1	 4.2	 5.6	 5.6	 8.3	 6.9	 23.6	 27.8	 6.9
c)配偶者の母親	(n=141)	 18.4	 5.0	 5.7	 5.7	 6.4	 8.5	 27.7	 15.6	 7.1
d)配偶者の父親	(n=55)	 18.2	 3.6	 3.6	 5.5	 5.5	 1.8	 32.7	 20.0	 9.1

2015年

(%)

		3万円未満	3～5万円未満	5～7万円未満	7～10万円未満	10～15万円未満	15万円以上	わからない	無回答
a)世帯主の母親	(n=134)	 18.7	 9.0	 13.4	 11.9	 4.5	 6.7	 29.1	 6.7
b)世帯主の父親	(n=40)	 22.5	 2.5	 5.0	 15.0	 5.0	 5.0	 37.5	 7.5
c)配偶者の母親	(n=108)	 19.4	 7.4	 7.4	 11.1	 8.3	 3.7	 38.0	 4.6
d)配偶者の父親	(n=49)	 14.3	 8.2	 2.0	 8.2	 12.2	 8.2	 42.9	 4.1

2013年

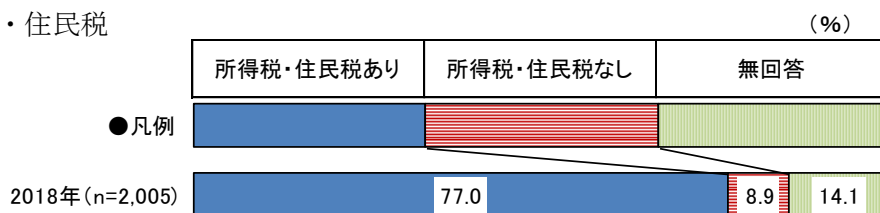
(%)

		3万円未満	3～5万円未満	5～7万円未満	7～10万円未満	10～15万円未満	15～20万円未満	20～25万円未満	25～30万円未満	30万円以上	その他	無回答
a)世帯主の母親	(n=135)	 10.4	 8.9	 10.4	 8.9	 11.1	 3.7	 0.7	 -	 -	 45.9	 4.4
b)世帯主の父親	(n=45)	 13.3	 6.7	 4.4	 4.4	 8.9	 4.4	 2.2	 2.2	 -	 53.3	 -
c)配偶者の母親	(n=128)	 15.6	 9.4	 5.5	 6.3	 10.2	 1.6	 1.6	 -	 -	 50.0	 3.1
d)配偶者の父親	(n=50)	 18.0	 2.0	 8.0	 2.0	 12.0	 6.0	 -	 -	 -	 52.0	 4.0

※2013 年は実数回答で質問。2015 年と 2018 年は選択式で質問。

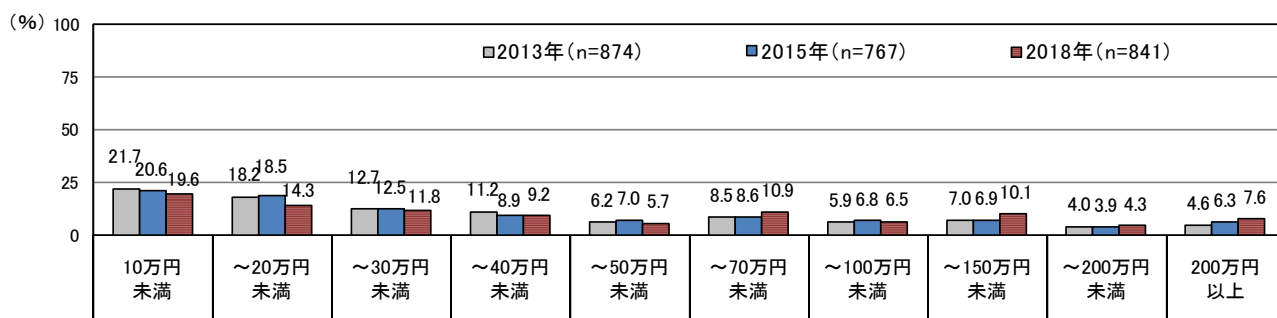
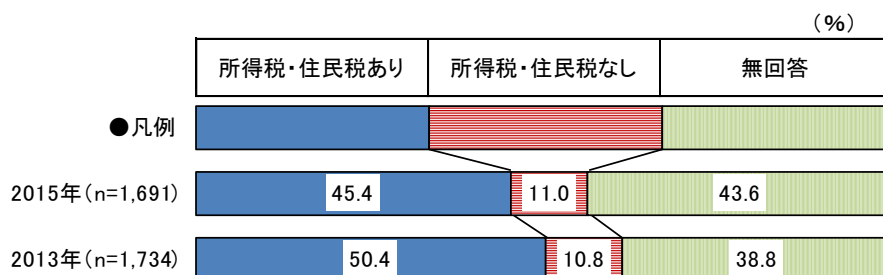
(12) 年間の所得税・住民税・社会保険料

①所得税・住民税

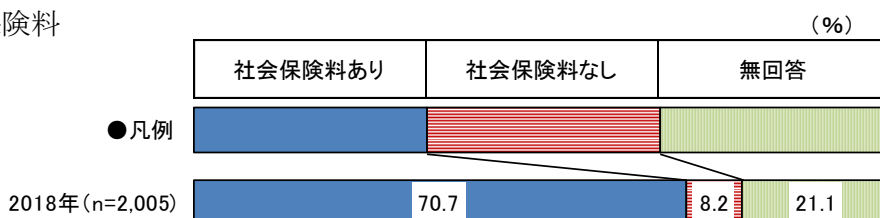


※2018年から質問の形式を変更した。2018年の「あり」77.0%には、具体金額は無回答のケース703s(35.0%)を含む。

<参考>

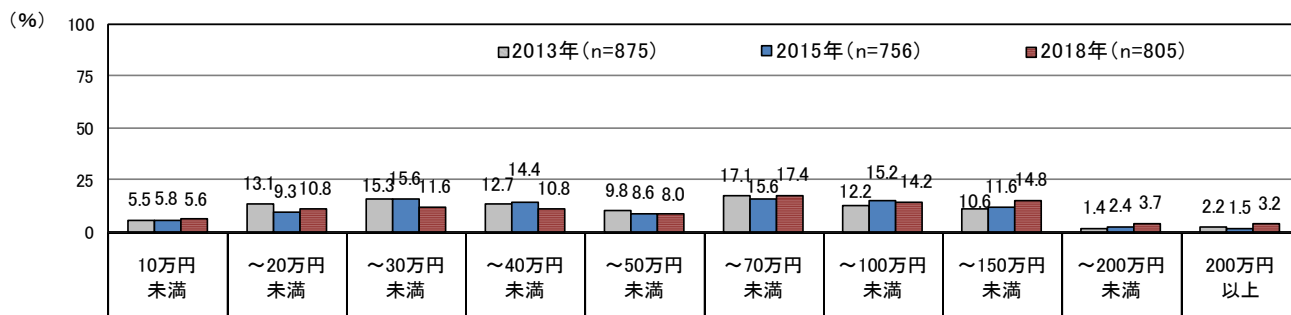
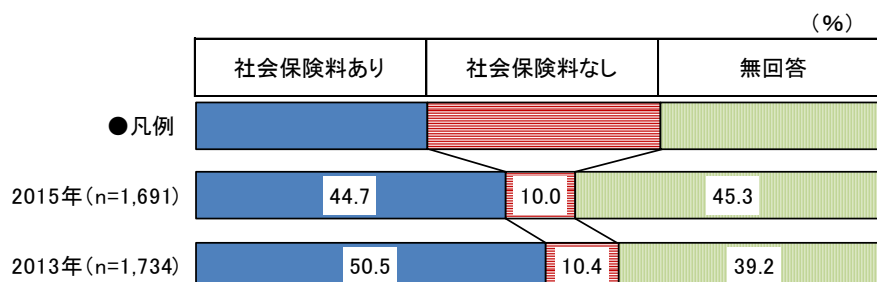


②社会保険料

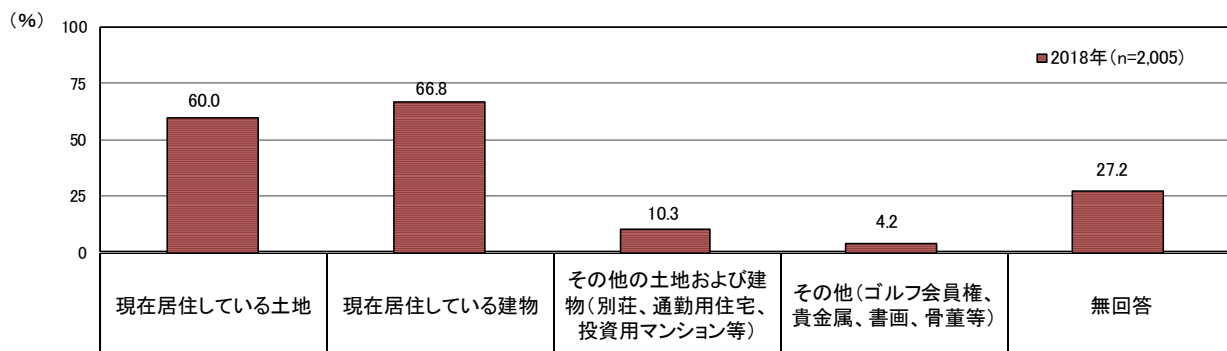


※2018年から質問の形式を変更した。2018年の「あり」70.7%には、具体金額は無回答のケース612s(30.5%)を含む。

<参考>



(1 3) 世帯で保有する資産 (2018 年新設)



(%)

	現在居住している 土地 (n=1,202)	現在居住している 建物 (n=1,339)	その他の土地およ び建物(別荘、通勤 用住宅、投資用マ ンション等) (n=207)	その他(ゴルフ会員 権、貴金属、書画、 骨董等) (n=84)	合計 (n=2,005)
～100万円未満	1.7	8.0	2.4	28.6	1.5
～200万円未満	3.1	4.9	4.3	20.2	0.4
～300万円未満	1.6	4.3	3.4	2.4	0.3
～400万円未満	3.2	4.1	2.4	7.1	0.4
～500万円未満	2.2	1.3	1.4	1.2	0.4
～700万円未満	9.5	9.5	7.2	7.1	1.9
～1000万円未満	7.2	4.8	5.8	—	2.3
～1500万円未満	13.7	10.4	5.8	7.1	3.1
～2000万円未満	5.3	4.0	4.3	—	2.2
～3000万円未満	6.7	6.3	8.7	3.6	5.0
～5000万円未満	4.9	3.2	13.0	1.2	3.5
～1億円未満	1.7	1.0	4.3	2.4	1.8
1億円以上	0.7	0.1	2.9	—	0.9
無回答	38.5	38.2	33.8	19.0	76.0

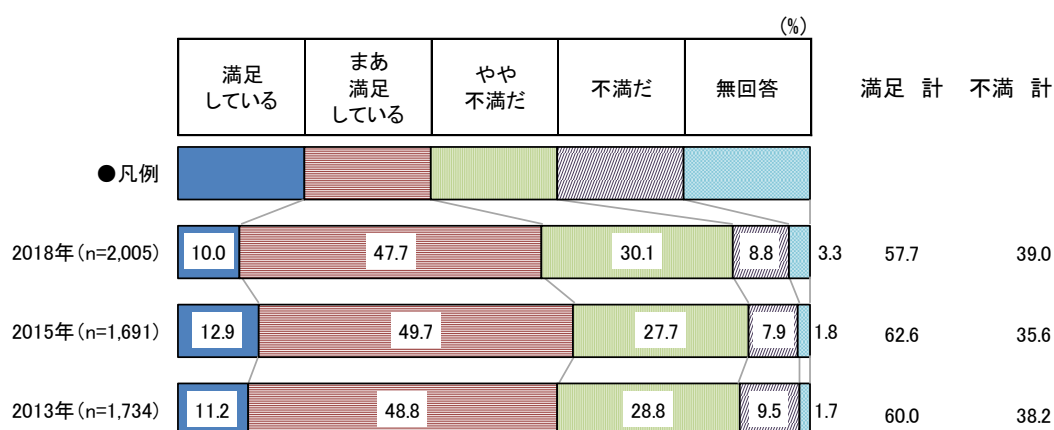
Ⅱ 結果の概要

1. 生活全般について

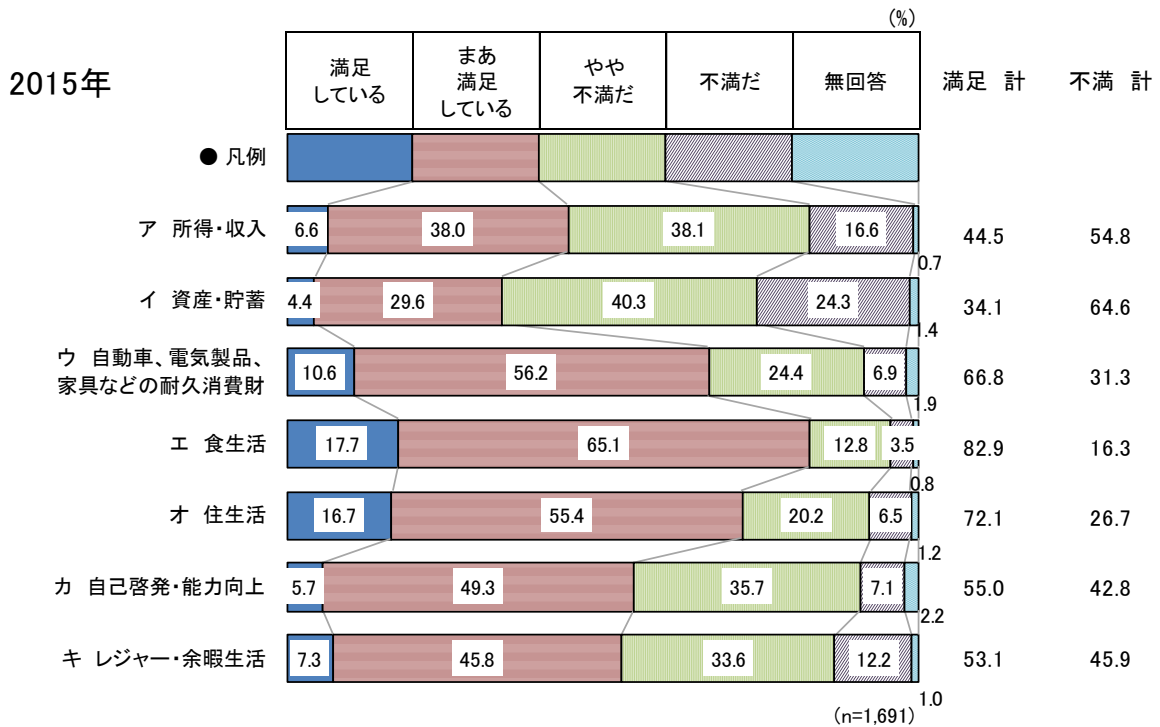
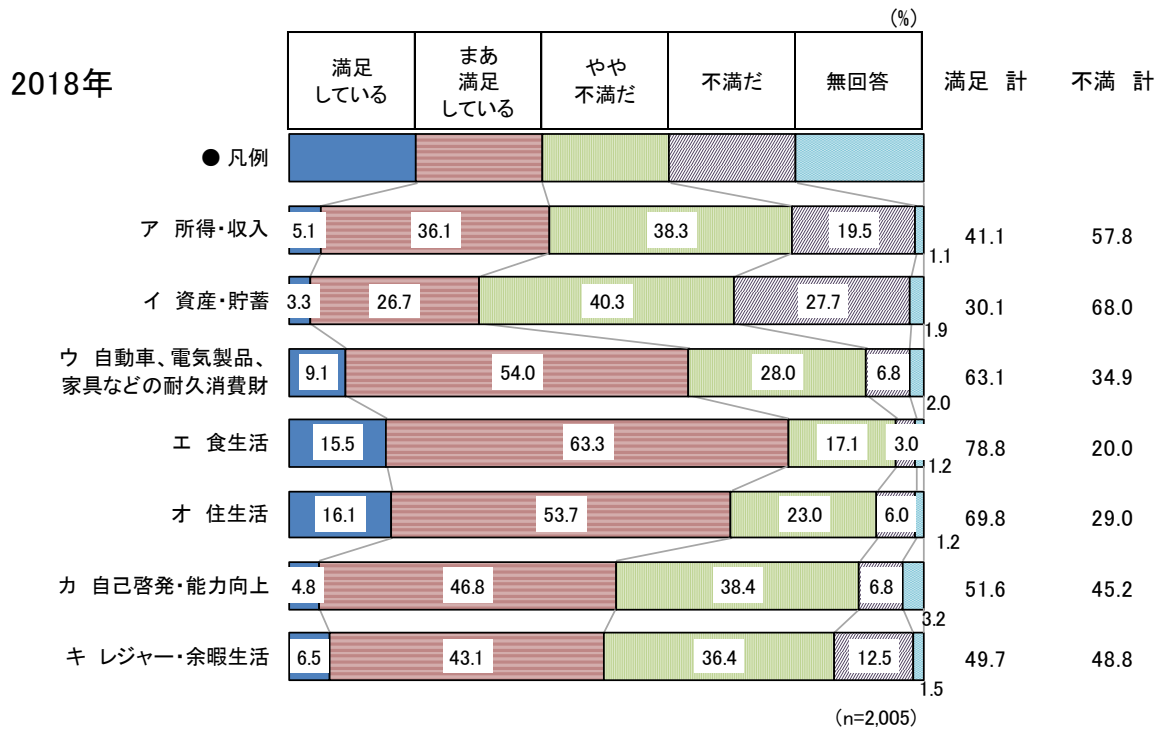
(1) 現在の生活満足度

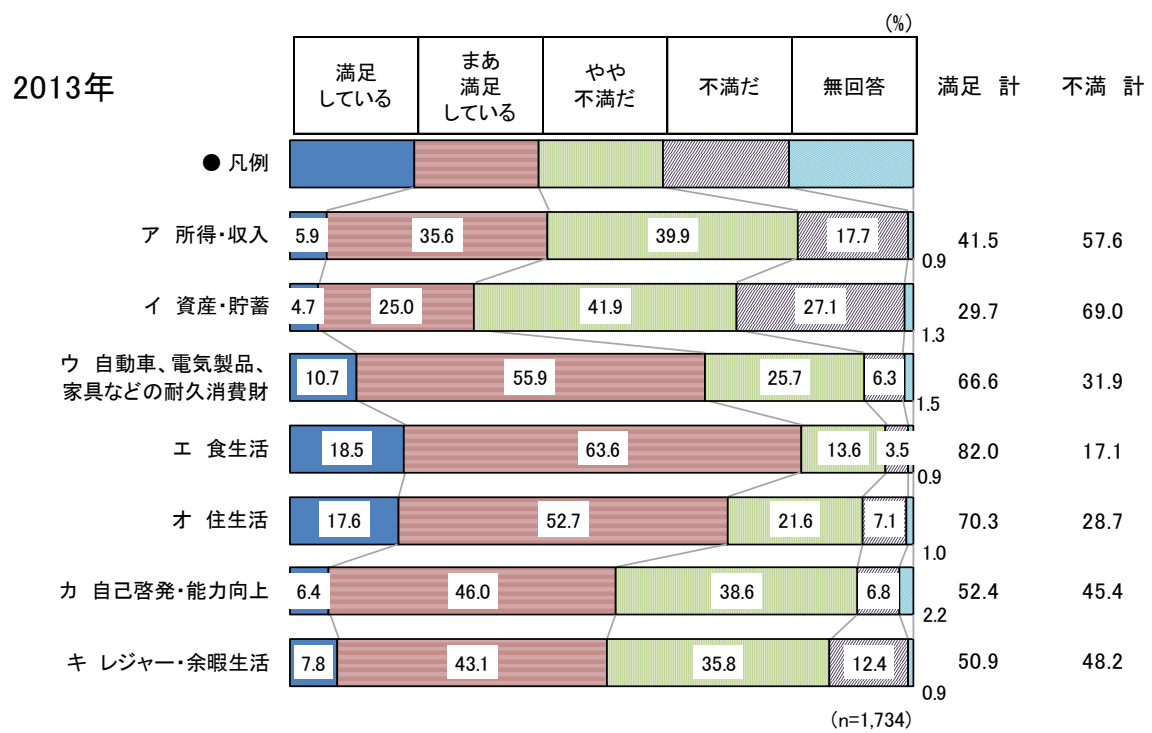
- 全体として、現在の生活に対する満足度は『満足 計』が 57.7%、『不満 計』が 39.0%となり、その差は 19 ポイントほどとなった。最も多かったのは「まあ満足している」(47.7%) だった。
* 『満足 計』は「満足している」と「まあ満足している」の合計。『不満 計』は「不満だ」と「やや不満だ」の合計。
- 各生活面別の満足度では、“食生活”、“住生活”、“自動車、電気製品、家具などの耐久消費財”での満足度が高く、『満足 計』が 6 割を超える一方、“資産・貯蓄”や“所得・収入”での満足度が低い。
“所得・収入”は『満足 計』(41.1%) は 4 割強にとどまり、『不満 計』(57.8%) が 6 割弱を占めた。
“資産・貯蓄”は『満足 計』(30.1%) が 3 割にとどまり、『不満 計』(68.0%) が 7 割弱を占めた。
“自動車、電気製品、家具などの耐久消費財”は『満足 計』(63.1%) が 6 割強で、『不満 計』(34.9%) を上回った。
“食生活”は『満足 計』(78.8%) が 8 割弱を占め、『不満 計』(20.0%) を大きく上回った。
“住生活”は『満足 計』(69.8%) 7 割で、『不満 計』(29.0%) を 2 倍以上上回った。
“自己啓発・能力向上”は『満足 計』が 51.6%、『不満 計』が 45.2%となり、その差は 6 ポイントとなった。
“レジャー・余暇生活”は『満足 計』が 49.7%、『不満 計』が 48.8%となり、ほぼ並んでいる。

(図表 1-1) 全体としての生活満足度 (問 1)



(図表 1 - 2) 現在の生活満足度 (問 2)

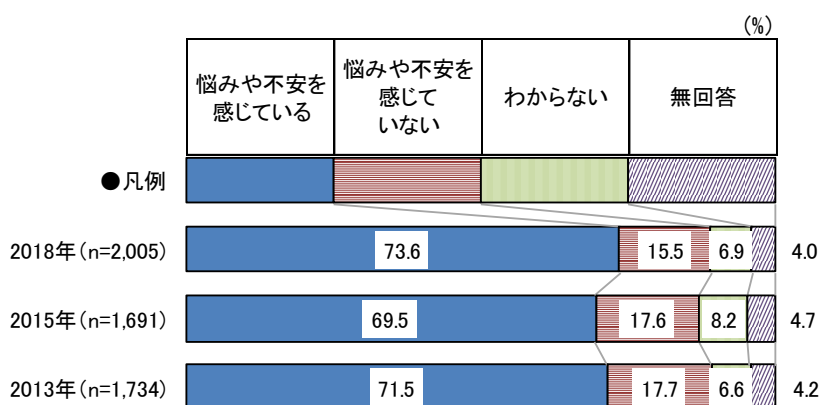




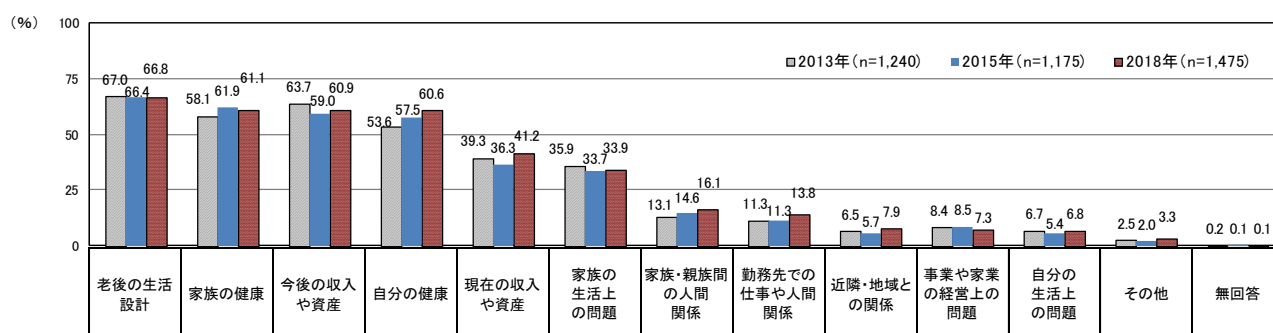
(2) 日頃の生活の中での悩みや不安

- 日頃の生活の中での悩みや不安感は、「悩みや不安を感じている」が最も多く 73.6%、続いて「悩みや不安を感じていない」が 15.5%、「わからない」が 6.9%となった。
- 「悩みや不安を感じている」と回答した人（1,475 人）の不安内容（複数回答）としては、回答の順位では「老後の生活設計」が 66.8%で最も高く、次いで「家族の健康」（61.1%）、「今後の収入や資産」（60.9%）の順となる。

(図表 1－3) 日頃の生活の中での悩みや不安感（問3）



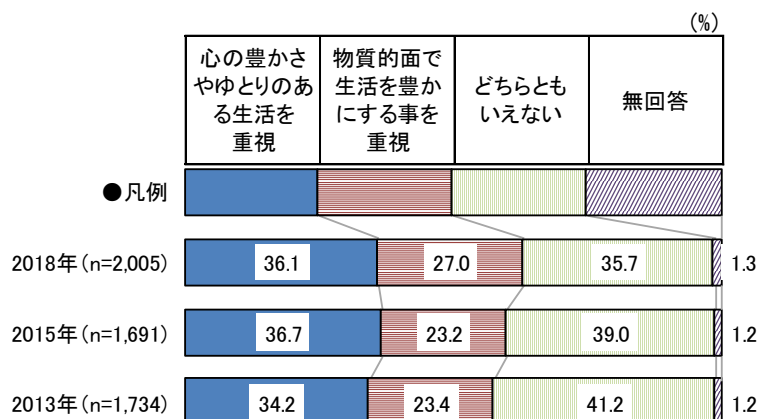
(図表 1－4) 日頃から感じている不安内容（問3－1、複数回答）



(3) 物の豊かさと心の豊かさ

- 今後の生活における「豊かさ」についての考え方は、「物質的にある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活をするに重きをおきたい」が36.1%で、「まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに重きをおきたい」(27.0%)を9ポイント上回った。一方で、「どちらともいえない」が35.7%を占めた。

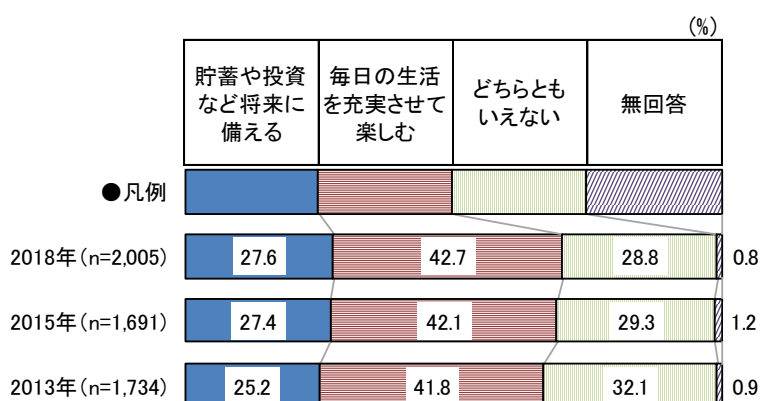
(図表1-5) 今後の生活における「豊かさ」についての考え方(問4)



(4) 今後の生活において重点を置きたいこと

- 今後の生活において重点を置きたいことは、「毎日の生活を充実させて楽しむ」が42.7%で「貯蓄や投資など将来に備える」(27.6%)を15ポイント上回っている。一方「どちらともいえない」が28.8%を占めた。

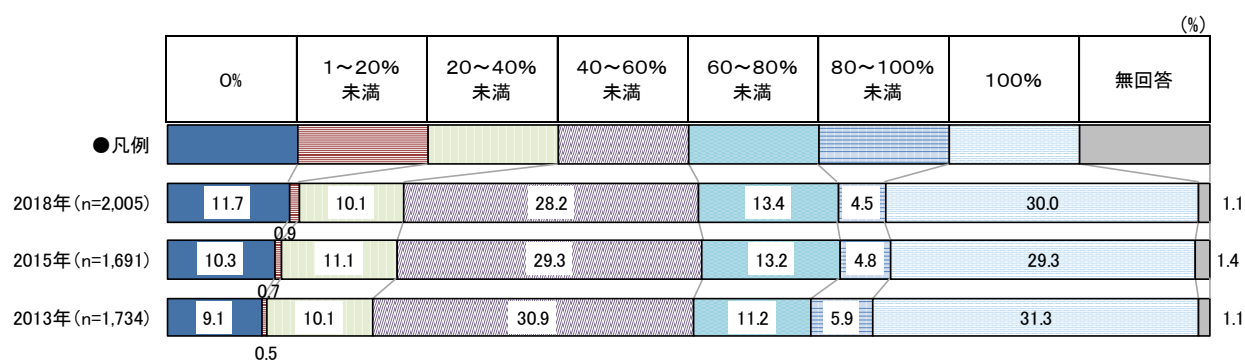
(図表1-6) 今後の生活において重点を置きたいこと(問5)



(5) 普段の外出の際に雨具を持参する降水確率

- 普段外出する際に傘などの雨具を持って出かけるのは降水確率が何パーセント以上のときかを尋ねたところ、「100%」が最も多く 30.0%、続いて「40～60%未満」が 28.2%、「60～80%未満」が 13.4%となった。

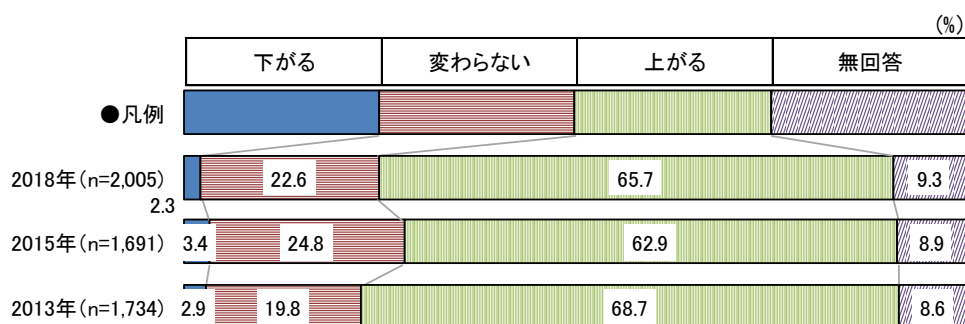
(図表 1－7) 普段の外出の際に雨具を持参する降水確率 (問 6)



(6) 物価動向に関する考え

- 1年後の物価が現在と比べてどうなるかを尋ねたところ、物価の変動は、「上がる」が 65.7%、「下がる」が 2.3%、「変わらない」は 22.6%だった。
- 「下がる」と回答した人 (46 人) が考える 1年後の物価の下落幅としては、「2%未満」が最も多く 52.2%、続いて「2%～5%未満」が 30.4%、「10%以上」が 8.7%となった。
- 「上がる」と回答した人 (1,318 人) が考える 1年後の物価の上昇幅としては、「2%～5%未満」が 50.5%で半数を占め、続いて「2%未満」が 27.5%、「5%～10%未満」が 18.3%となった。

(図表 1－8) 現在と比べた 1 年後の物価の変動 (問 7)



(図表 1－9) 1年後の物価の下落幅・1年後の物価の上昇幅(問7－1、問7－2)

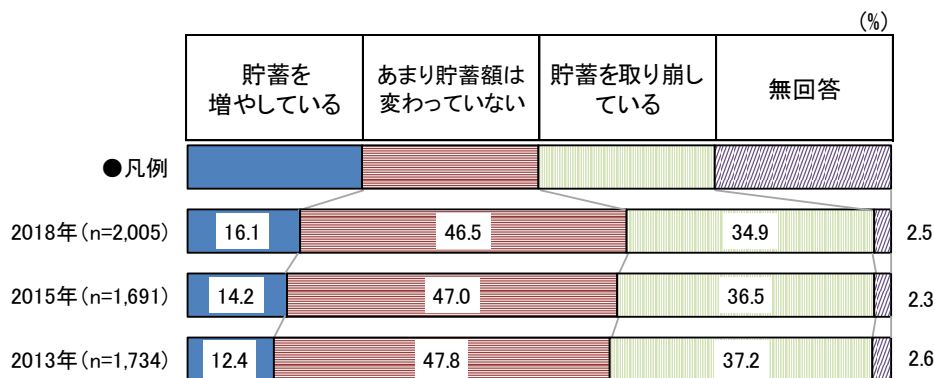
2018年		(%)				
		2%未満	2%～5%未満	5%～10%未満	10%以上	無回答
下がる幅	(n=46)	 52.2	 30.4	 6.5	 8.7	2.2
上がる幅	(n=1,318)	 27.5	 50.5	 18.3	 3.5	0.3
2015年		(%)				
		2%未満	2%～5%未満	5%～10%未満	10%以上	無回答
下がる幅	(n=57)	 29.8	 49.1	 14.0	 7.0	—
上がる幅	(n=1,064)	 21.9	 49.0	 21.8	 6.2	1.1
2013年		(%)				
		2%未満	2%～5%未満	5%～10%未満	10%以上	無回答
下がる幅	(n=50)	 46.0	 36.0	 14.0	 4.0	—
上がる幅	(n=1,191)	 15.9	 51.0	 26.7	 6.0	0.3

2. 貯蓄について

(1) 世帯の貯蓄状況

- 世帯の現在の貯蓄状況について尋ねたところ、「あまり貯蓄額は変わっていない」が46.5%で最も多く、次いで「貯蓄を取り崩している」が34.9%、「貯蓄を増やしている」は16.1%だった。

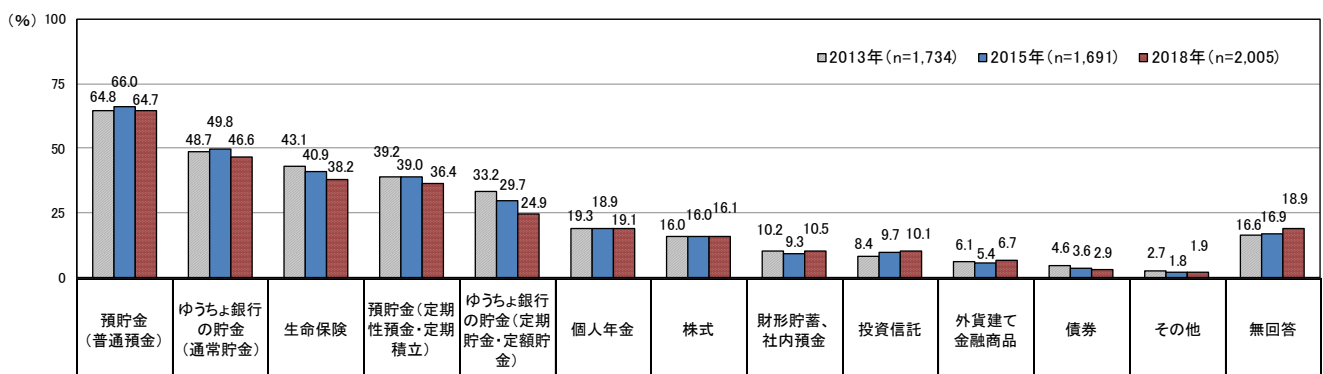
(図表2-1) 世帯の貯蓄状況 (問8)



(2) 世帯で保有している預貯金・金融商品

- 世帯で保有している預貯金・金融商品 (複数回答) では、「預貯金 (普通預金)」が64.7%で最も多く、次いで「ゆうちょ銀行の貯金 (通常貯金)」(46.6%) と、普通・通常預貯金が上位を占めている。次いで「生命保険」(38.2%)、「預貯金 (定期性預金・定期積立)」(36.4%)、「ゆうちょ銀行の貯金 (定期貯金・定額貯金)」(24.9%)「個人年金」(19.1%)、「株式」(16.1%)、「財形貯蓄、社内預金」(10.5%) の順で続いている。

(図表2-2) 保有している預貯金・金融商品 (問9(1)、複数回答)

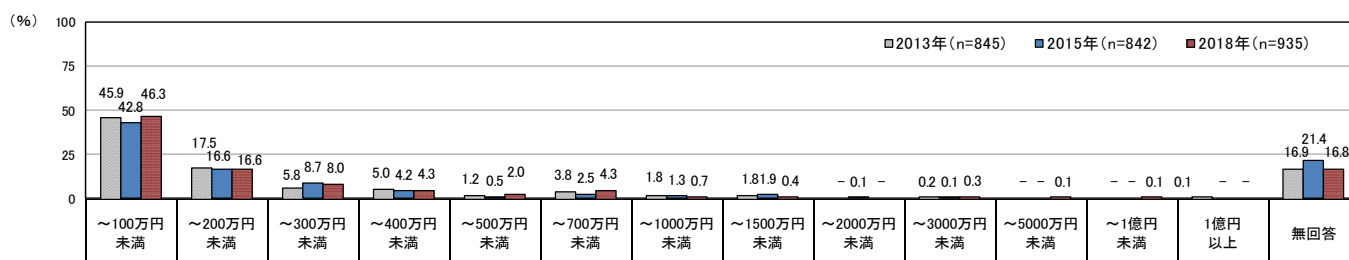


※「ゆうちょ銀行の貯金」は、2013年と2015年は「郵便貯金」として聞いた。

(3) 保有している預貯金・金融商品の現在高

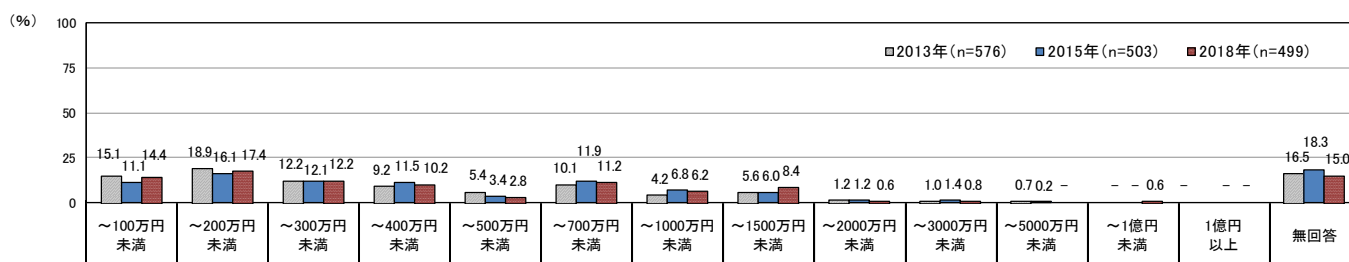
- ゆうちょ銀行の貯金（通常貯金）を保有している人（935人）の現在高は「～100万円未満」が最も多く46.3%、続いて「100～200万円未満」が16.6%、「200～300万円未満」が8.0%となった。
- ゆうちょ銀行の貯金（定期貯金・定額貯金）を保有している人（499人）の現在高は、「100～200万円未満」が最も多く17.4%、続いて「～100万円未満」が14.4%、「200～300万円未満」が12.2%となり、400万円未満で約5割を占める。
- 預貯金（普通預金）を保有している人（1,297人）の現在高は、「～100万円未満」が最も多く26.4%、続いて「100～200万円未満」が19.3%、「300～400万円未満」が8.9%となった。
- 預貯金（定期性預金・定期積立）を保有している人（729人）の現在高は、「～100万円未満」が最も多く13.7%、続いて「100～200万円未満」が12.9%、「500～700万円未満」が10.4%となり、500万円未満で6割近くを占める。

(図表2-3) ゆうちょ銀行の貯金（通常貯金）の現在高（問9(2)①）



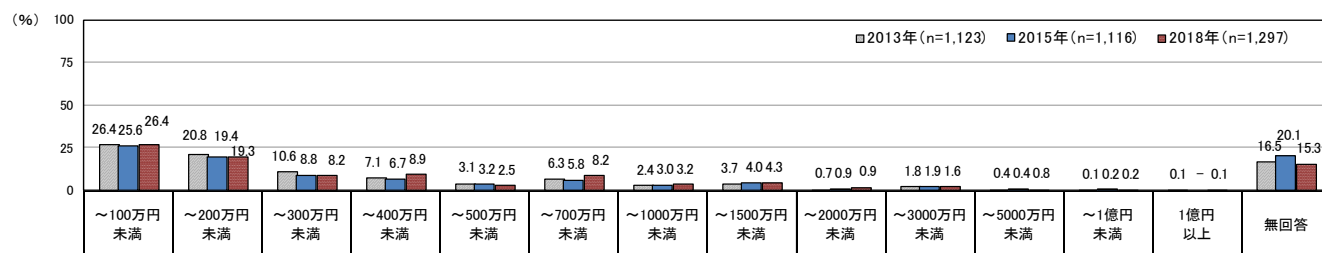
※「ゆうちょ銀行の貯金」は、2013年と2015年は「郵便貯金」として聞いた。

(図表2-4) ゆうちょ銀行の貯金（定期貯金・定額貯金）の現在高（問9(2)②）

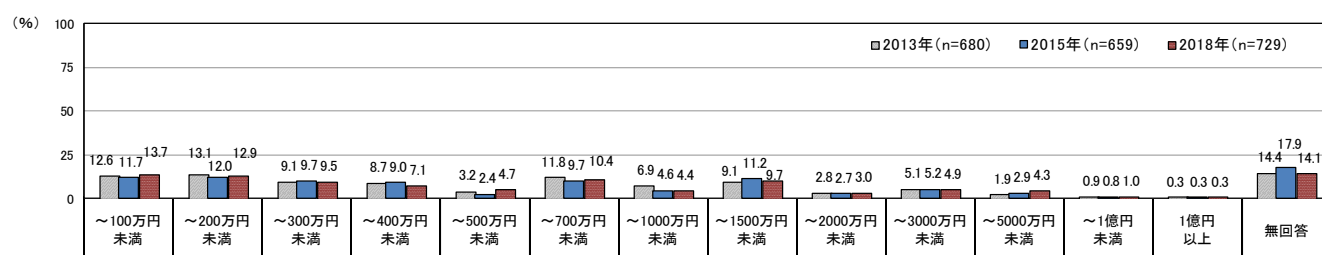


※「ゆうちょ銀行の貯金」は、2013年と2015年は「郵便貯金」として聞いた。

(図表 2－5) 預貯金（普通預金）の現在高（問 9 (2) ③)

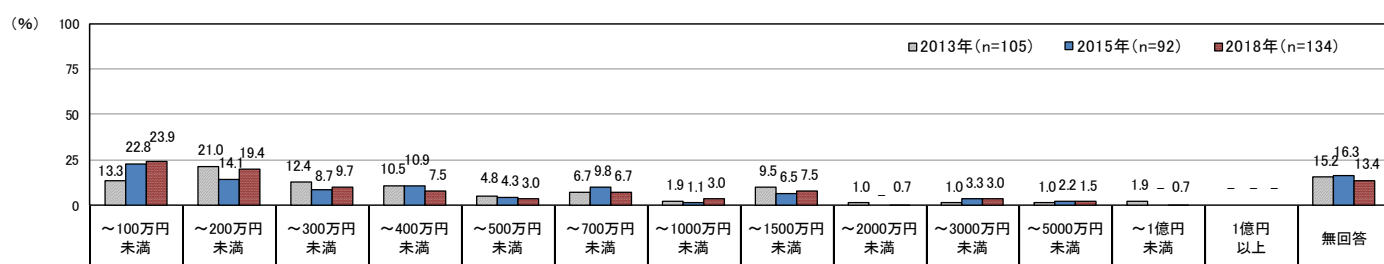


(図表 2－6) 預貯金（定期性預金・定期積立）の現在高（問 9 (2) ④)

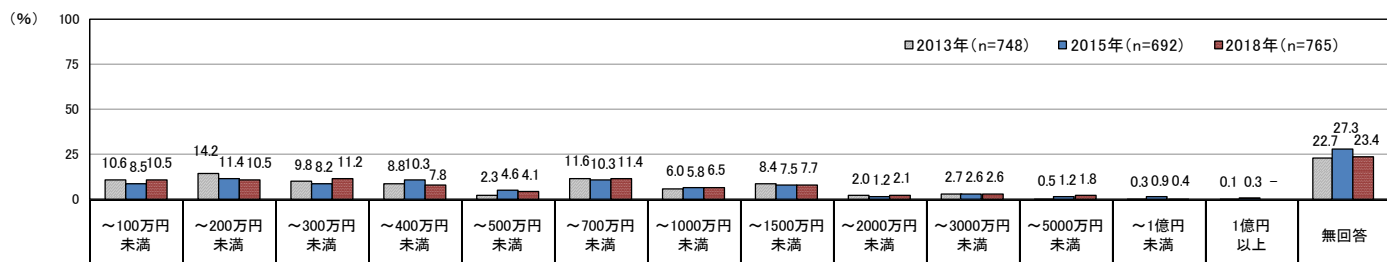


- 外貨建て金融商品（外貨預金、外国債券、外国投資信託、F X等）を保有している人（134人）の現在高は、「100万円未満」が最も多く23.9%、続いて「100～200万円未満」が19.4%、「200～300万円未満」が9.7%となった。
- 生命保険（定期保険・医療保険などの掛け捨て型の保険は含まず）を保有している人（765人）の現在高は、「500～700万円未満」が最も多く11.4%、続いて「200～300万円未満」が11.2%、「100～200万円未満」が10.5%となった。
- 個人年金（公的年金の保険料は含まず）を保有している人（383人）の現在高は、「100～200万円未満」が最も多く17.0%、続いて「100万円未満」が13.3%、「300～400万円未満」が11.7%となった。

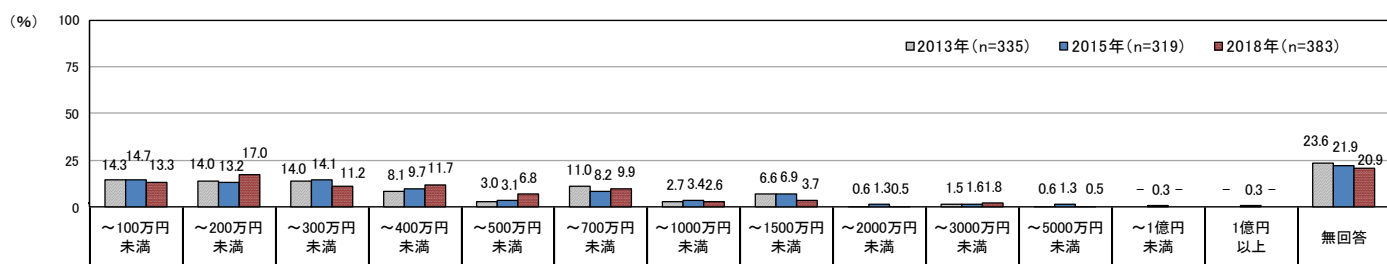
（図表2－7）外貨建て金融商品（外貨預金、外国債券、外国投資信託、F X等）の現在高（問9(2)⑤）



（図表2－8）生命保険（定期保険・医療保険などの掛け捨て型の保険は含まず）の現在高（問9(2)⑥）

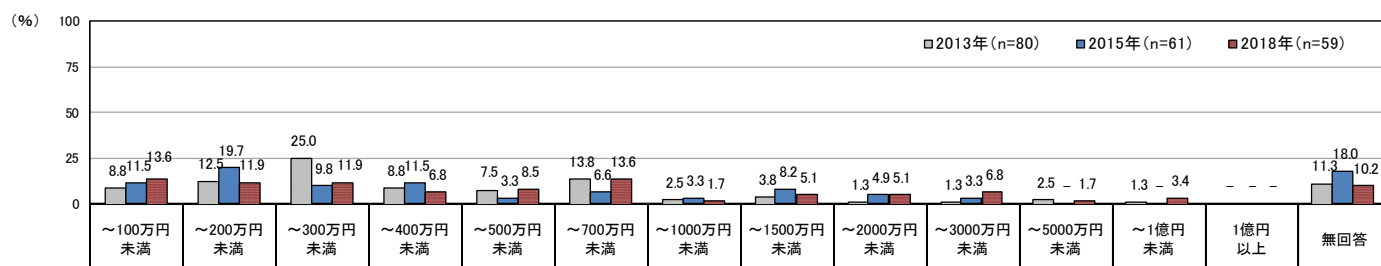


（図表2－9）個人年金（公的年金の保険料は含まず）の現在高（問9(2)⑦）

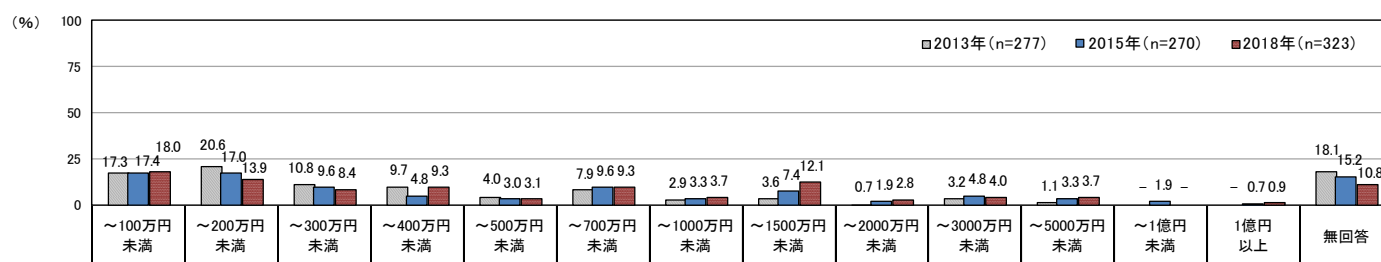


- 債券(国債、金融債(ワイドを含む)、社債等)を保有している人(59人)の現在高は、「100万円未満」と「500～700万円未満」とともに13.6%ですが最も多く、続いて「100～200万円未満」と「200～300万円未満」がともに11.9%となった。
- 株式(従業員持株制度による株式を含む)を保有している人(323人)の現在高は、「100万円未満」が最多で18.0%、「100～200万円未満」が13.9%、「1000～1500万円未満」が12.1%となった。
- 投資信託(公社債投信、株式投信、MMF、REIT等)を保有している人(203人)の現在高は、「～100万円未満」が最多で19.7%、「100～200万円未満」が18.7%、「200～300万円未満」が11.8%となった。
- 財形貯蓄、社内預金を保有している人(211人)の現在高は、「100万円未満」が最多で19.9%、続いて「100～200万円未満」が18.5%、「200～300万円未満」が11.4%となった。
- その他(貸付信託、積立型損害保険、金貯蓄口座等)の金融商品を保有している人(39人)の現在高は、「100万円未満」が最も多く23.1%、続いて「100～200万円未満」が20.5%、「500～700万円未満」が17.9%となった。

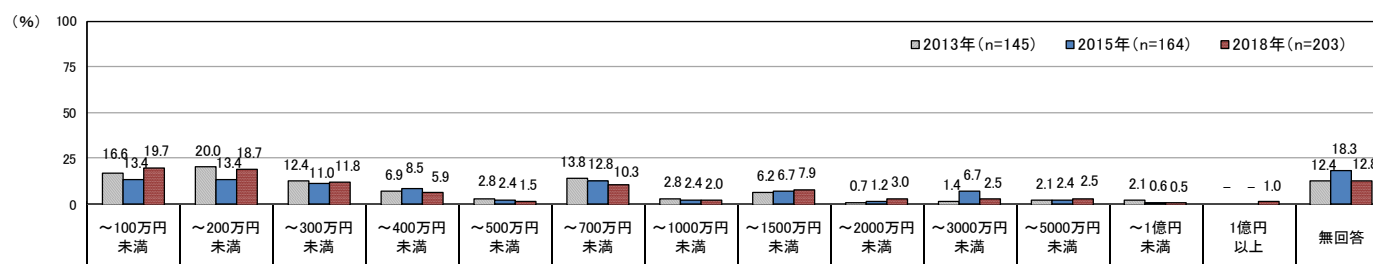
(図表2-10) 債券(国債、金融債(ワイドを含む)、社債等)の現在高(問9(2)⑧)



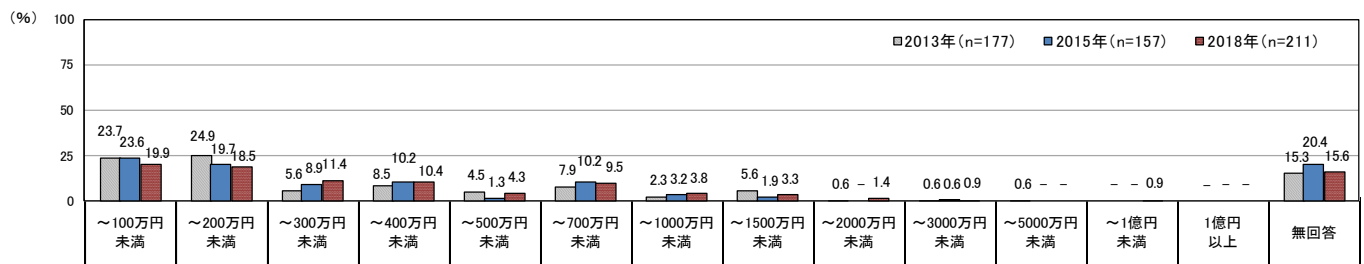
(図表2-11) 株式(従業員持株制度による株式を含む)の現在高(問9(2)⑨)



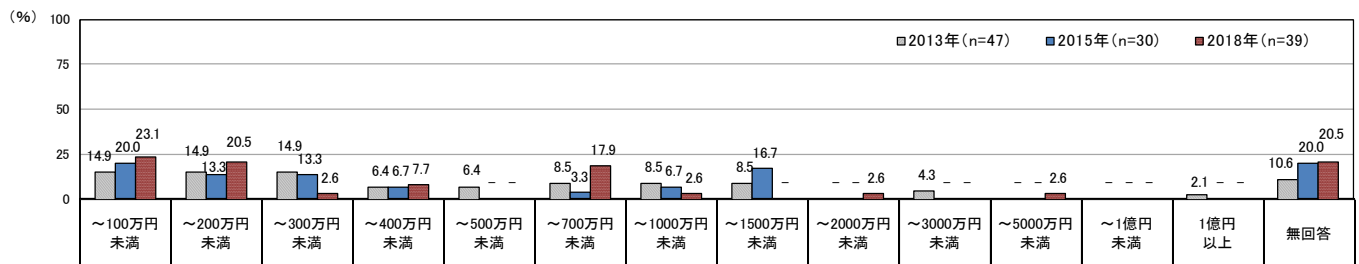
(図表2-12) 投資信託(公社債投信、株式投信、MMF、REIT等)の現在高(問9(2)⑩)



(図表 2-13) 財形貯蓄、社内預金の現在高 (問 9 (2) ⑪)



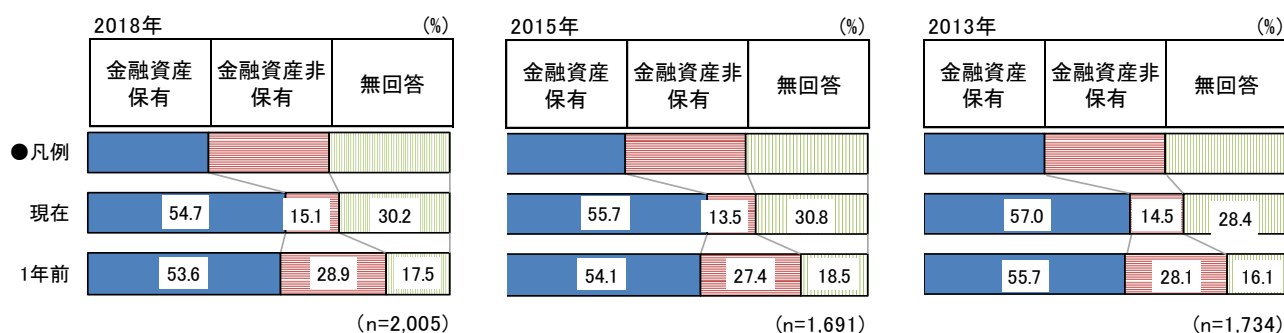
(図表 2-14) その他(貸付信託、積立型損害保険、金貯蓄口座等)の現在高 (問 9 (2) ⑫)



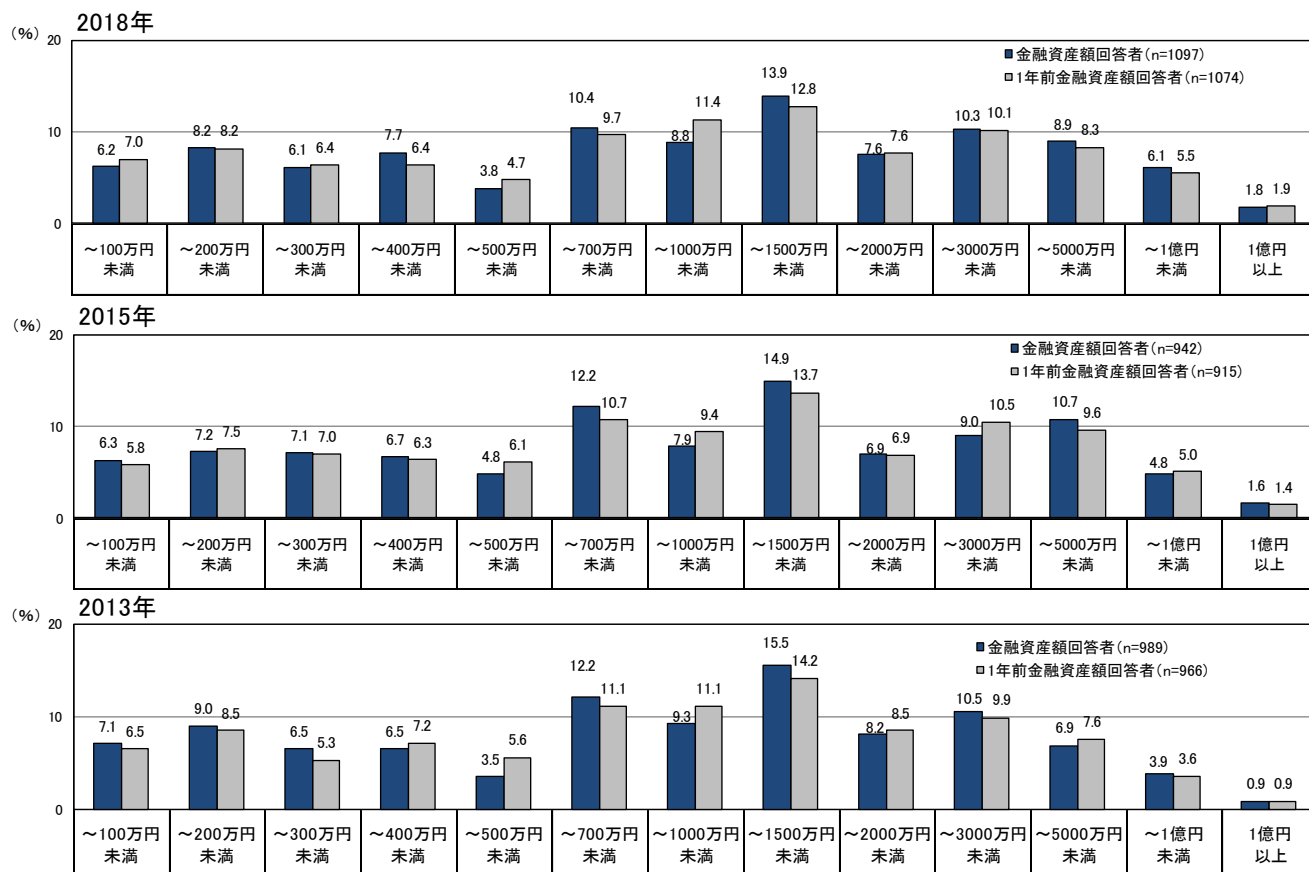
(4) 金融資産の世帯保有状況

- 現金や決済性預金を含めた金融資産の世帯保有状況は、現在 54.7%が保有、1 年前は 53.6%が保有との回答である。
- 現在保有残高を回答した人（1,097 人）の現金や決済性預金を含めた世帯金融資産残高は、「1 0 0 0 ～ 1 5 0 0 万円未満」が最多で 13.9%、続いて「5 0 0 ～ 7 0 0 万円未満」が 10.4%、「2 0 0 0 ～ 3 0 0 0 万円未満」が 10.3%。
- 1 年前の保有残高を回答した人（1,074 人）の 1 年前の現金や決済性預金を含めた世帯金融資産残高は、「1 0 0 0 ～ 1 5 0 0 万円未満」が最多で 12.8%、次いで「7 0 0 ～ 1 0 0 0 万円未満」（11.4%）、「2 0 0 0 ～ 3 0 0 0 万円未満」（10.1%）と続き、『1 0 0 0 万円未満』が 5 割強を占めている。

(図表 2-15) 現在・1 年前の金融資産 世帯保有状況有無 (問 10 (1)・(2))



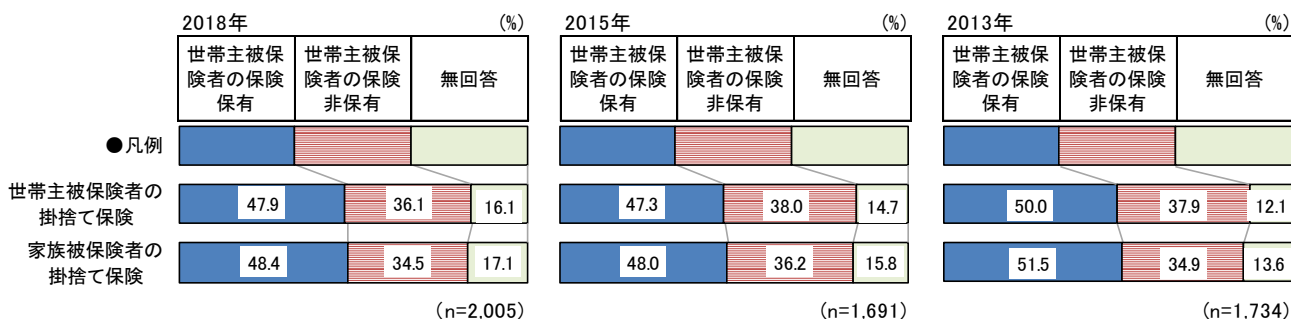
(図表 2-16) 現在・1 年前世帯保有の金融資産残高 (問 10 (1)・(2))



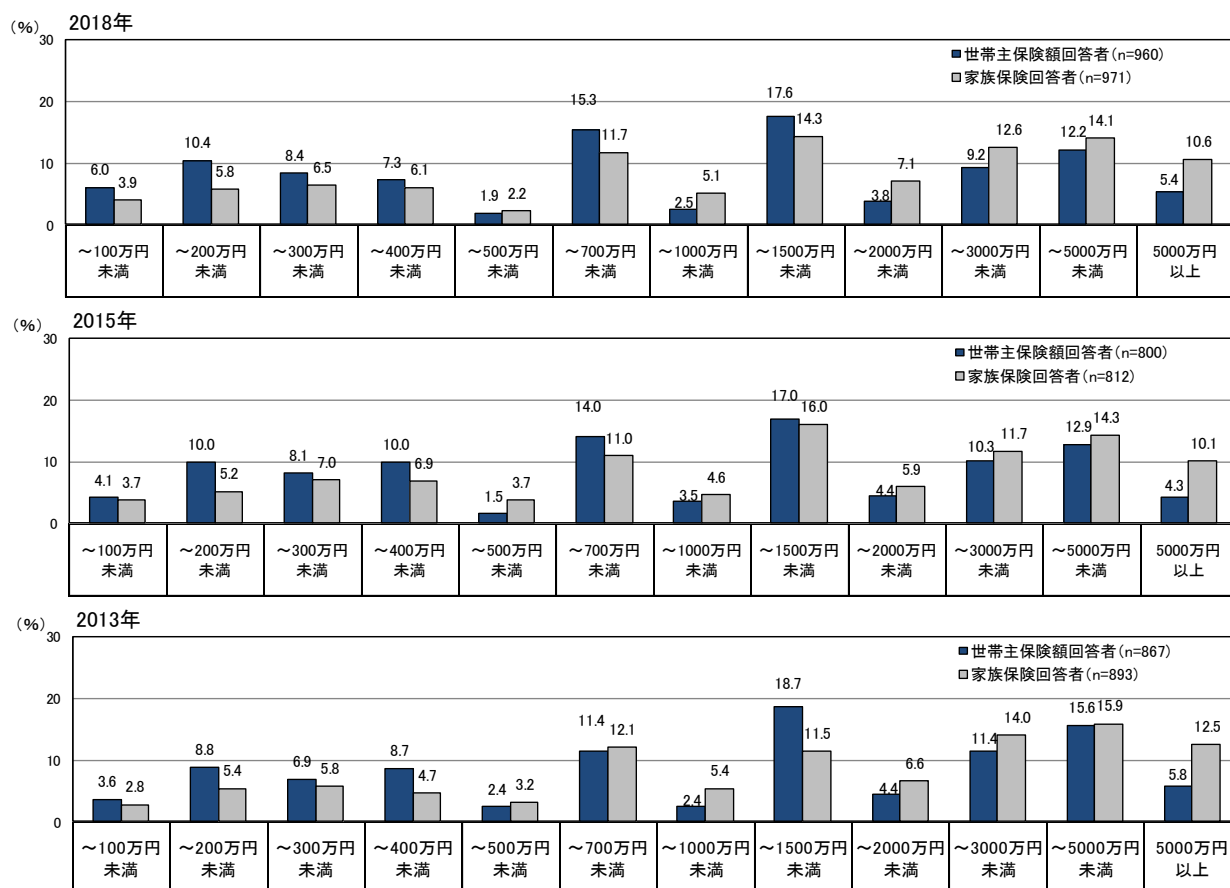
(5) 保険商品の保有状況

- 世帯主が被保険者となっている掛け捨て保険を保有しているのは47.9%で、非保有36.1%を上回っている。世帯主を含む家族の掛け捨て保険の保有有無を見ると、48.4%が保有し、34.5%が非保有となっている。
- 世帯主が被保険者となっている掛け捨て保険に入っている世帯（960人）の死亡保障金額は、「1000～1500万円未満」が最多で17.6%、「500～700万円未満」が15.3%、「3000～5000万円未満」が12.2%だった。
- 世帯主を含む家族が掛け捨て保険に入っている世帯（971人）の家族全員の死亡保障合計金額は、「1000～1500万円未満」が最多で14.3%、続いて「3000～5000万円未満」が14.1%、「2000～3000万円未満」が12.6%となった。

(図表2-17) 世帯主被保険者・家族被保険者の掛け捨て保険 保有有無 (問11(1)・(2))



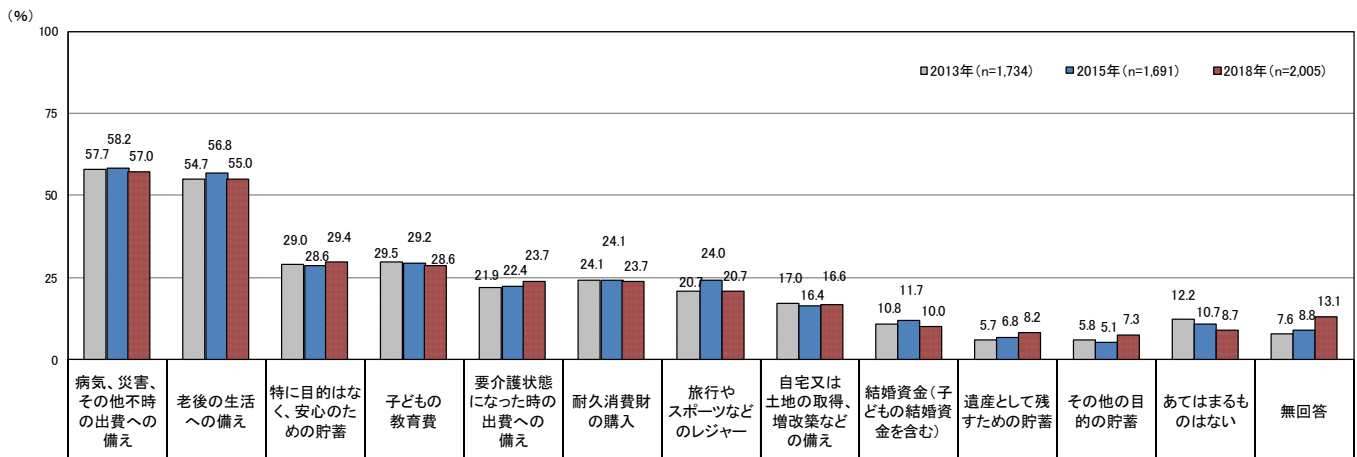
(図表2-18) 世帯主保有掛け捨て保険・家族保有掛け捨て保険死亡保障金額 (問11(1)・(2))



(6) 世帯貯蓄の目的

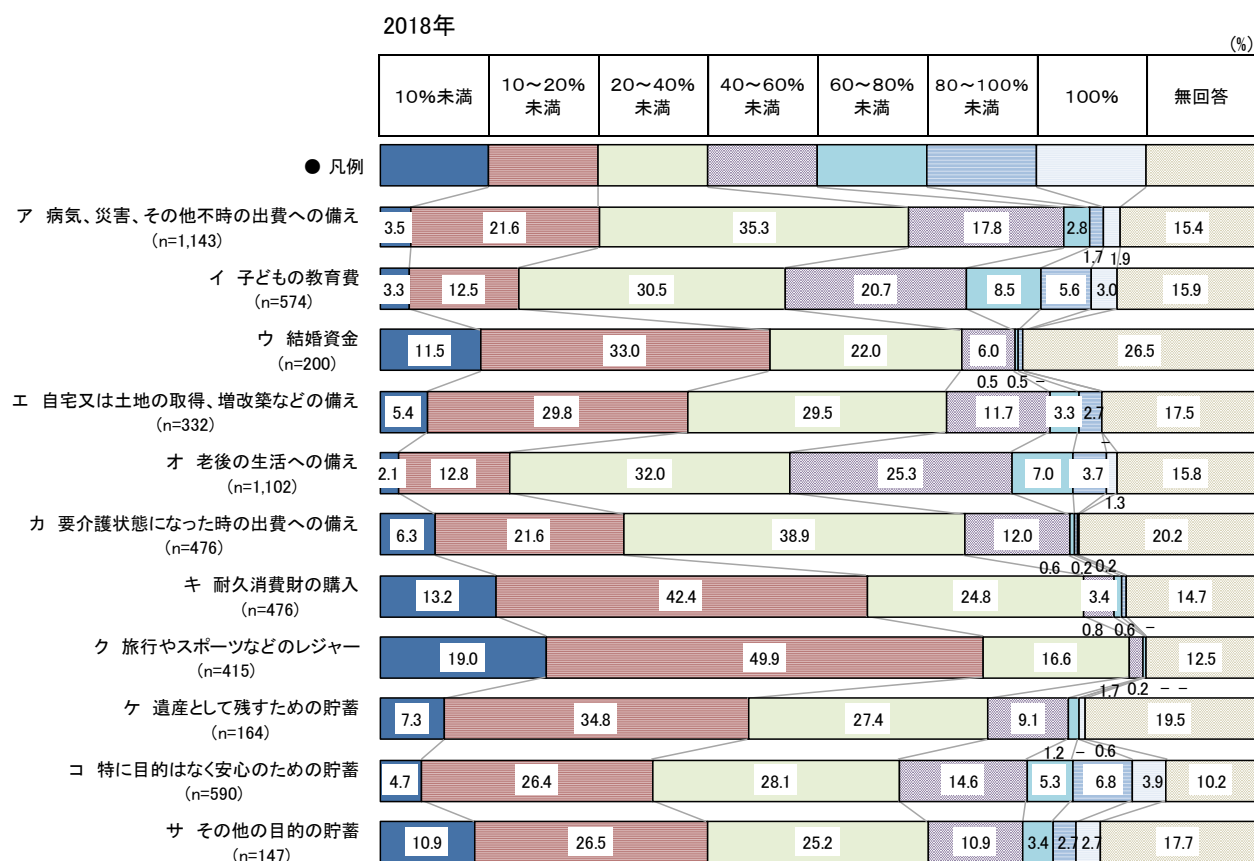
- 世帯で貯蓄している目的を複数回答で尋ねたところ、「病気、災害、その他不時の出費の備え」が最も多く 57.0%、続いて「老後の生活への備え」が 55.0%、「特に目的はなく、安心のための貯蓄」が 29.4%となった。以降は「子どもの教育費」(28.6%)、「要介護状態になった時の出費への備え」(23.7%)、「耐久消費財の購入」(23.7%)、「旅行やスポーツなどのレジャー」(20.7%)、「自宅又は土地の取得、増改築等の備え」(16.6%)となる。

(図表 2－19) 貯蓄の目的（問 12 (1)、複数回答）



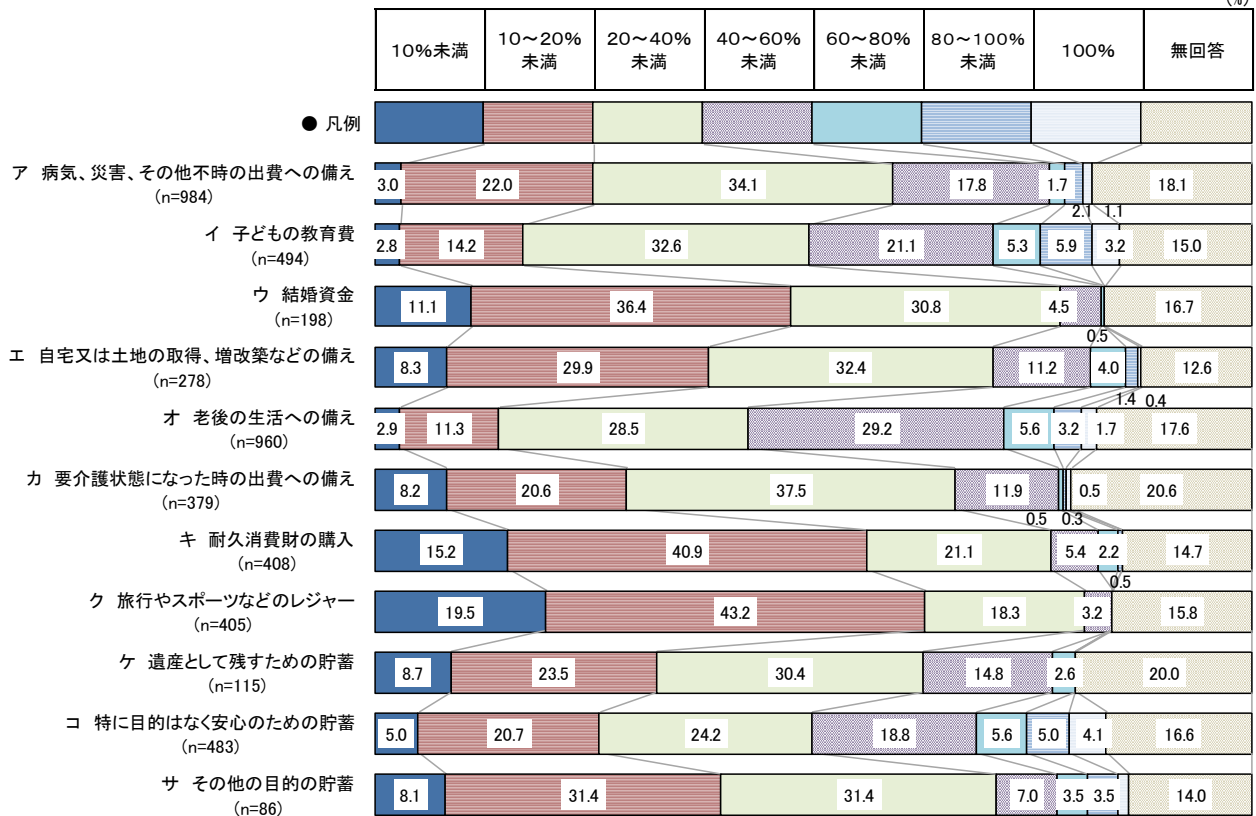
- 各目的が貯蓄総額に占める割合を尋ねたところ、最も保有率の多かった「病気、災害、その他不時の出費への備え」として貯蓄を行っている世帯（1,143人）の割り当て率は、「20～40%未満」が最多で35.3%、続いて「10～20%未満」が21.6%、「40～60%未満」が17.8%となった。次に保有率の多かった「老後の生活への備え」として貯蓄を行っている世帯（1,102人）の割り当て率は、「20～40%未満」が最多で32.0%、続いて「40～60%未満」が25.3%、「10～20%未満」が12.8%となった。
- 40%以上の選択肢に答えた回答の合計で割り当て率の高い項目をみると、「イ 子どもの教育費」（37.8%）と「オ 老後の生活への備え」（37.3%）が高い。「特になく安心のための貯蓄」（30.5%）となる。逆に「10%未満」が高い項目をみると、「ク 旅行やスポーツなどのレジャー」が19.0%で最も高い。

（図表２－２０）各貯蓄が総額に占める割合（問１２（２））



2015年

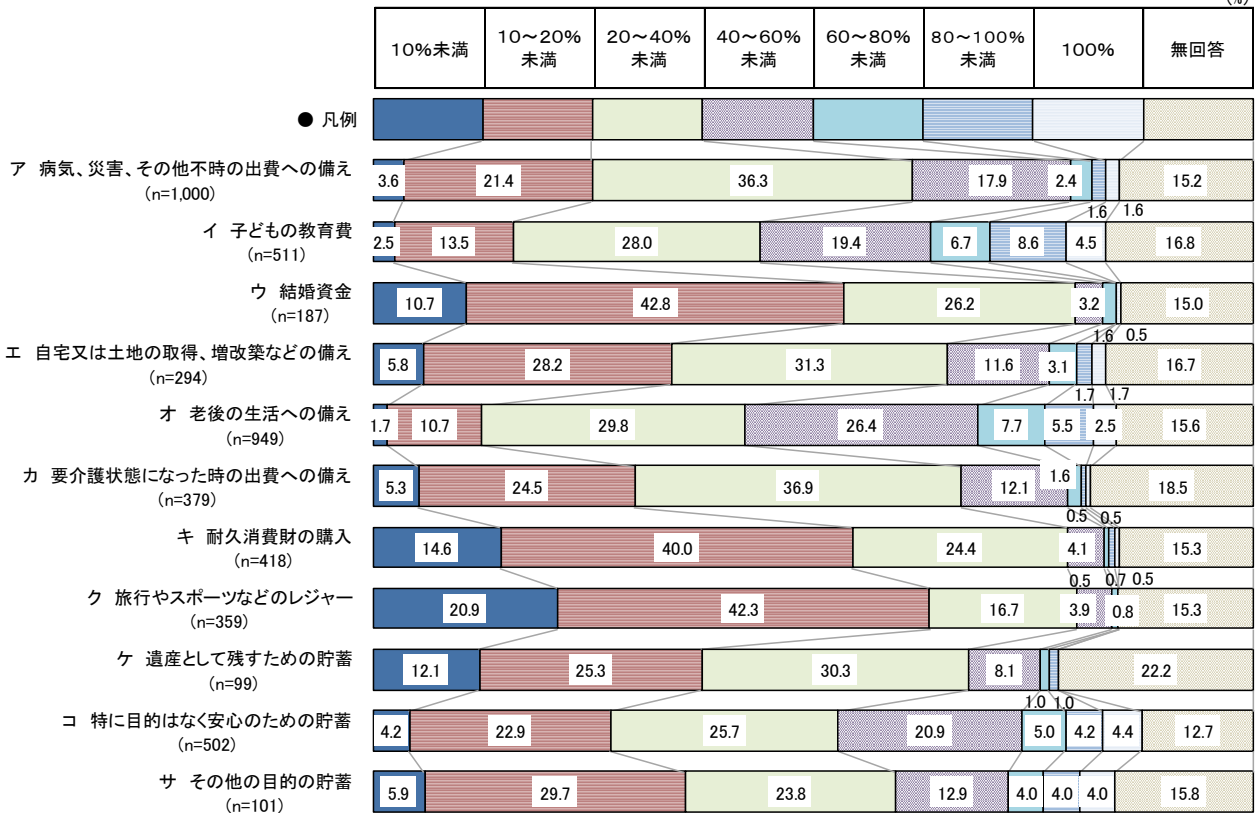
(%)



12

2013年

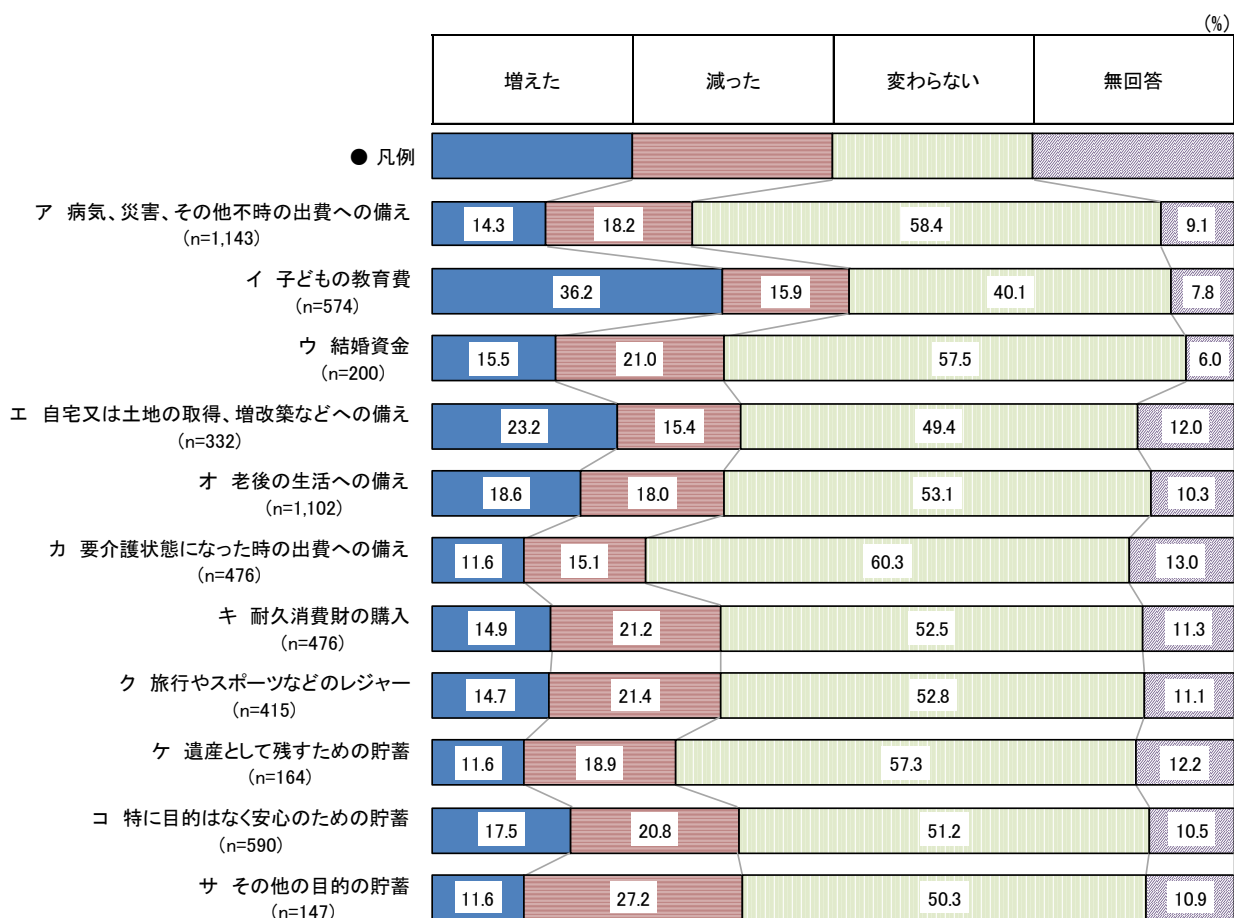
(%)



- 貯蓄目的がある人に、その目的の貯蓄の１年前に比べて増減を尋ねたところ、「増えた」の回答が多い項目は、「子どもの教育費」が36.2%で最も多く、「自宅又は土地の取得、増改築などへの備え」(23.2%)、「老後の生活への備え」(18.6%)の順となった。逆に「減った」の回答が多い項目は、「その他の目的の貯蓄」が27.2%で最も多く、次いで「旅行やスポーツ等のレジャー」(21.4%)、「耐久消費財の購入」(21.2%)、「結婚資金」(21.0%)の順だった。

(図表２－２１) 貯蓄額の１年前との比較（問１２(３)、複数回答）

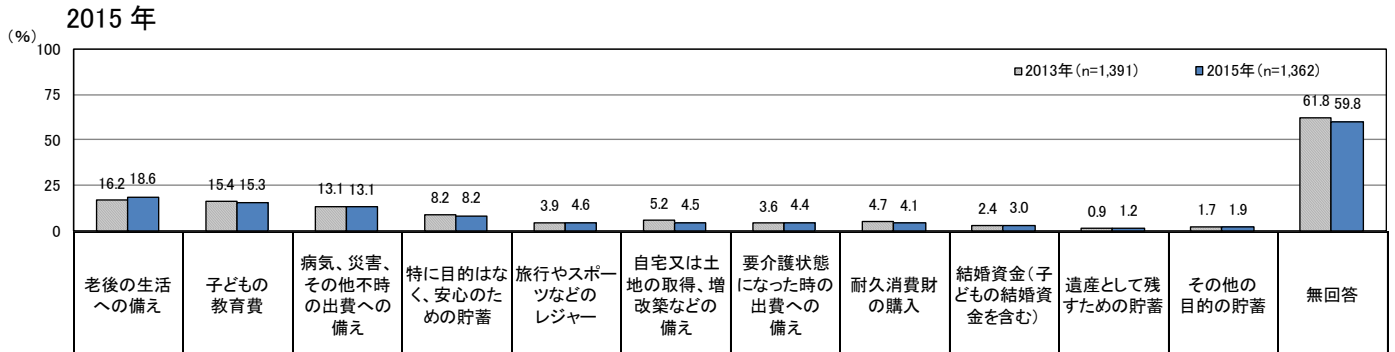
2018 年



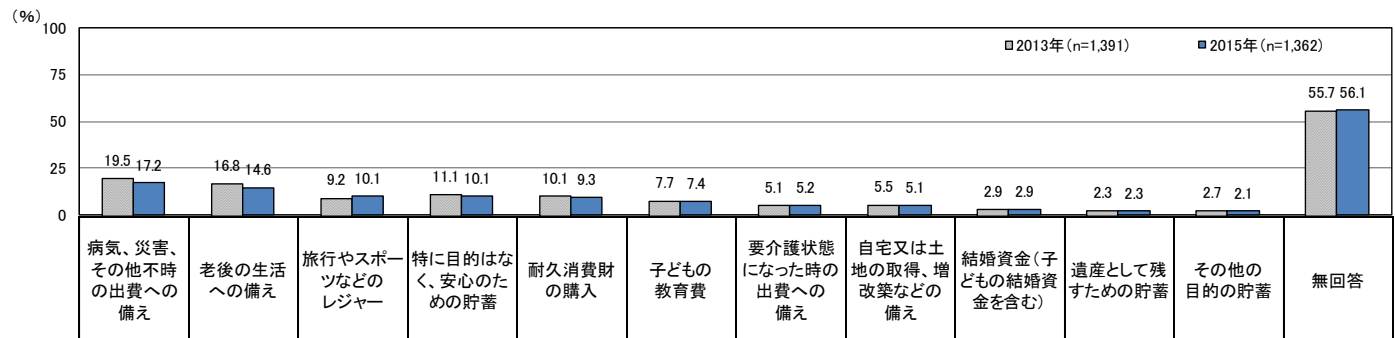
【参考】

※2015 年までは「1 年前に比べて増えた貯蓄」と「1 年前に比べて減った貯蓄」を複数回答で聞いた。

1 年前に比べて増えた貯蓄



1 年前に比べて減った貯蓄 (問 1 2 (4)、複数回答)

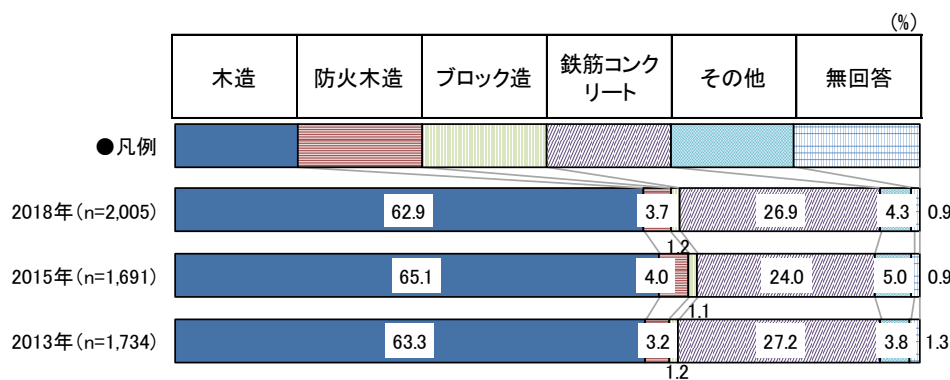


3. 住居について

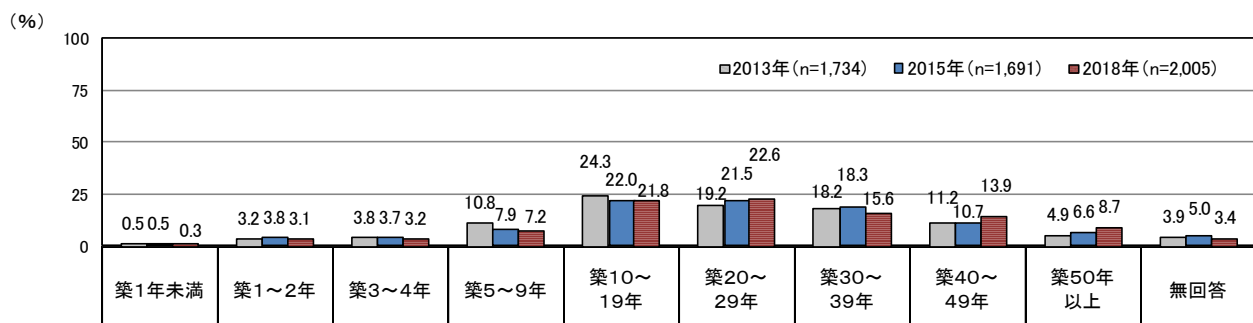
(1) 現在の住居の構造・築年数・面積

- 現在の住居の構造は、「木造」が最も多く 62.9%、続いて「鉄筋コンクリート」が 26.9%、「その他」が 4.3%となった。2013 年からの推移に大きな変化はない。
- 現在の住居の築年数は、「築 20～29 年」が最も多く 22.6%、続いて「築 10～19 年」が 21.8%、「築 30～39 年」が 15.6%となっている。2013 年からの推移では築年数 20 年以上などの古いものが増えている。
- 現在の住居の敷地面積は、「200～300㎡未満」が最も多く 13.6%、続いて「150～200㎡未満」が 12.3%、「300～500㎡未満」が 10.9%となった。2013 年からの推移に大きな変化は見られない。
- 現在の住居の床面積は、「50～100㎡未満」が最も多く 29.8%、続いて「～150㎡未満」が 24.2%、「150～200㎡未満」が 9.6%となった。2013 年からの推移に大きな変化は見られない。

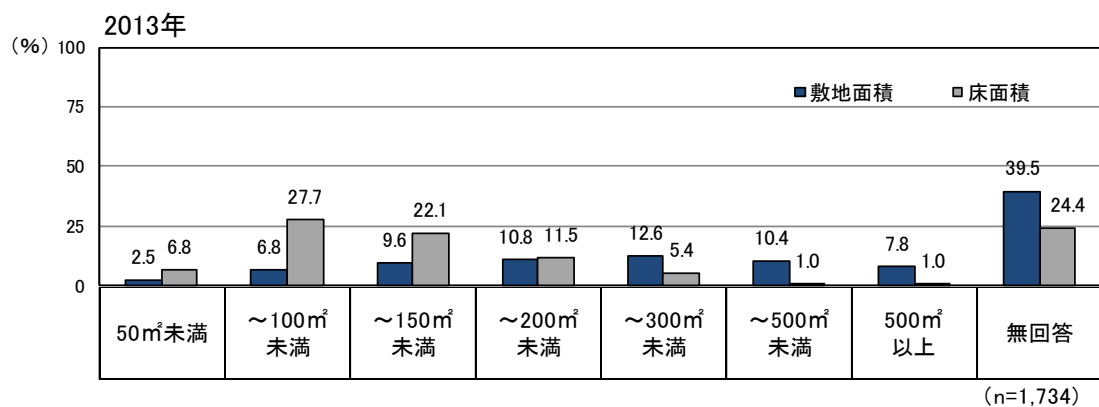
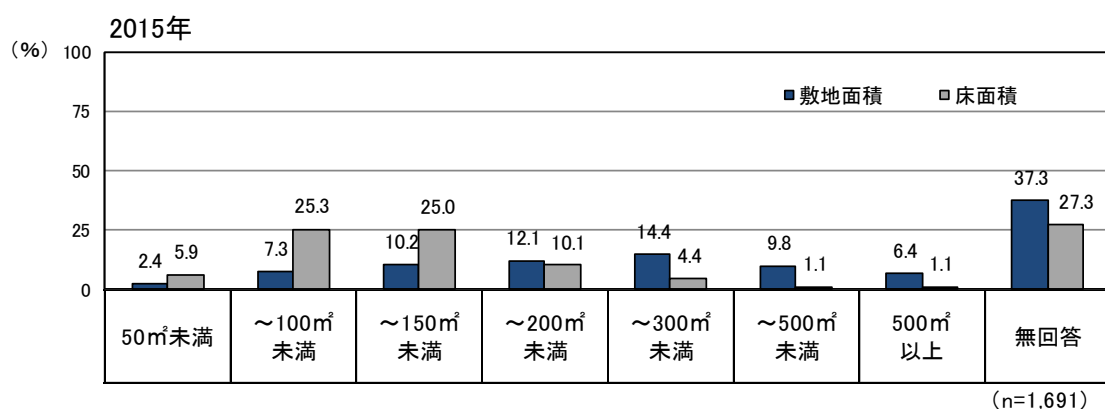
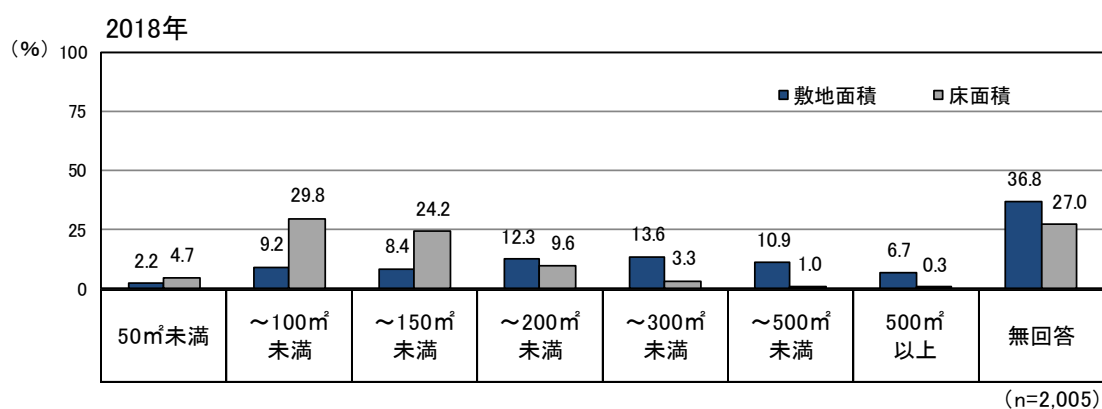
(図表 3－1) 現在の住居の構造 (問 1 3)



(図表 3－2) 現在の住居の築年数 (問 1 3－1)



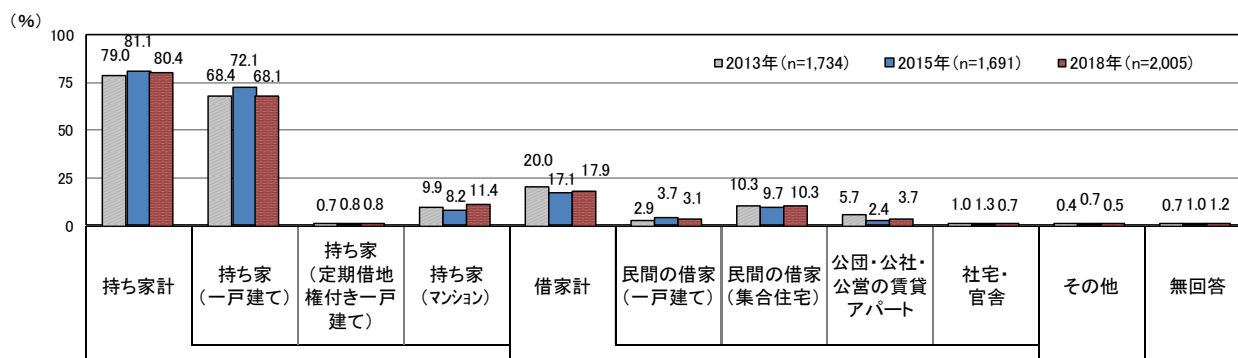
(図表 3-3) 敷地面積・床面積 (問 13-2)



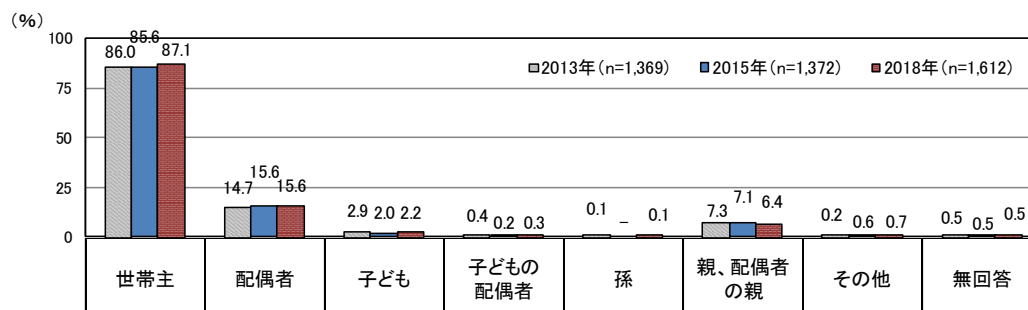
(2) 現在の住居の住居形態・所有者・取得方法・取得時期

- 現在の住居の住居形態は、『持ち家計』が80.4%、『借家計』が17.9%となった。『持ち家計』の内訳では、「持ち家（一戸建て）」が68.1%、「持ち家（マンション）」が11.4%となった。『借家計』の内訳では、「民間の借家（集合住宅）」（10.3%）、「公団・公社・公営の賃貸アパート」（3.7%）となる。
 ＊『持ち家計』は「持ち家（一戸建て）」、「持ち家（定期借地権付き一戸建て住宅）」、「持ち家（マンション）」の合計。
 『借家計』は「民間の借家（一戸建て）」「民間の借家（マンション、アパート等の集合住宅）」「公団・公社・公営の賃貸アパート」「社宅・官舎」の合計
- 持ち家に居住している世帯（1,612人）に現在の住居（建物）の所有者を複数回答で尋ねたところ、「世帯主」が最多で87.1%、次いで「配偶者」が15.6%となる。「親、配偶者の親」が6.4%と続いている。
- 世帯主または配偶者所有の持ち家に居住している世帯（1,483人）に、住居建物の取得方法を尋ねたところ、「購入した」が77.9%、「相続または譲渡を受けた」が20.1%、「その他」が1.1%となった
- 世帯主または配偶者所有の持ち家に居住している世帯（1,483人）に、住居建物を購入・相続・譲渡した時期を尋ねたところ、「10～15年未満」が最も多く13.7%、続いて「5～10年未満」が13.0%、「15～20年未満」が11.9%となった。

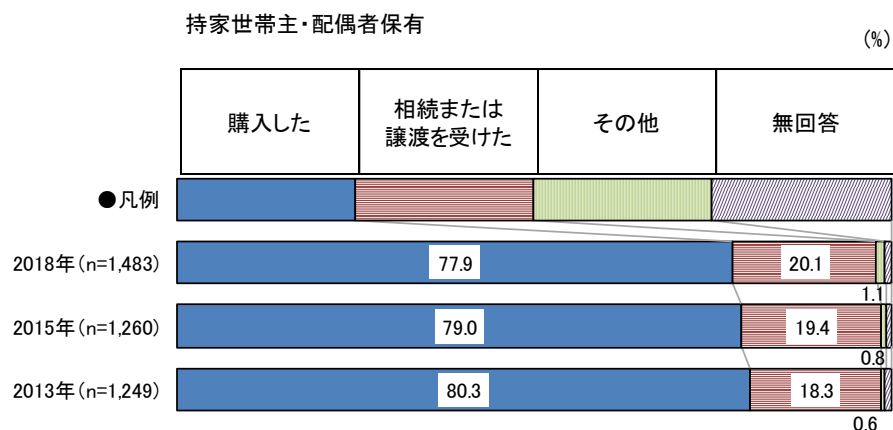
(図表3-4) 現在の住居の住居形態（問14）



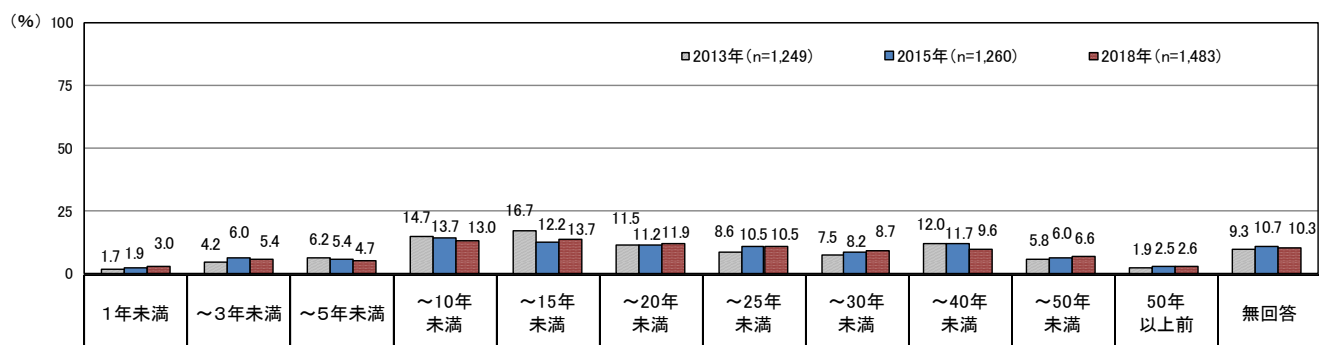
(図表3-5) 現在の住居建物の所有者（問14-1、複数回答）



(図表 3 - 6) 現住の住居建物の取得方法 (問 1 4 - 2)



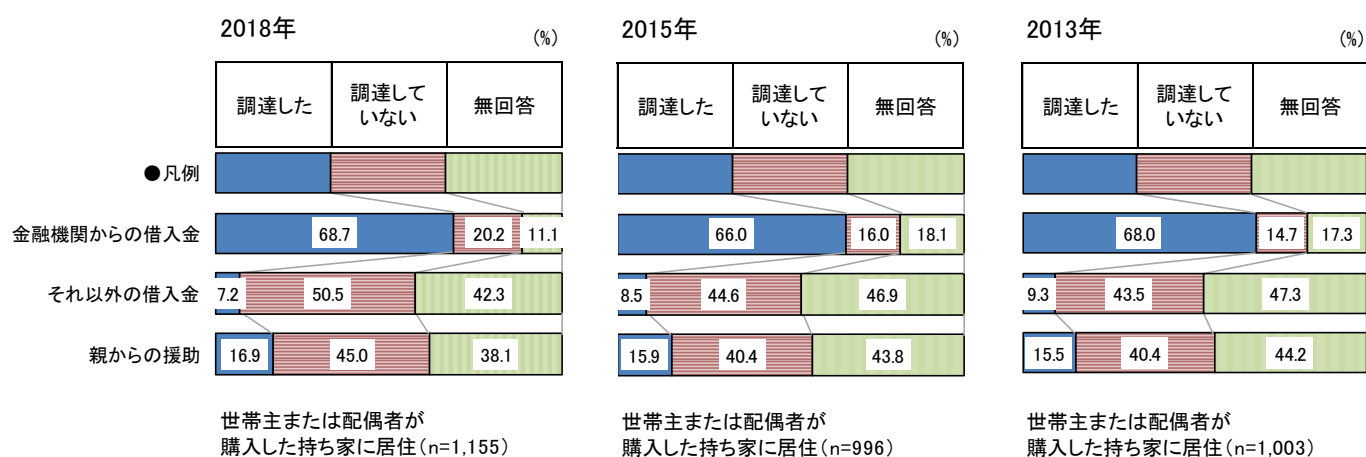
(図表 3 - 7) 住居の建物を購入、相続、譲渡した時期 (問 1 4 - 3)



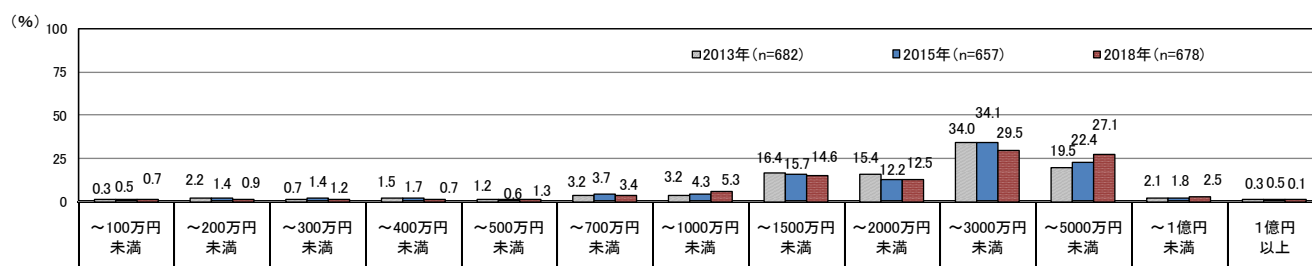
(3) 住居の購入資金

- 世帯主または配偶者が購入した持ち家に居住している世帯（1,155人）に資金調達の内訳を尋ねたところ、金融機関からの借入金で調達したのは68.7%、それ以外の借入金で調達したのは7.2%、親からの援助を受けたのは16.9%だった。
- 金融機関からの借入金で調達した世帯（678人）の借入金は、「2000～3000万円未満」が最多で29.5%、「3000～5000万円未満」が27.1%、「1000～1500万円未満」が14.6%。
- それ以外の借入金で調達した世帯（67人）の借入金は、「500～700万円未満」が最多で19.4%、続いて「700～1000万円未満」が17.9%、「1500～2000万円未満」が9.0%となった。
- 親からの援助で調達した世帯（164人）の借入金は、「500～700万円未満」が最も多く21.3%、続いて「1000～1500万円未満」が20.1%、「200～300万円未満」が14.0%となっている。

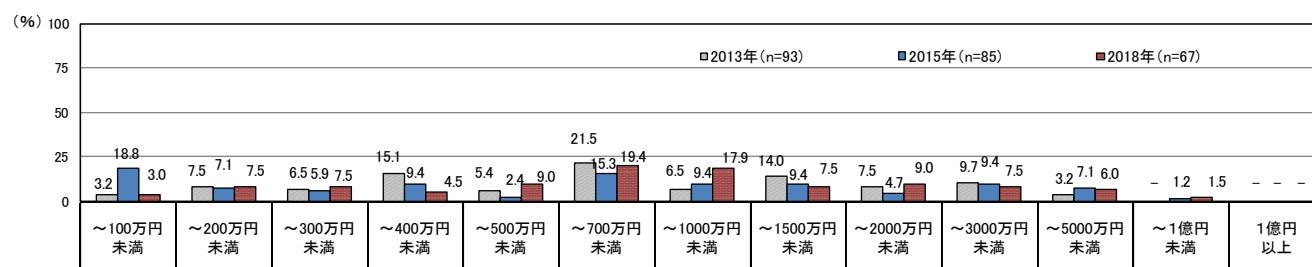
(図表3-8) 購入資金調達有無
(問14-4①、問14-4②、問14-4③)



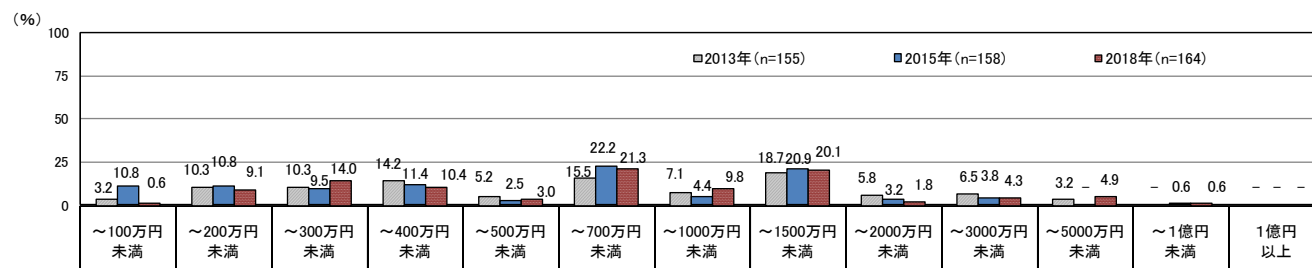
(図表 3-9) 資金調達内訳 (金融機関からの借入金) (問 14-4①)



(図表 3-10) 資金調達内訳 (金融機関以外の借入金) (問 14-4②)



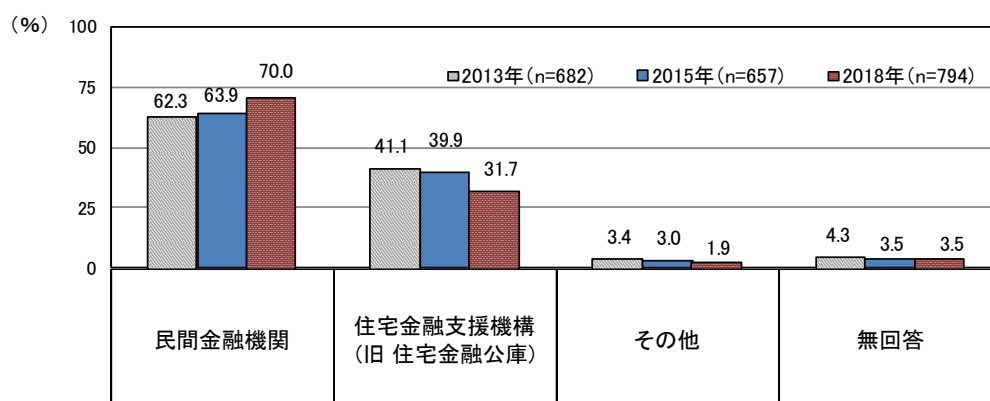
(図表 3-11) 資金調達内訳 (親からの援助) (問 14-4③)



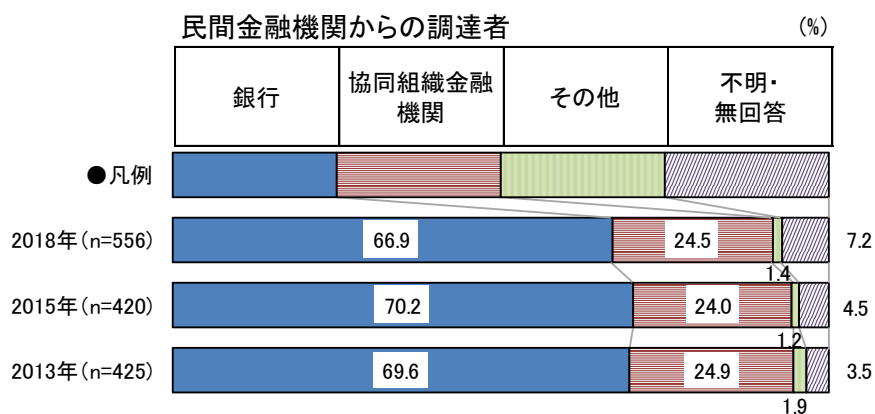
(4) 現在の住居の購入資金調達先

- 世帯主または配偶者が購入した持ち家に居住している世帯のうち、金融機関からの借入金で調達した世帯（794人）が主に調達した金融機関を複数回答で尋ねたところ、「民間金融機関」が70.0%で最も多かった。続いて「住宅金融支援機構(旧 住宅金融公庫)」が31.7%、「その他」は1.9%だった。
- 「民間金融機関」で主に調達した世帯（556人）の調達機関の内訳として記載のあった自由回答を整理したところ、「銀行」が66.9%、「協同組織金融機関」が24.5%、「その他」が1.4%となった。

(図表3-12) 主に調達した金融機関（問14-5、複数回答）



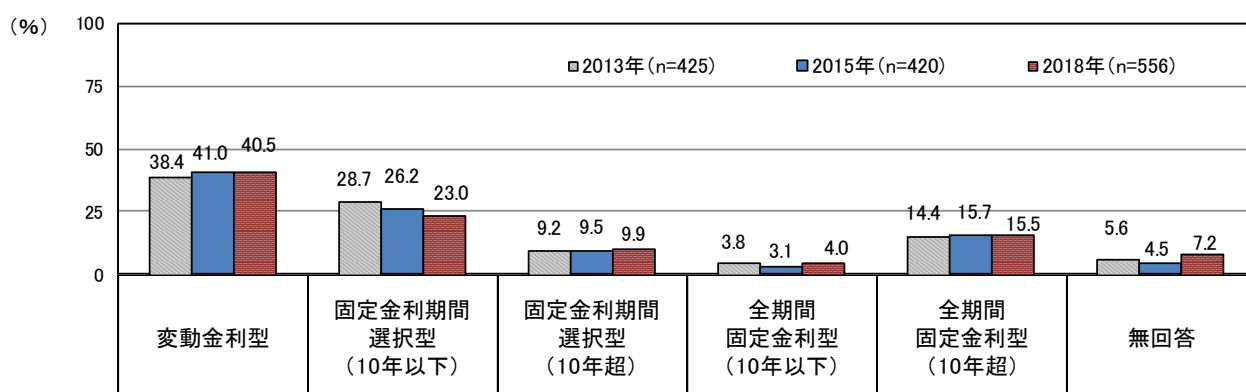
(図表3-13) 主に調達した民間の金融機関（問14-6）



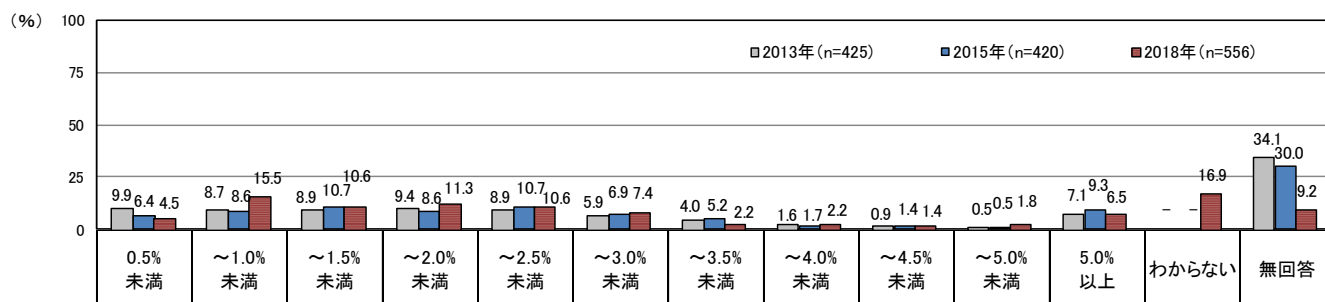
(5) 民間金融機関からの借入金の金利

- 主に「民間金融機関」から調達した世帯（556 人）の借入金の金利タイプは、「変動金利型」が 40.5% で最も多く、次いで「固定金利期間選択型（10 年以下）」（23.0%）、「全期間固定金利型（10 年超）」（15.5%）の順となっている。
- 民間金融機関からの借入金利率としては、「0.5%～1.0%未満」が 15.5%でもっとも多く、次いで「1.5%～2.0%未満」が 11.3%だった。一方、「わからない」が 16.9%だった。

(図表 3-14) 民間金融機関からの借入金の金利タイプ（問 14-7）



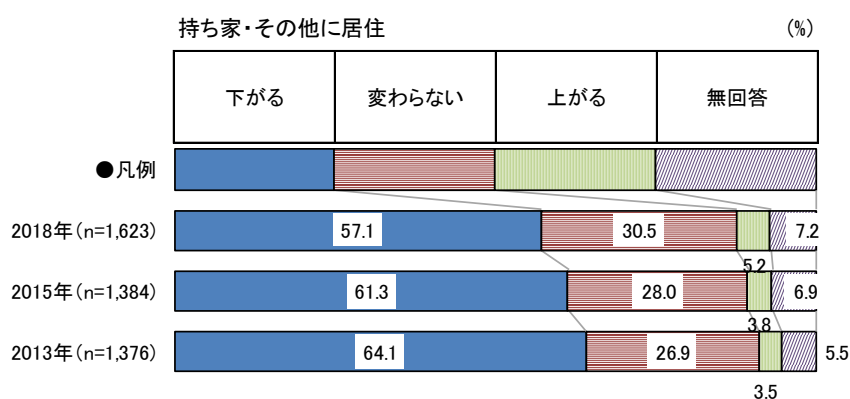
(図表 3-15) 民間金融機関からの借入金の金利（問 14-8）



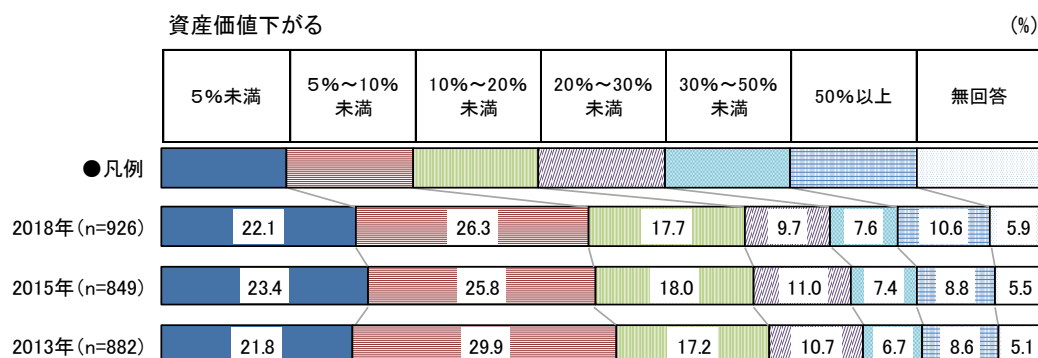
（６）現在の住居の３年後の資産価値

- 現在の住居が持ち家またはその他（借家以外）の世帯（1,623 人）に、現在の住居の３年後の資産価値がどのようになると思うかを尋ねたところ、「下がる」が 57.1%、「変わらない」が 30.5%、「上がる」が 5.2%となった。
- 資産価値が「下がる」と回答した人（926 人）に、下落幅の程度を尋ねたところ、「５％～１０％未満」が最も多く 26.3%、続いて「５％未満」が 22.1%、「１０％～２０％未満」が 17.7%となった。
- 資産価値が「上がる」と回答した人（85 人）に、上昇幅の程度を尋ねたところ、「５％未満」（51.8%）が５割強を占め、次いで「５％～１０％未満」が 29.4%、「１０％～２０％未満」が 9.4%となった。

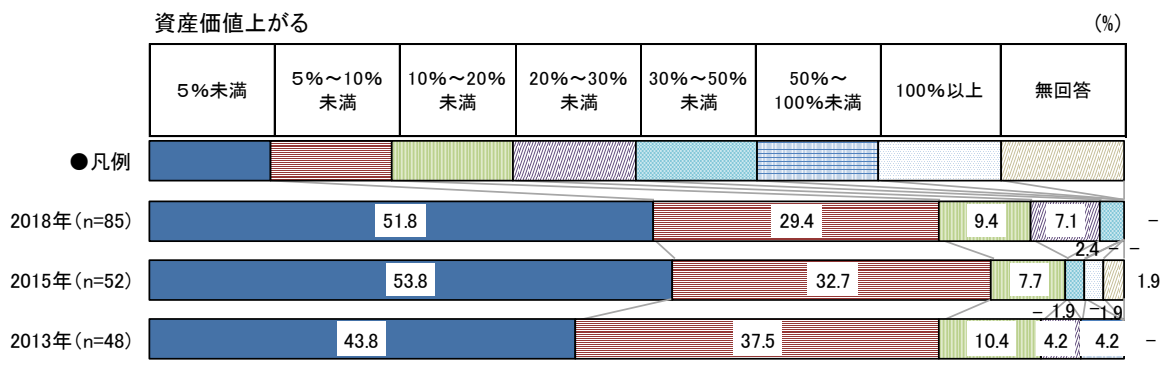
（図表３－１６）現在の住居の３年後の資産価値（問１５）



（図表３－１７）現在の住居の３年後の資産価値下落幅（問１５－１）



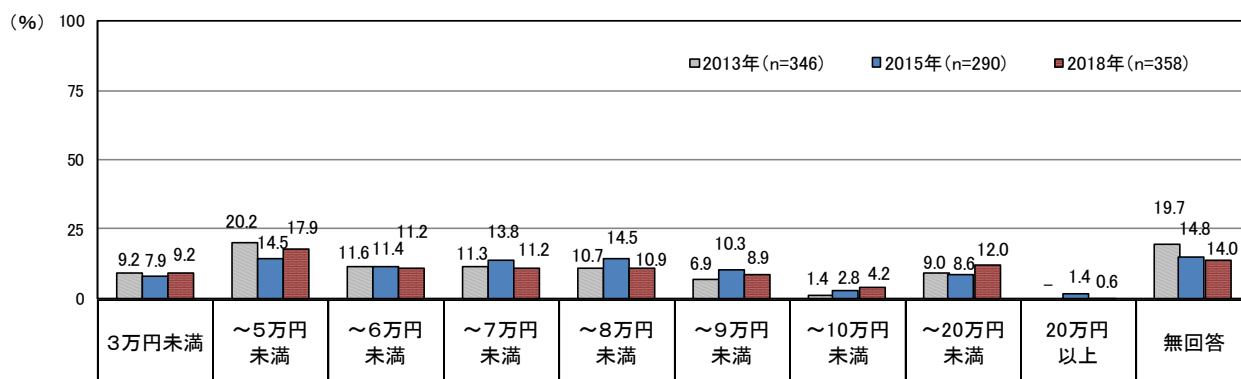
（図表３－１８）現在の住居の３年後の資産価値上昇幅（問１５－２）



（７）現在の住居の家賃

- 現在賃貸住宅または社宅・官舎に居住している世帯（358 人）に現在の住居のひと月の家賃（共益費、管理費を含む）を尋ねたところ、回答順で「3～5 万円未満」（17.9%）、「10～20 万円未満」（12.0%）、「6～7 万円未満」（11.2%）、「5～6 万円未満」（11.2%）、「7～8 万円未満」（10.9%）となる。

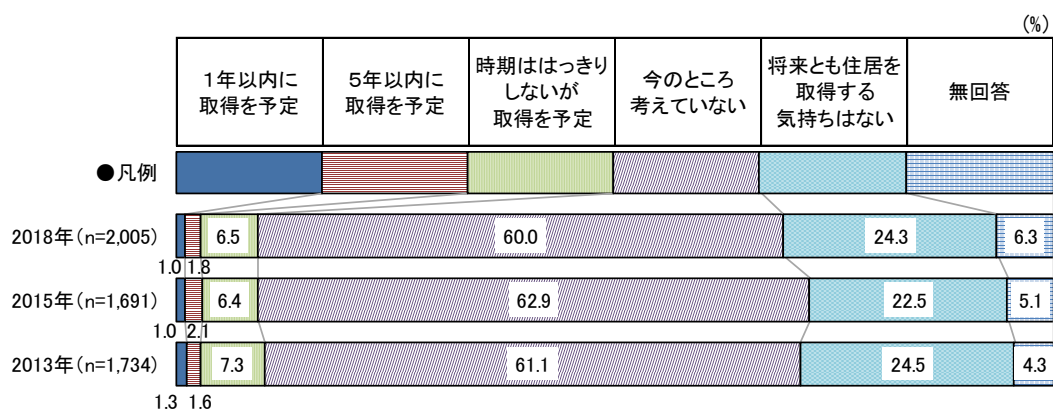
（図表 3－19）現在の住居の家賃（問 16）



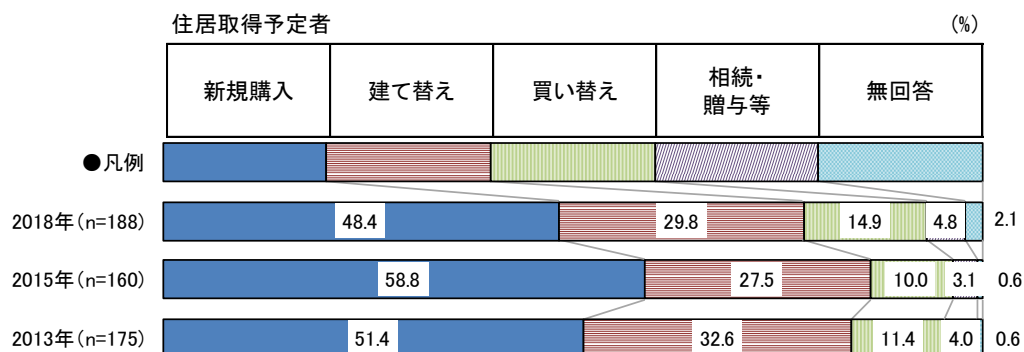
(8) 住居の取得予定

- 住居の取得（建て替え、買い替えなどを含む）予定について尋ねたところ、住居の取得予定の有無は、「今のところ考えていない」が最も多く 60.0%、続いて「将来とも住居を取得する気持ちはない」が 24.3%、「時期ははっきりしないが取得を予定」が 6.5%となった。一方、時期未定を含めた取得予定世帯は合計 9.4%だった。
- 取得予定世帯（188 人）の住居の取得方法としては、「新規購入」が最も多く 48.4%、続いて「建て替え」が 29.8%、「買い替え」が 14.9%となった。
- 新規購入、建て替え、買い替えのいずれかによる取得予定世帯（188 人）において、金融機関からの借入金で調達予定がある人は 40.4%と 4 割を占めた。親からの援助で調達予定がある人は 5.3%。
- 金融機関からの調達予定者（63 人）の借入金予定額は、「3 0 0 0～5 0 0 0 万円未満」が最も多く 33.3%、続いて「2 0 0 0～3 0 0 0 万円未満」が 28.6%、「1 0 0 0～1 5 0 0 万円未満」が 15.9%となった。

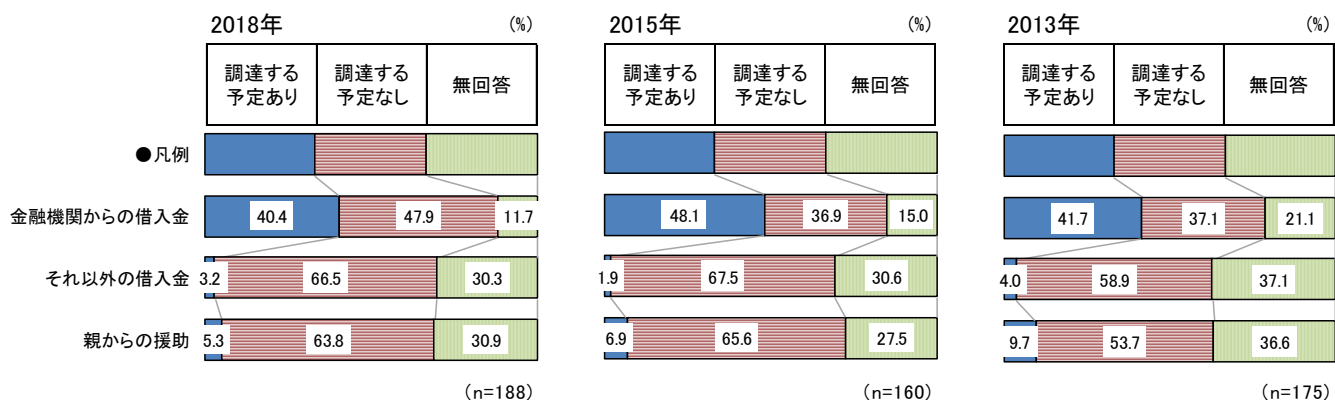
(図表 3－20) 住居の取得予定（問 17）



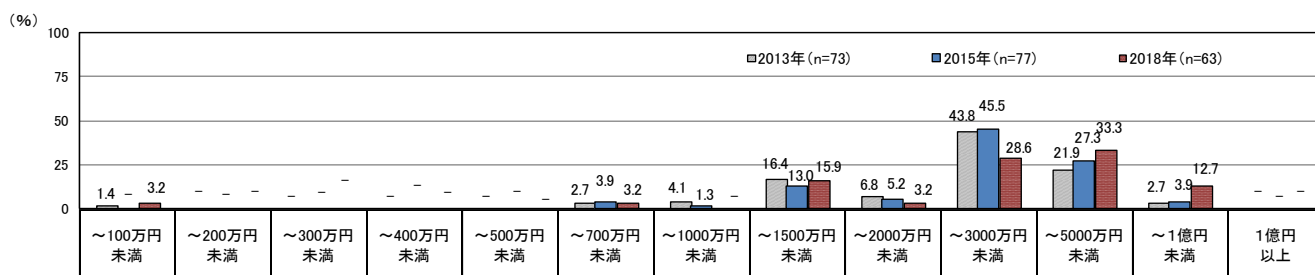
(図表 3－21) 取得予定の住居の取得方法（問 17－1）



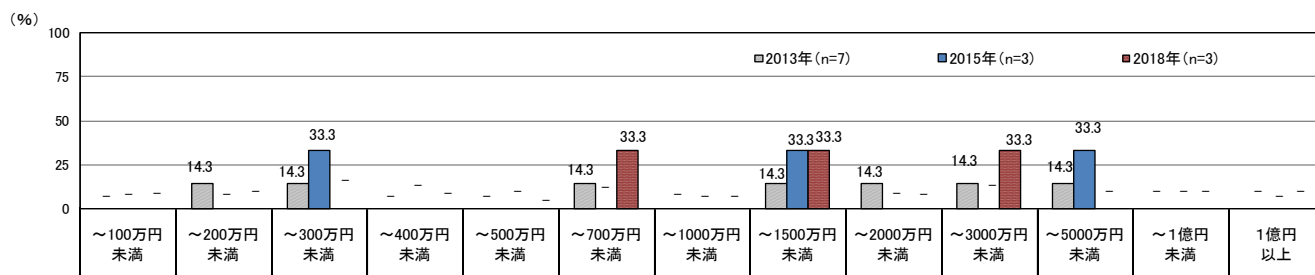
(図表 3-22) 資金調達予定有無
(問 17-2①、問 17-2②、問 17-2③)



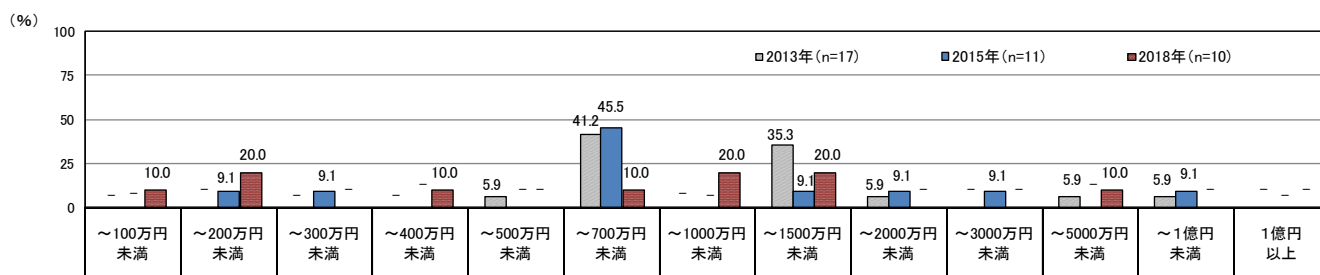
(図表 3-23) 資金調達内訳 (金融機関) (問 17-2①)



(図表 3-24) 資金調達内訳 (金融機関以外) (問 17-2②)

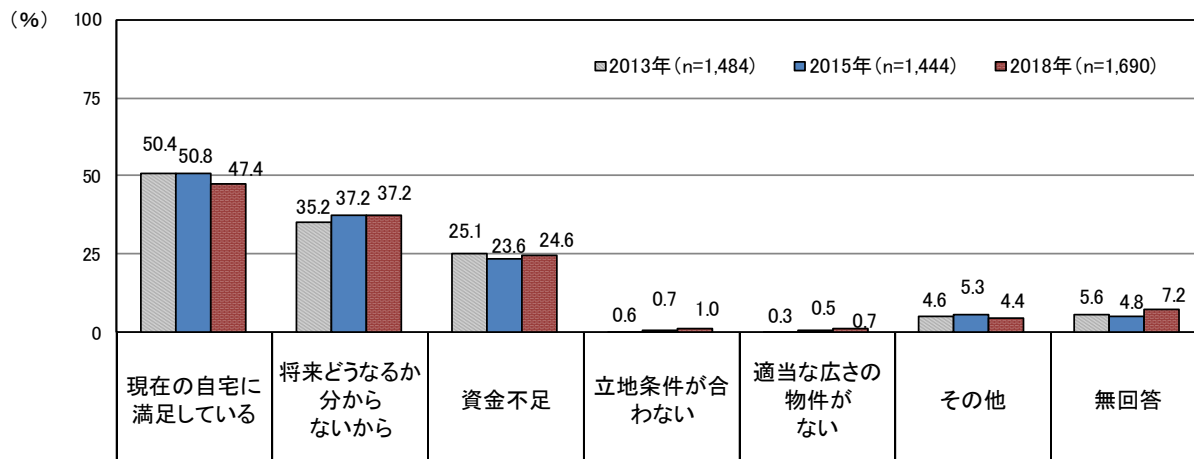


(図表 3-25) 資金調達内訳 (親からの援助) (問 17-2③)



- 取得予定のない世帯（1,690 人）に住居取得を考えない理由を複数回答で尋ねたところ、多い順に「現在の自宅に満足している」（47.4%）、「将来どうなるか分からないから」（37.2%）、「資金不足」（24.6%）、「立地条件が合わない」（1.0%）、「適当な広さの物件がない」（0.7%）となった。

（図表 3－26）住居取得を考えない理由（問 17－3、複数回答）

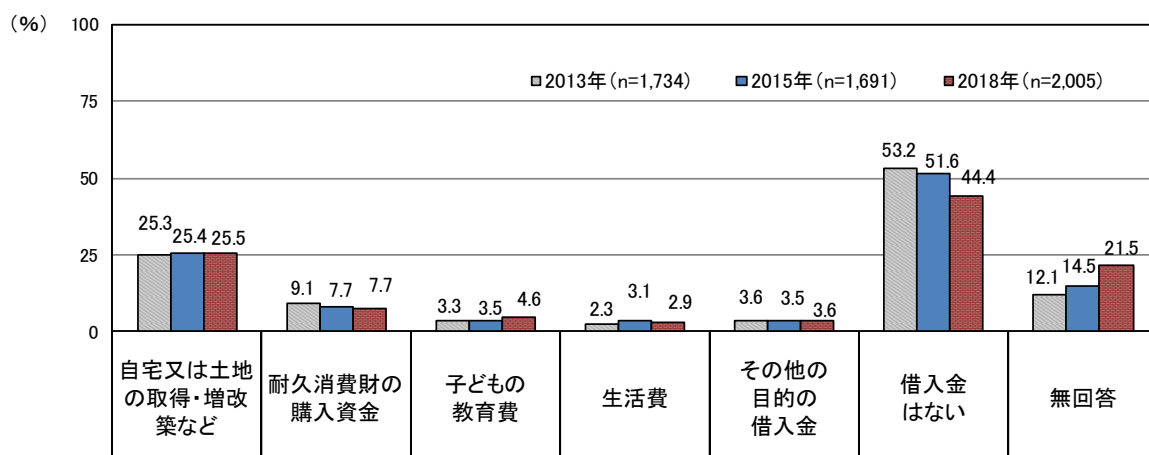


4. 世帯の借入金について

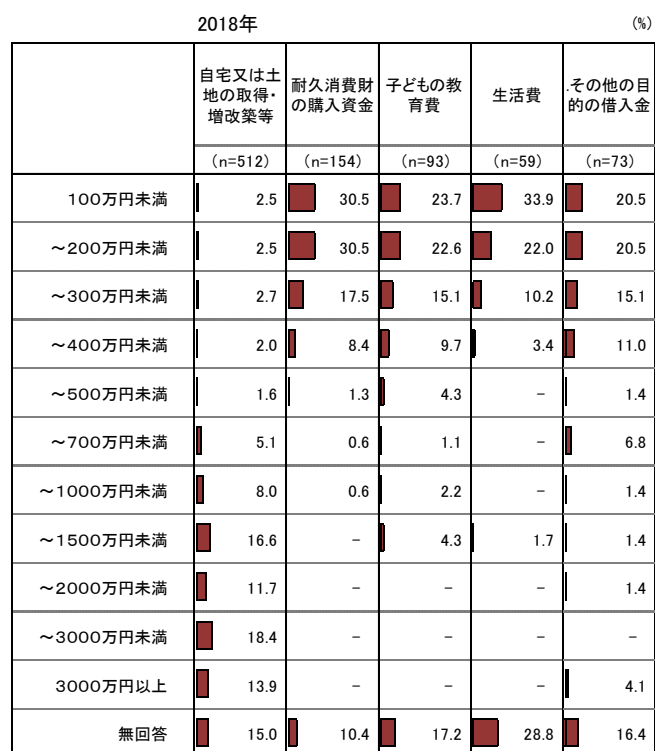
(1) 借入の状況

- 世帯借入の内訳を複数回答で尋ねたところ、「借入金はない」が最も多く 44.4%、続いて「自宅又は土地の取得・増改築など」が 25.5%、「耐久消費財の購入資金」が 7.7%となった。「生活費」の回答は少ないが 2.9%ほどある。
- 自宅又は土地の取得・増改築などで借入がある世帯（512 人）の現在借入残高は、「2000～3000万円未満」が最多で 18.4%、続いて「1000～1500万円未満」が 16.6%、「3000万円以上」が 13.9%となった。
耐久消費財（自動車、家具、家電など）の購入資金で借入がある世帯（154 人）の現在借入残高は、「100～200万円未満」と「100万円未満」がそれぞれ 30.5%で最も多く、次いで「200～300万円未満」が 17.5%となった。
子どもの教育費で借入がある世帯（93 人）の現在の借入残高は、「100万円未満」（23.7%）、「100～200万円未満」（22.6%）、「200～300万円未満」（15.1%）の順となった。
生活費の借入がある世帯（59 人）の現在の借入残高は、「100万円未満」が 33.9%で最も多く、続いて「100～200万円未満」（22.0%）、「200～300万円未満」（10.2%）の順となった。
- 現在借入残高がある世帯（682 人）において、1 年前に比べて残高が増えた借入目的（複数回答）は、無回答が 83.4%と多いため参考程度となるが、いずれの項目も 3%から 5%ほどの回答である。一方、1 年前に比べて残高が減った借入目的（複数回答）は、「自宅又は土地の取得・増改築など」が 62.6%と最も多く、次いで「耐久消費財の購入資金」が 15.5%だった。

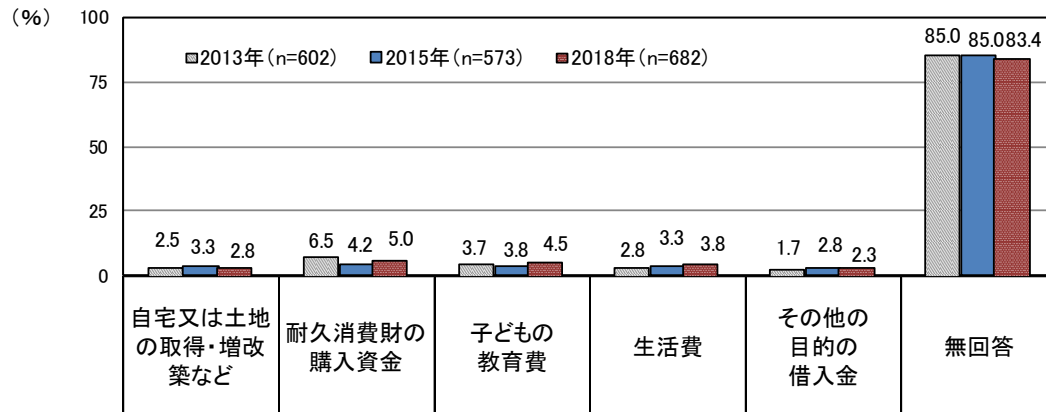
(図表 4－1) 借入の目的（問 18 (1)、複数回答）



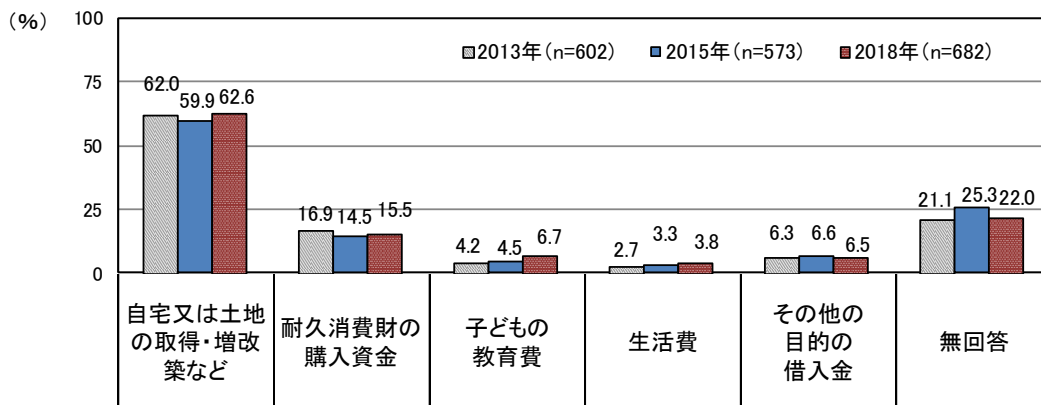
(図表4-2) 借入金の残高(問18(2))



(図表 4－3) 1 年前に比べて増加した借入金 (問 1 8 (3)、複数回答)



(図表 4－4) 1 年前に比べて減少した借入金 (問 1 8 (4)、複数回答)

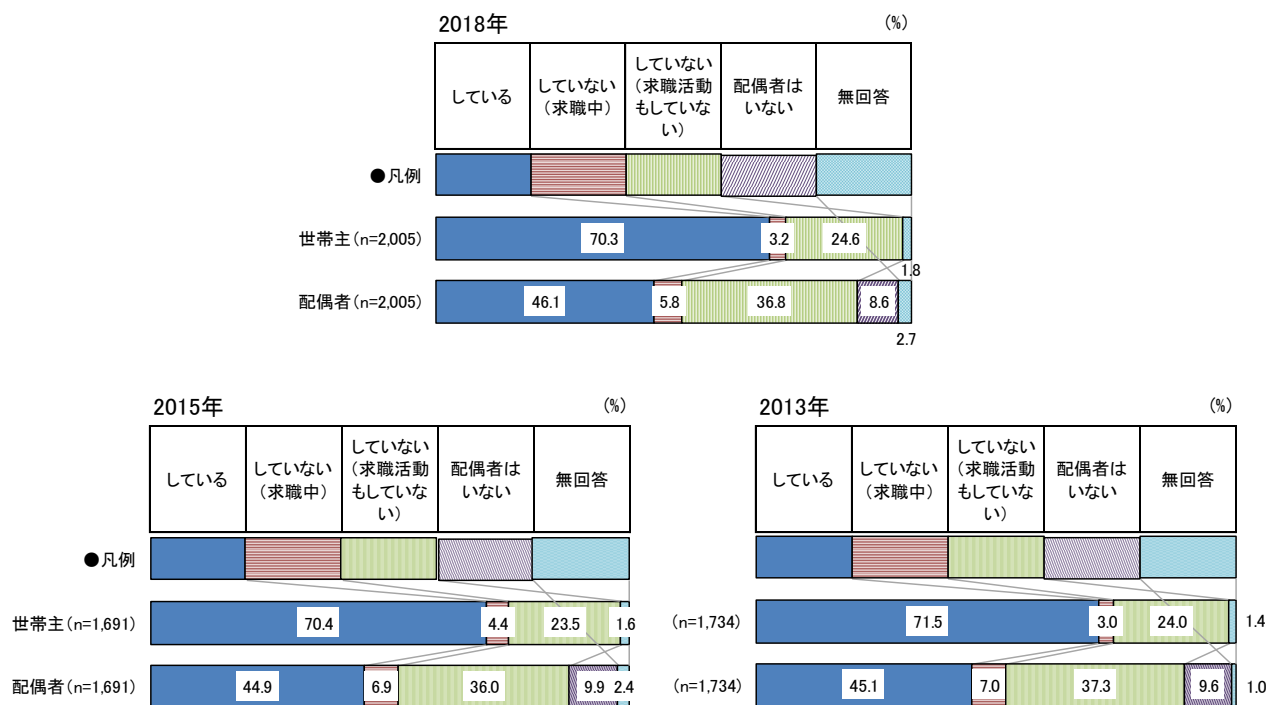


5. 仕事と家計について

(1) 世帯主・配偶者の就労有無

- 世帯主が現在収入をとまなう仕事をしているかについて尋ねたところ、「している」が70.3%で最も多く、「していない（求職活動もしていない）」は24.6%、「していない（求職中）」は3.2%となった。一方、配偶者も、「している」が46.1%で最も多く、続いて「していない（求職活動もしていない）」が36.8%、「していない（求職中）」が5.8%となった。

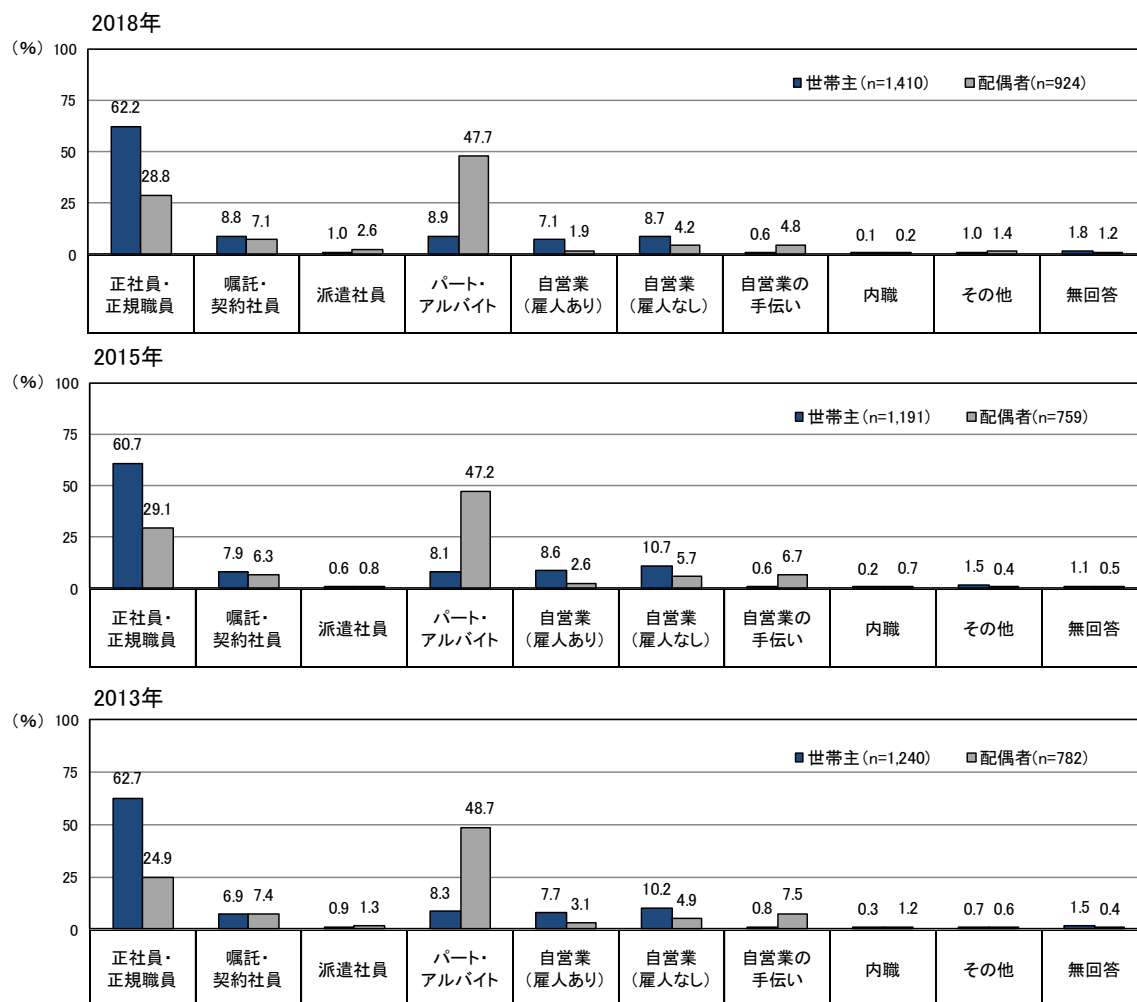
(図表5－1) 世帯主・配偶者の就労有無（問19・問21）



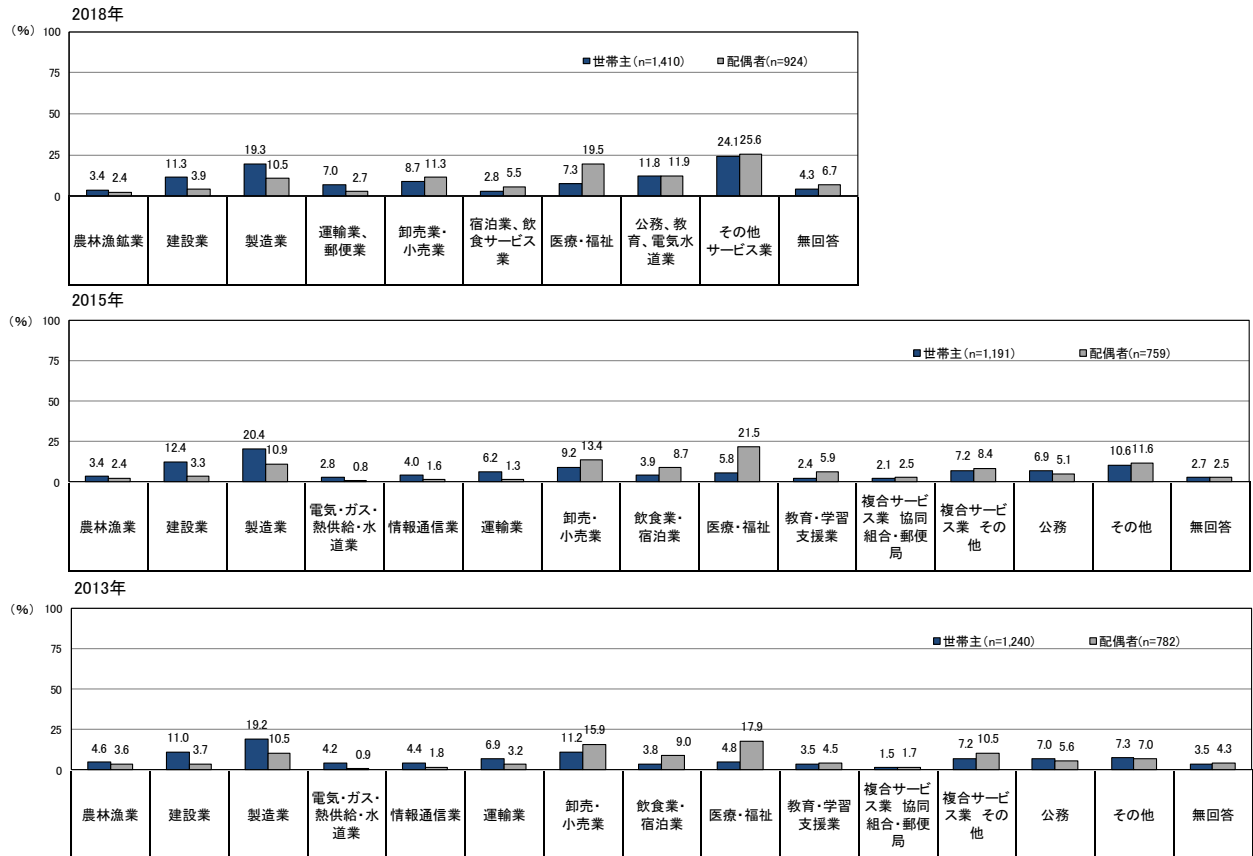
(2) 現在就業中の世帯主・配偶者の就労状況

- 現在就業中の世帯主（1,410人）の雇用形態は、「正社員・正規職員」が62.2%で最も多く、次いで「パート・アルバイト」（8.9%）、「嘱託・契約社員」（8.8%）、「自営業（雇人なし）」（8.7%）がほぼ並んだ。現在就業中の配偶者（924人）の雇用形態は、「パート・アルバイト」が47.7%で最も多く、「正社員・正規職員」が28.8%で続いた。
- 就業者の業種内訳は、世帯主は「その他サービス業」（24.1%）が最も多く、「製造業」が19.3%で続いた。配偶者も「その他サービス業」が25.6%で最も多く、「医療・福祉」が19.5%で続いた。
- 就業者の職種は、世帯主では「技能工・生産工程に関わる職業」が22.1%で最も多く、次いで「専門・技術的職業」（17.7%）、「事務的な仕事」（12.2%）、「営業・販売の仕事」（11.9%）の順だった。配偶者では、「事務的な仕事」が25.0%で最も多く、次いで「サービスの職業」（21.8%）、「専門・技術的職業」（21.4%）、「営業・販売の仕事」（11.1%）の順だった。

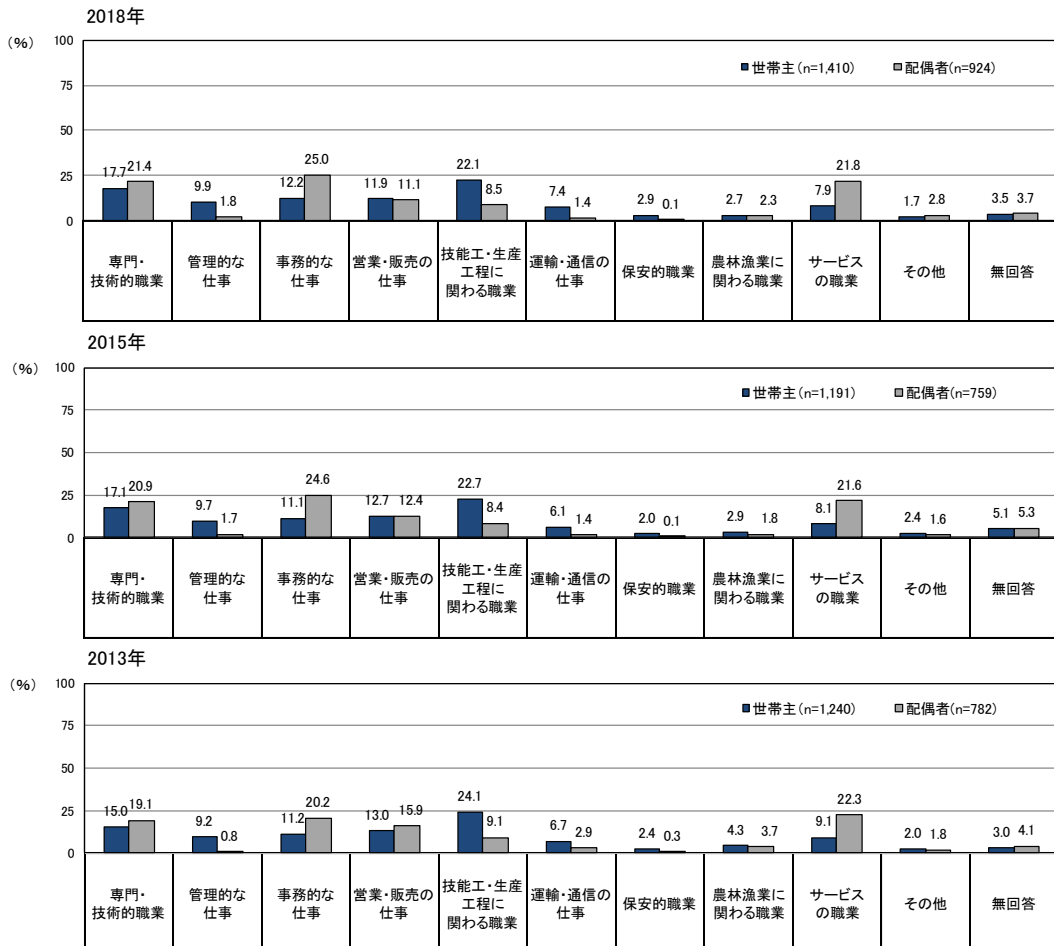
(図表5-2) 就業中世帯主・配偶者の雇用形態（問19-1(1)・問21-1(1)）



(図表 5－3) 就業中世帯主・配偶者の業種 (問 19－1 (2)、問 21－1 (2))

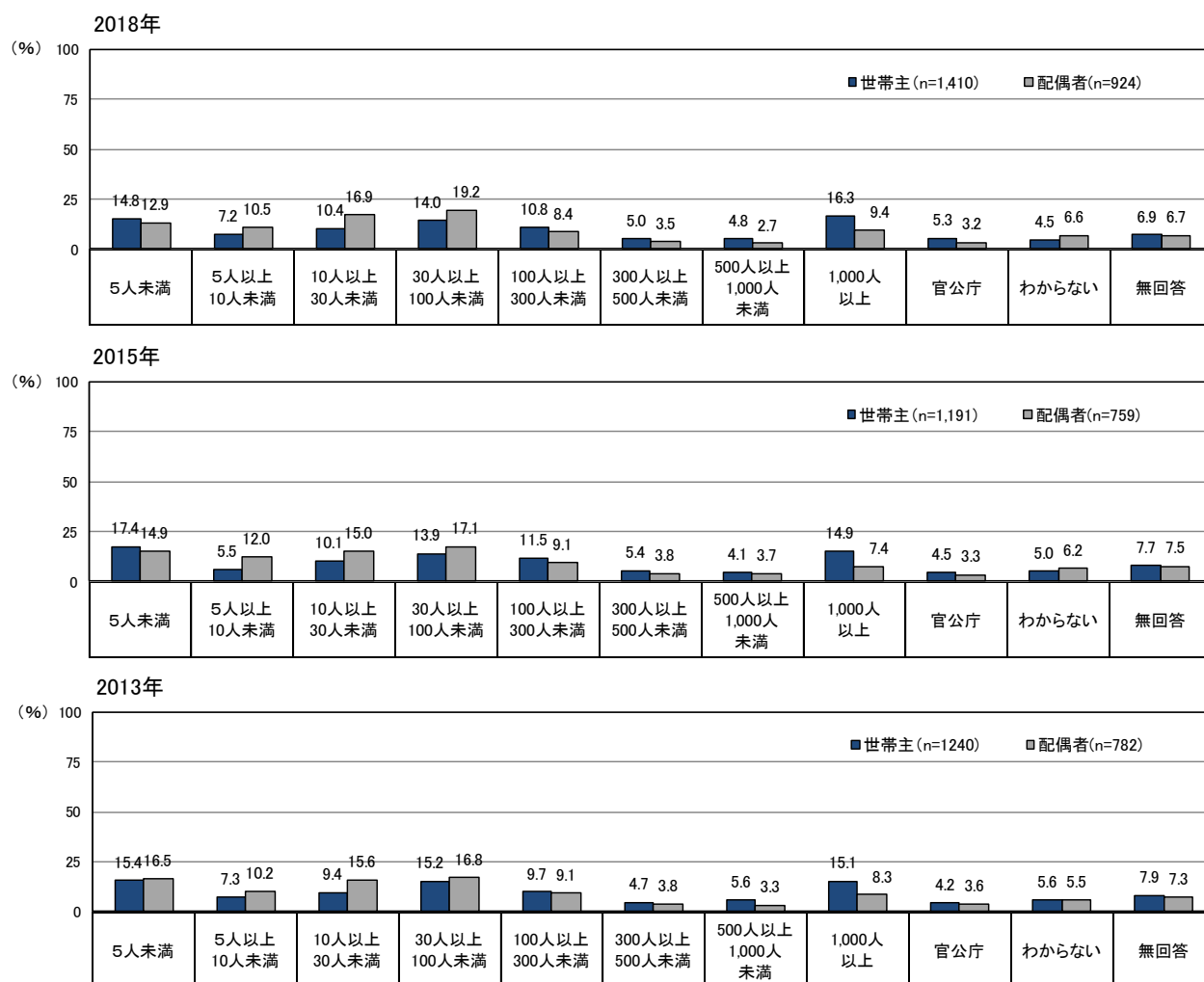


(図表 5－4) 就業中世帯主・配偶者の職種 (問 19－1 (3) ・問 21－1 (3))

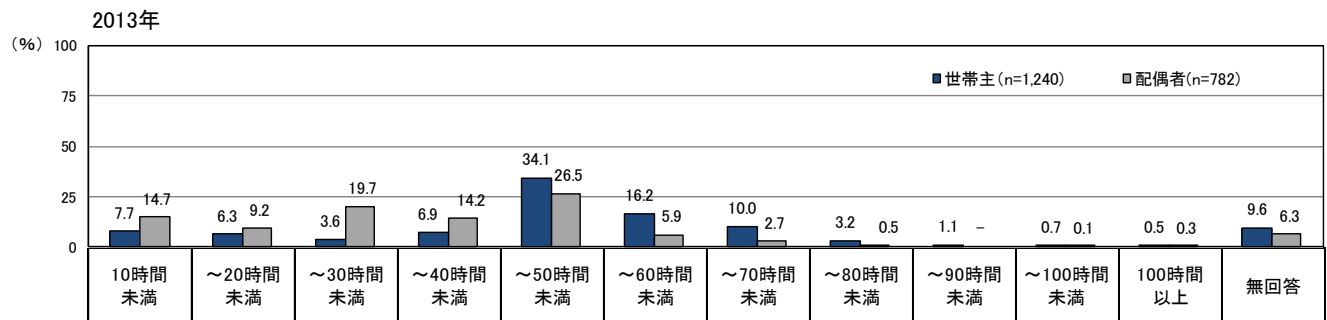
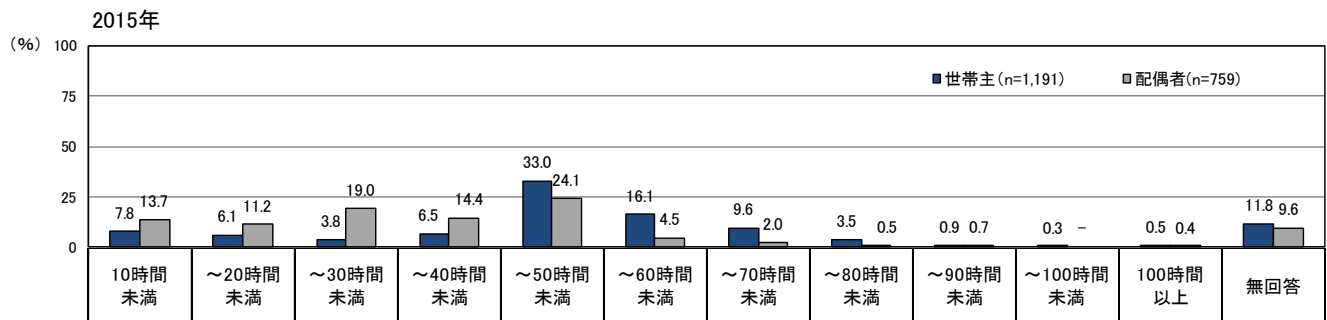
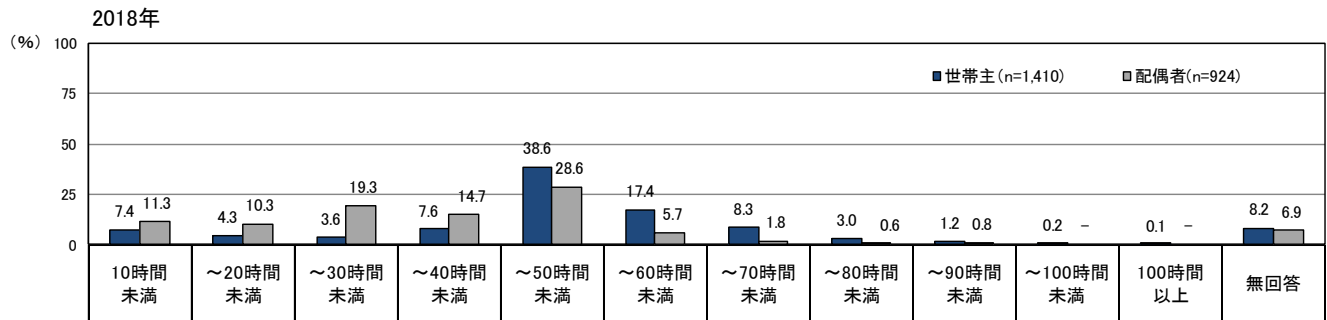


- 勤務先従業員数は、世帯主では「1,000人以上」が最も多く16.3%、続いて「5人未満」が14.8%、「30人以上100人未満」が14.0%となった。配偶者では「30人以上100人未満」が最多で19.2%、「10人以上30人未満」が16.9%、「5人未満」が12.9%となった。
- 週平均就労時間は、世帯主、配偶者ともに「40～50時間未満」が最も多く、世帯主では38.6%、配偶者では28.6%を占める。
- 入社時期は、世帯主では、「平成20年代以降」(32.3%)と「平成10年代」(19.4%)が多く、配偶者も「平成20年代以降」が48.3%で最も多く、「平成10年代」が18.2%となっている。

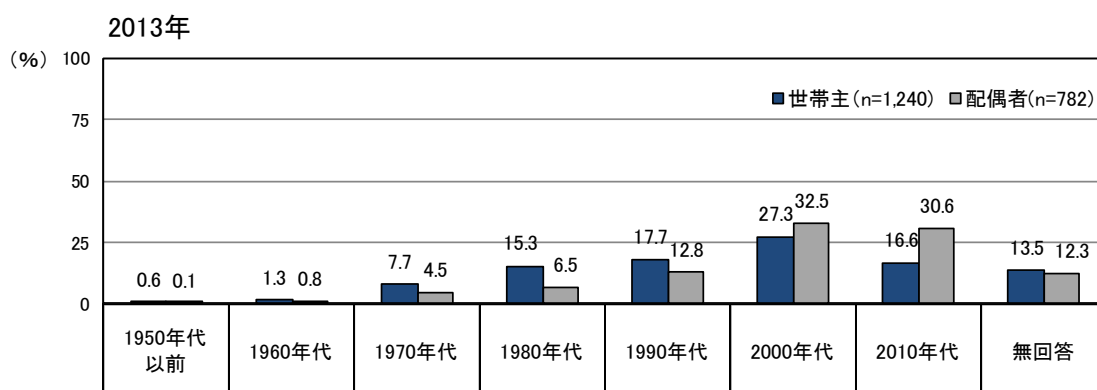
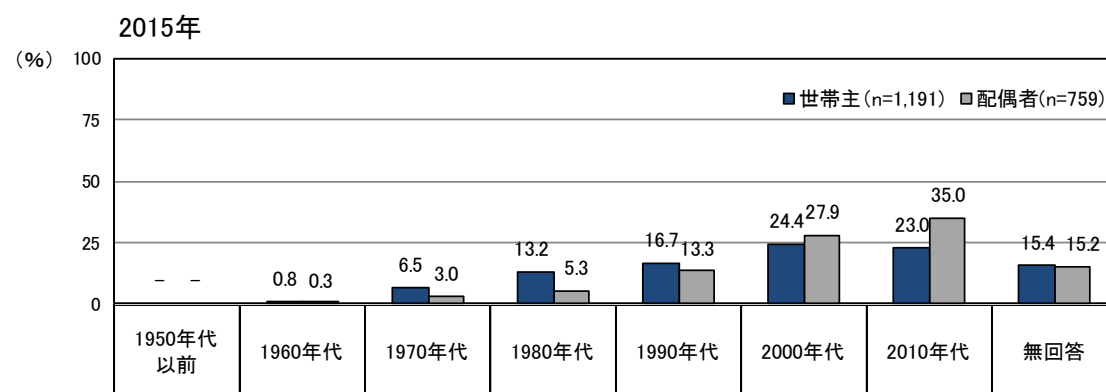
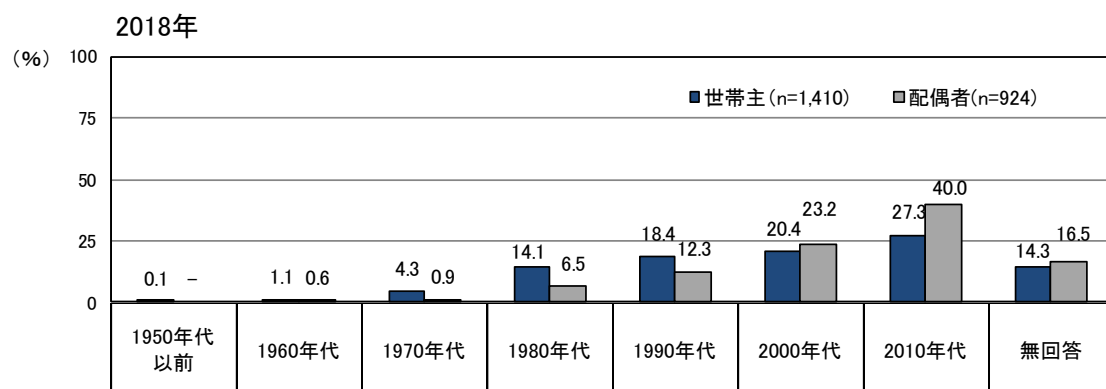
(図表5-5) 就業者世帯主・配偶者勤務先の従業員数(問19-1(4)、問21-1(4))



(図表5-6) 就業中世帯主・配偶者の週平均就労時間 (問19-1(5)、問21-1(5))



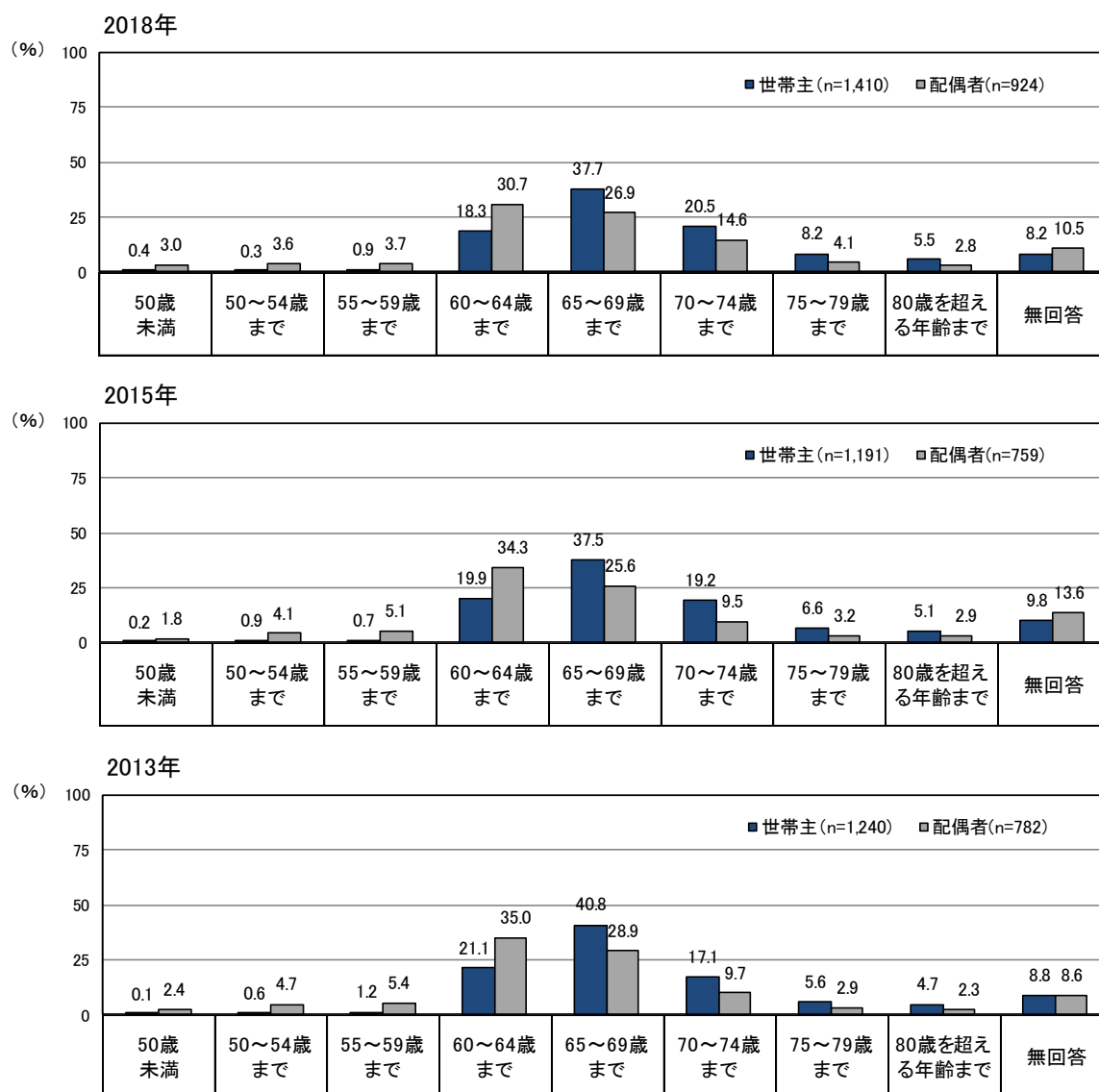
(図表 5－7) 就業者世帯主・配偶者の入社時期 (問 19－1 (6)、問 21－1 (6))



(3) 就業中世帯主・配偶者の就労継続希望年齢

- 現在就業中の世帯主（1,410人）に、何歳まで働きたいかを尋ねたところ、「65～69歳まで」が最も多く37.7%、続いて「70～74歳まで」が20.5%、「60～64歳まで」が18.3%となった。現在就業中の配偶者（924人）では、「60～64歳まで」が最も多く30.7%、続いて「65～69歳まで」が26.9%、「70～74歳まで」が14.6%となる。

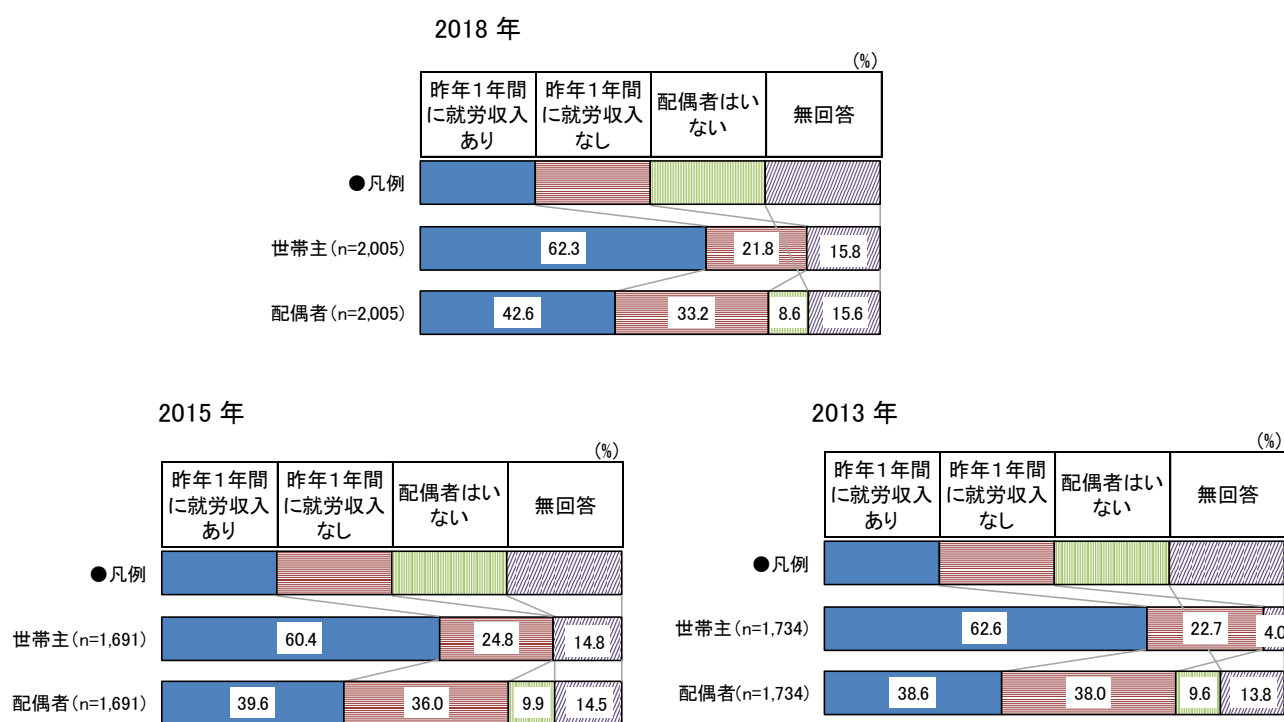
(図表5-8) 世帯主・配偶者の就労継続希望年齢（問20・問22）



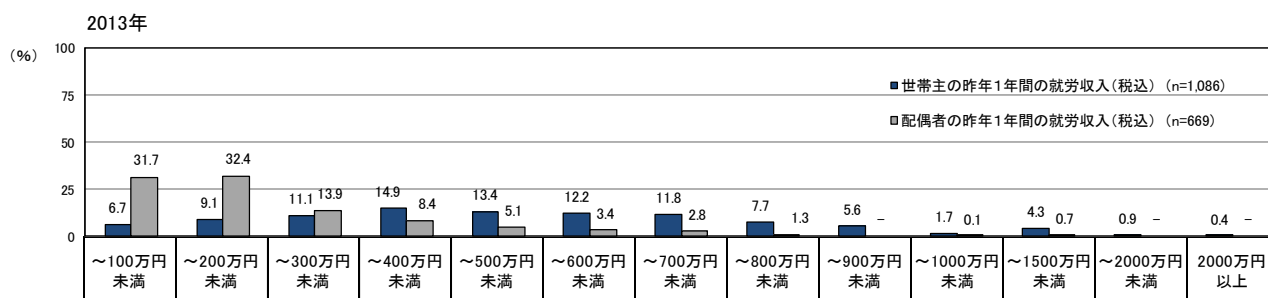
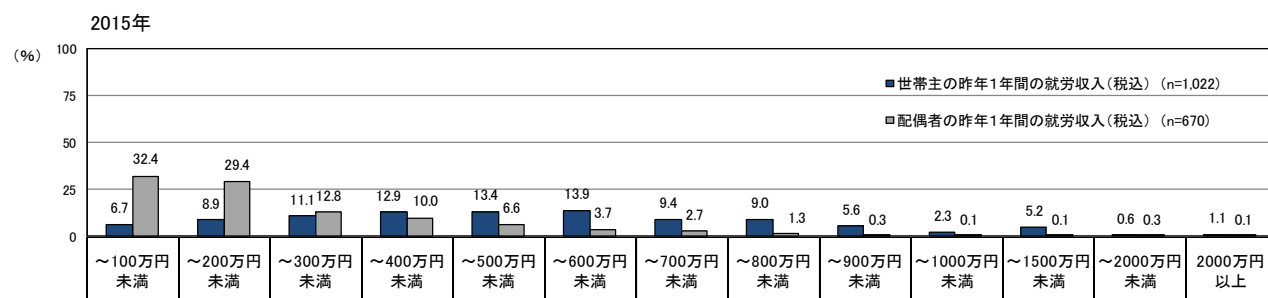
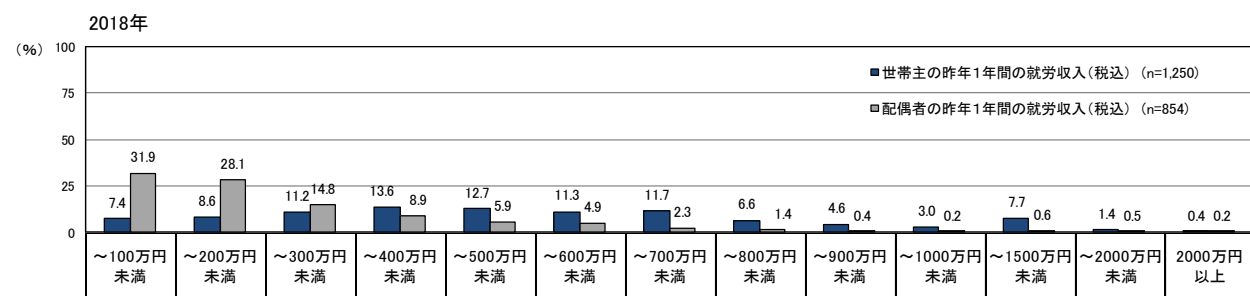
(4) 就労収入

- 前年（2014年）1年間に就労収入があった人は、世帯主では62.3%、配偶者では42.6%である。
- 前年1年間に就労収入があった世帯主（1,250人）の前年の就労収入（税込）は、「300～400万円未満」（13.6%）が最も多く、「400～500万円未満」（12.7%）、「600～700万円未満」（11.7%）、「500～600万円未満」（11.3%）「200～300万円未満」（11.2%）の順となった。
- 前年1年間に就労収入があった配偶者（854人）の前年の就労収入（税込）は、「100万円未満」（31.9%）がもっとも多く、次いで「100～200万円未満」が28.1%で、両者を合わせた『200万円未満』で6割を占める。

(図表5-9) 世帯主・配偶者の前年1年間の就労収入有無（問23(1)・(2)）



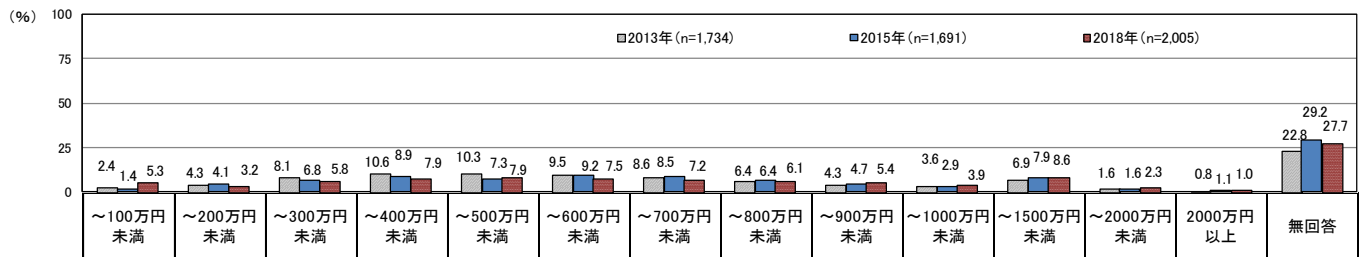
(図表5－10) 世帯主・配偶者の前年1年間の就労収入(問23(1)・(2))



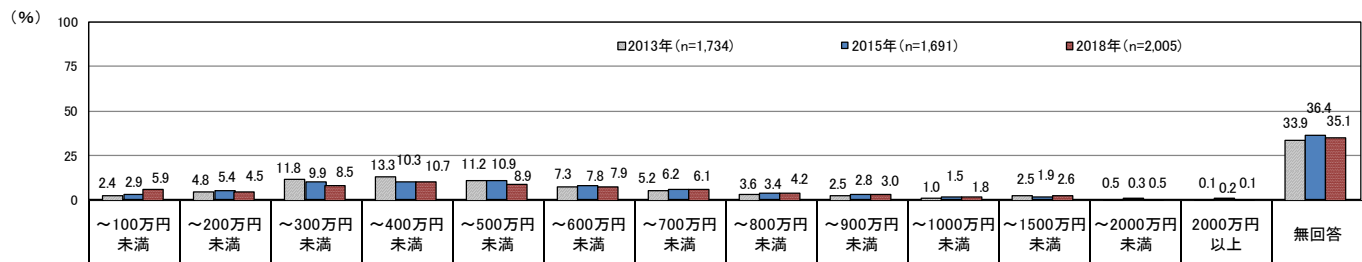
(5) 世帯収入

- 昨年1年間の世帯収入（税込総収入）は、「1000～1500万円未満」が最も多く8.6%、続いて「400～500万円未満」が7.9%、「300～400万円未満」が7.9%となった。
- 昨年1年間の税抜き手取り額の世帯収入は、回答の順位では「300～400万円未満」（10.7%）、「400～500万円未満」（8.9%）、「200～300万円未満」（8.5%）、「500～600万円未満」（7.9%）、「600～700万円未満」（6.1%）「～100万円未満」（5.9%）となる。

(図表5-11) 世帯の総収入（問24(1)）



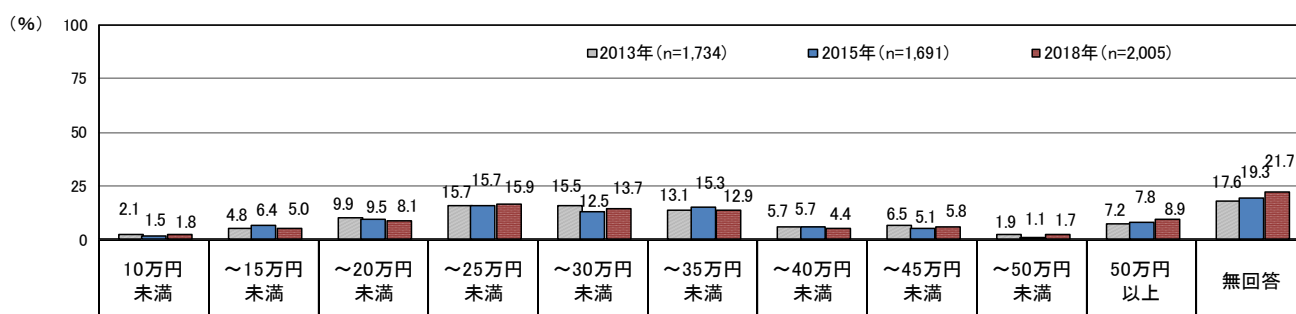
(図表5-12) 世帯の手取り額（問24(2)）



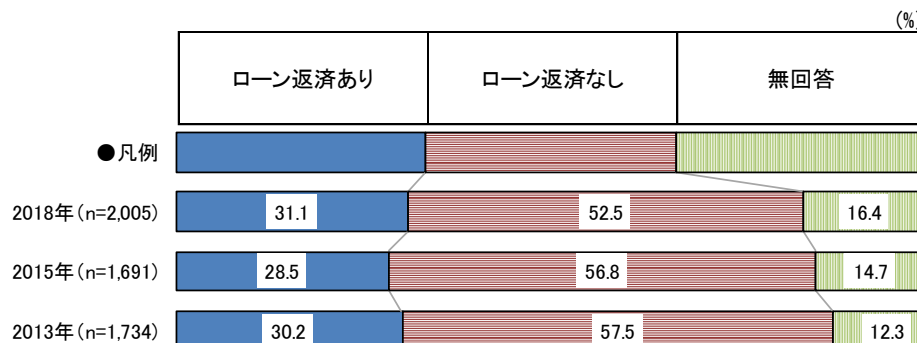
(6) 世帯支出

- 前年ひと月あたりの平均支出は、「20～25万円未満」が最も多く15.9%、続いて「25～30万円未満」が13.7%、「30～35万円未満」が12.9%となった。2013年から支出は全般的に増えている回答とはなっていない。
- 前年にローン返済があった世帯(624人)におけるひと月あたりのローン返済額は、「10万円未満」が62.8%で最も多く、「10～15万円未満」が25.8%、「15～20万円未満」は5.9%となっている。これらを合わせた『20万円未満』で95%を占める。

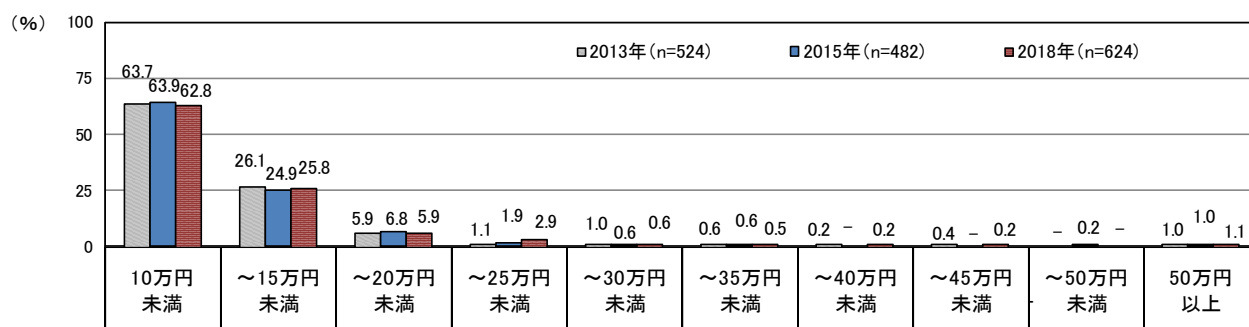
(図表5-13) 一か月あたりの世帯支出 (問25(1))



(図表5-14) 一か月あたりの住宅ローン返済額 (問25(2))



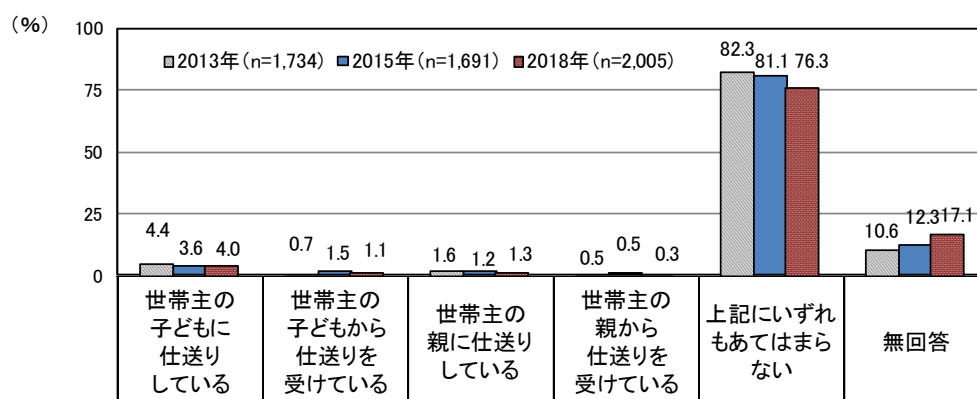
(図表5-15) 一か月あたりの住宅ローン返済額 (問25(2))



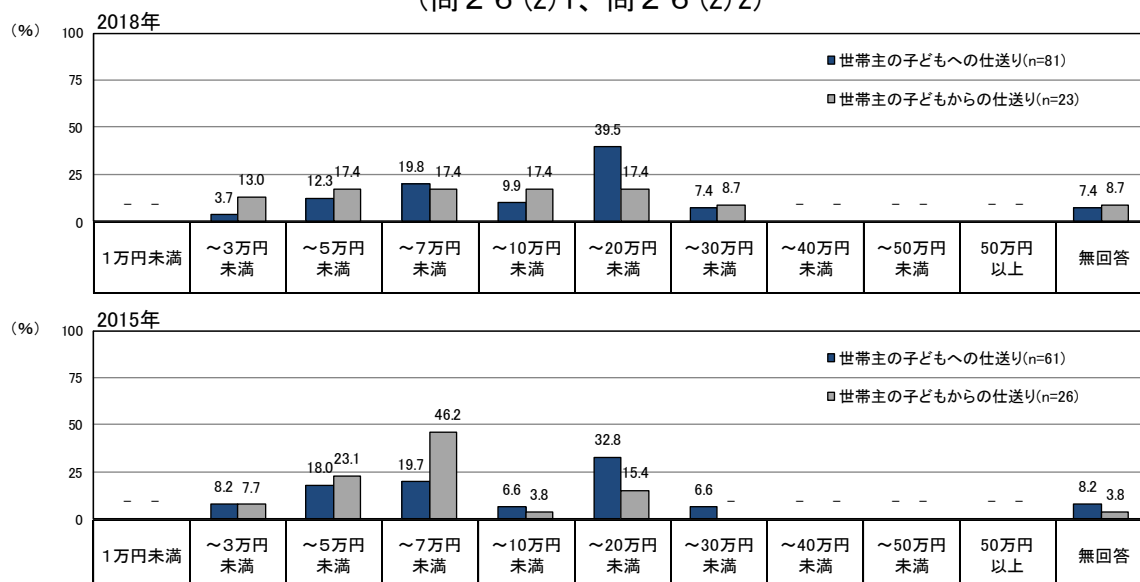
(7) 仕送り

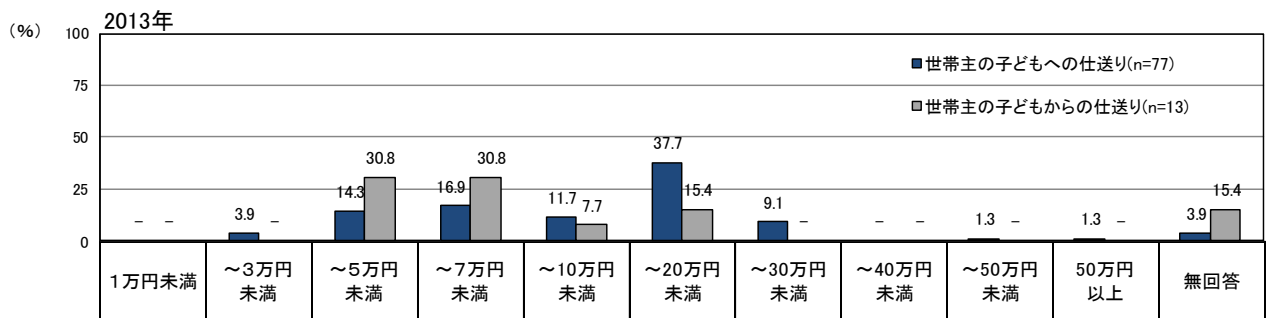
- 子どもや親との仕送りのやりとりがある世帯は6.6%。76.3%は「上記にいずれもあてはまらない」と仕送りがない世帯。仕送りのやり取りの中では、「世帯主の子どもに仕送りをしている」が4.0%で最も多い。
- 世帯主の子どもへの仕送りをしている世帯（81人）の月々の仕送り金額は、「10～20万円未満」が最多で39.5%、続いて「5～7万円未満」が19.8%、「3～5万円未満」が12.3%となる。
- 世帯主の親への仕送り、世帯主の親からの仕送りは回答数が少ないのでグラフの表示のみでコメントは割愛している。

(図表5-16) 仕送り授受の有無（問26(1)、複数回答）



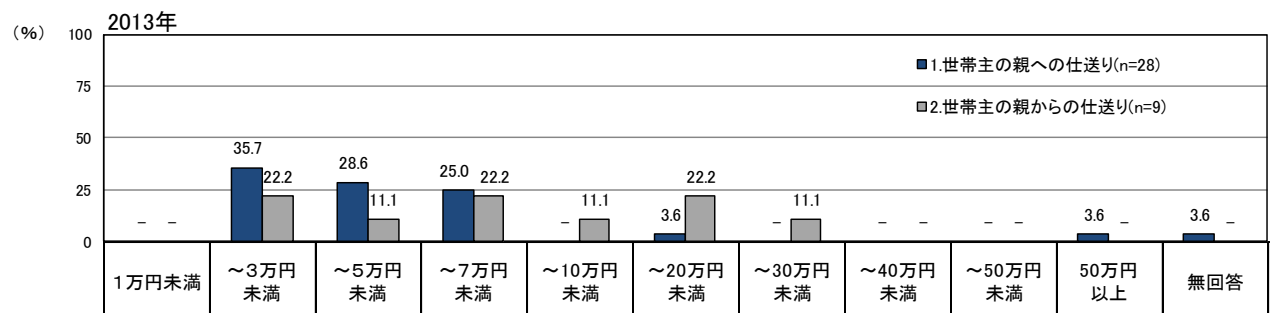
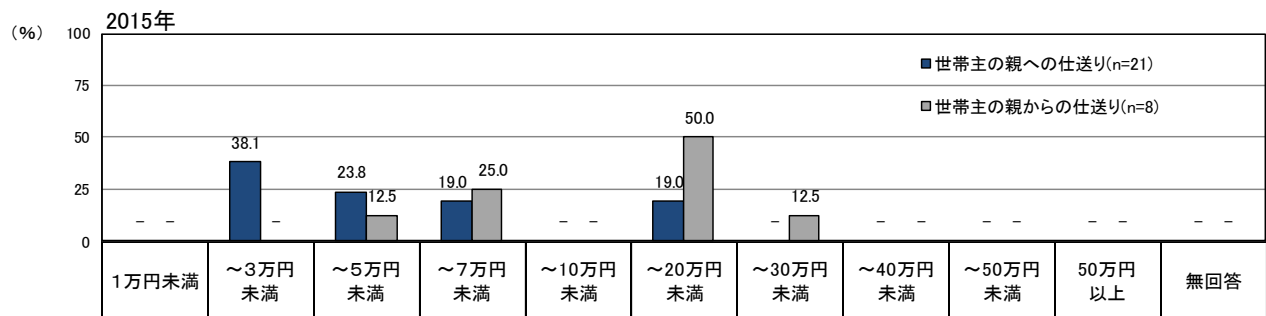
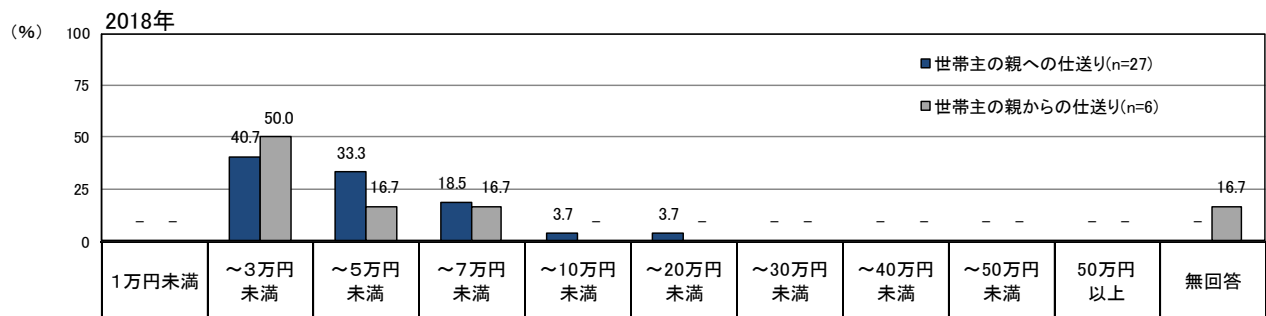
(図表5-17) 月々の仕送り金額（子どもへの仕送り・子どもからの仕送り）
(問26(2)1、問26(2)2)





(図表5－18) 月々の仕送り金額（親への仕送り・親からの仕送り）

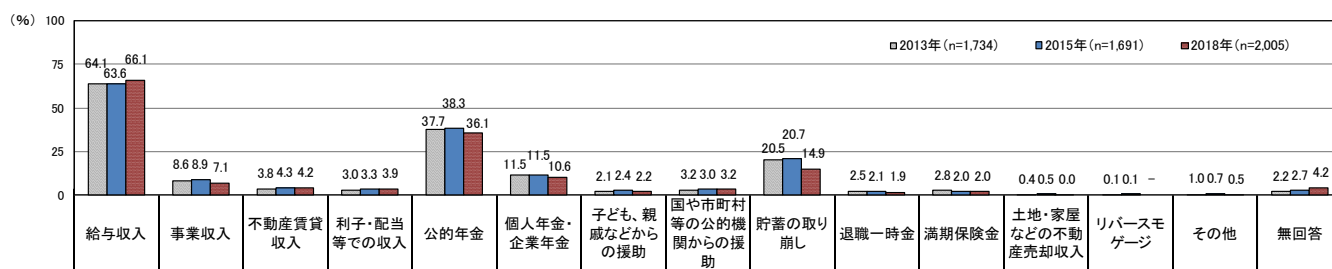
(問26(2)3、問26(2)4)



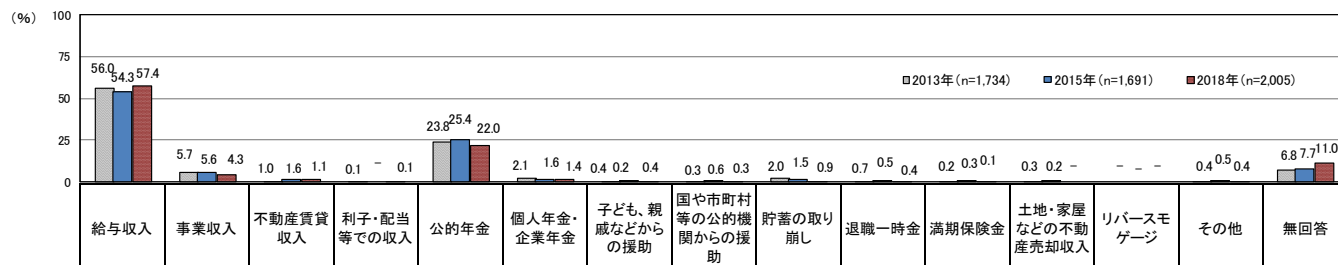
(8) 世帯の家計をまかなう収入源

- 家計支出をまかなっている世帯の収入源(複数回答)の種類としては、回答の順位では「給与収入」が66.1%で最も多く、次いで「公的年金」(36.1%)、「貯蓄の取り崩し」(14.9%)の順となっている。
- 家計の支出をまかなっている世帯の収入源のうち最も金額が大きい収入は、「給与収入」が57.4%と最も多く、次いで「公的年金」(22.0%)、「事業収入」(4.3%)となっている。

(図表5-19) 家計を賄う収入源 (問27(1)、複数回答)



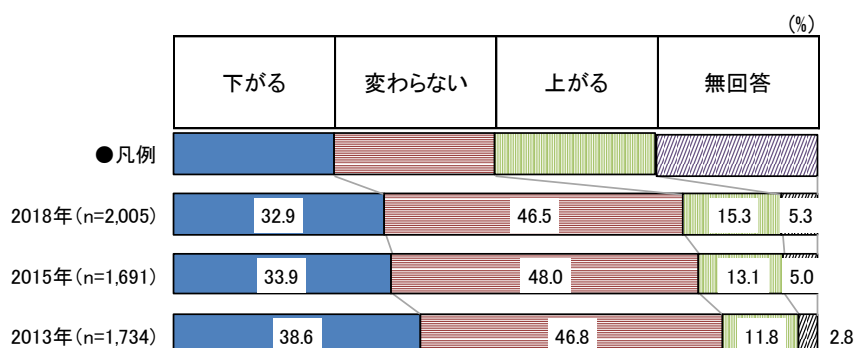
(図表5-20) 最大の収入源 (問27(2))



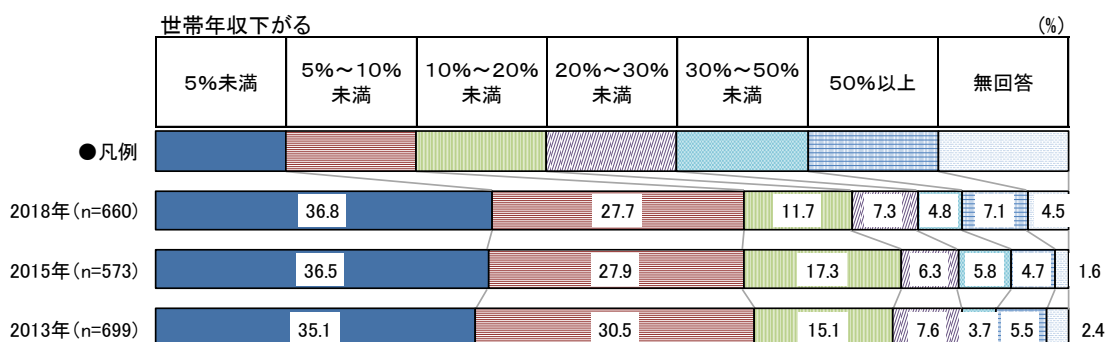
(9) 1年後の年間収入

- 1年後の年間収入が現在の世帯年収に比べてどうなると思うかを尋ねたところ、「下がる」が32.9%、「変わらない」が46.5%、「上がる」が15.3%となった。
- 1年後の世帯年収が現在に比べて「下がる」と回答した人(660人)に下がると思う幅を尋ねたところ、「5%未満」(36.8%)、「5%～10%未満」(27.7%)、「10%～20%未満」(11.7%)、「20%～30%未満」(7.3%)、「30%～50%未満」(4.8%)、「50%以上」(7.1%)となった。
- 1年後の世帯年収が現在に比べて「上がる」と回答した人(307人)に上がると思う幅を尋ねたところ、「5%未満」(66.4%)、「5%～10%未満」(19.5%)、「10%～20%未満」(5.9%)、「20%～30%未満」(3.9%)となった。

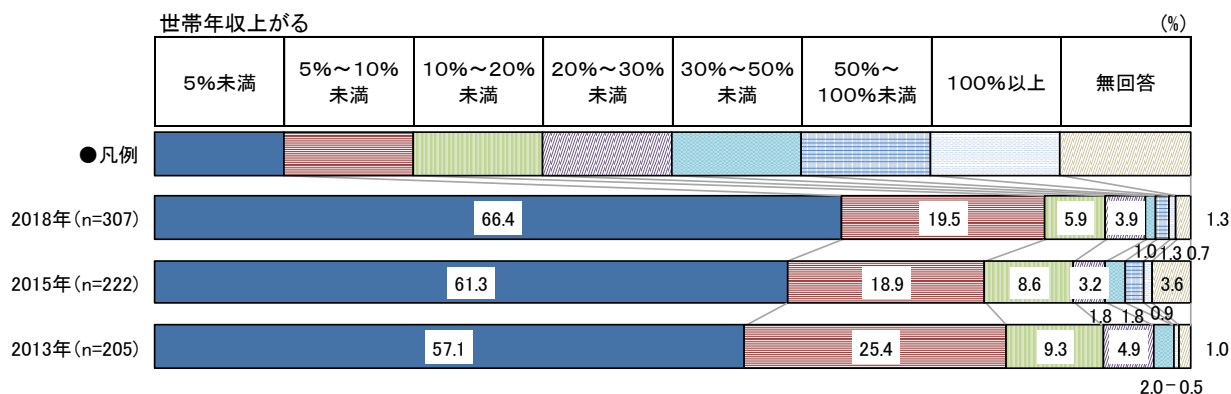
(図表5-21) 1年後の年間収入見込 (問28)



(図表5-22) 1年後の年間収入下落幅 (問28-1)



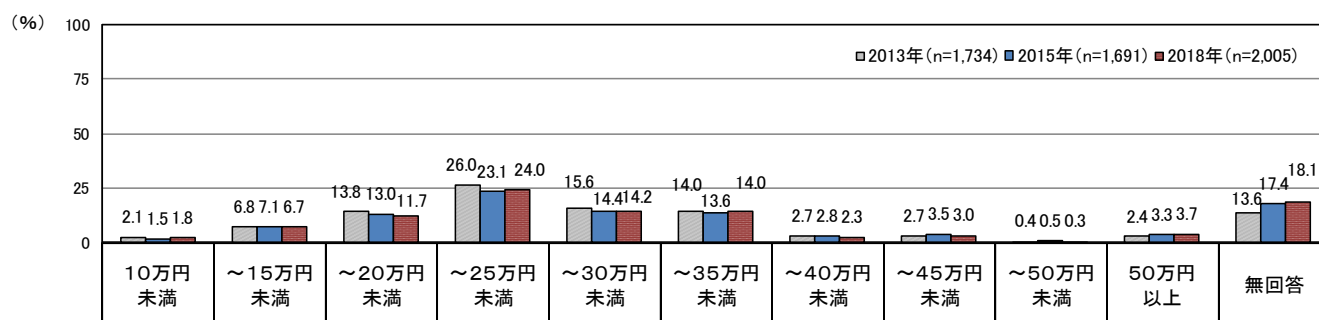
(図表5-23) 1年後の年間収入増加幅 (問28-2)



(1 0) 高齢期（ 6 5 歳以上）における一か月の世帯支出額見込み

- 6 5 歳以上の高齢期を迎えたとき、世帯の 1 か月の支出額（消費税含む）がどのくらいになると考えるかを尋ねたところ、「 2 0 ～ 2 5 万円未満」が最も多く 24.0%、続いて「 2 5 ～ 3 0 万円未満」が 14.2%、「 3 0 ～ 3 5 万円未満」が 14.0%となった。

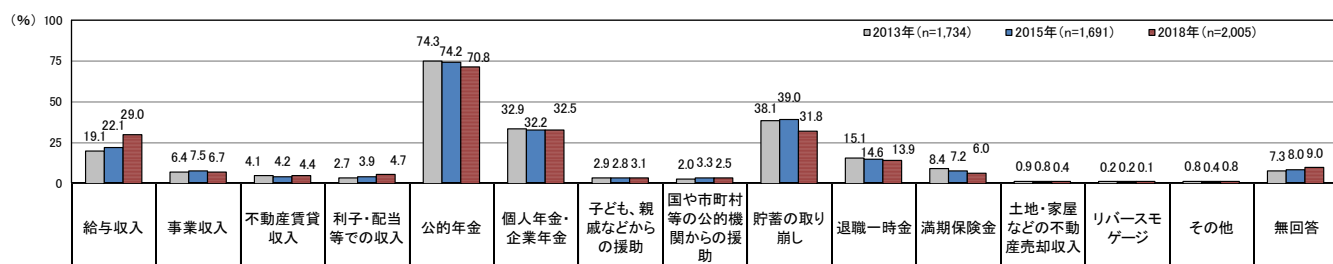
(図表 5 - 2 4) 高齢期（ 6 5 歳以上）の一か月あたりの世帯支出額見込み（問 2 9）



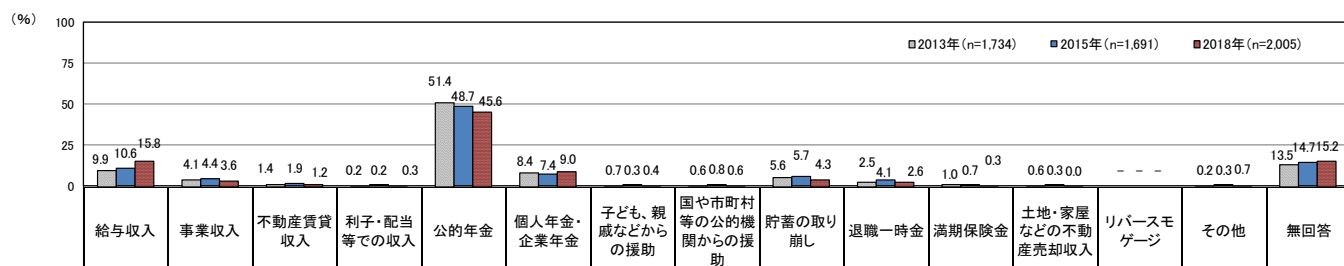
(1 1) 高齢期（ 6 5 歳以上）を迎えたときの家計支出の収入源

- 6 5 歳以上の高齢期を迎えたときの世帯の家計をまかなう収入源（複数回答）として考えているものについて尋ねたところ、「公的年金」が 70.8%で最も多く、次いで「個人年金・企業年金」(32.5%)、「貯蓄の取り崩し」(31.8%)、「給与収入」(29.0%) の順となっている。
- 6 5 歳以上世帯の家計をまかなう収入源のうち最も金額が大きくなると考えているものは、「公的年金」が 45.6%で最も多く、次いで「給与収入」(15.8%)、「個人年金・企業年金」(9.0%) の順となっている。

(図表 5 - 2 5) 高齢期（ 6 5 歳以上）の収入源（問 3 0 (1)、複数回答）



(図表 5 - 2 6) 高齢期（ 6 5 歳以上）の最も大きな収入源（問 3 0 (2)）

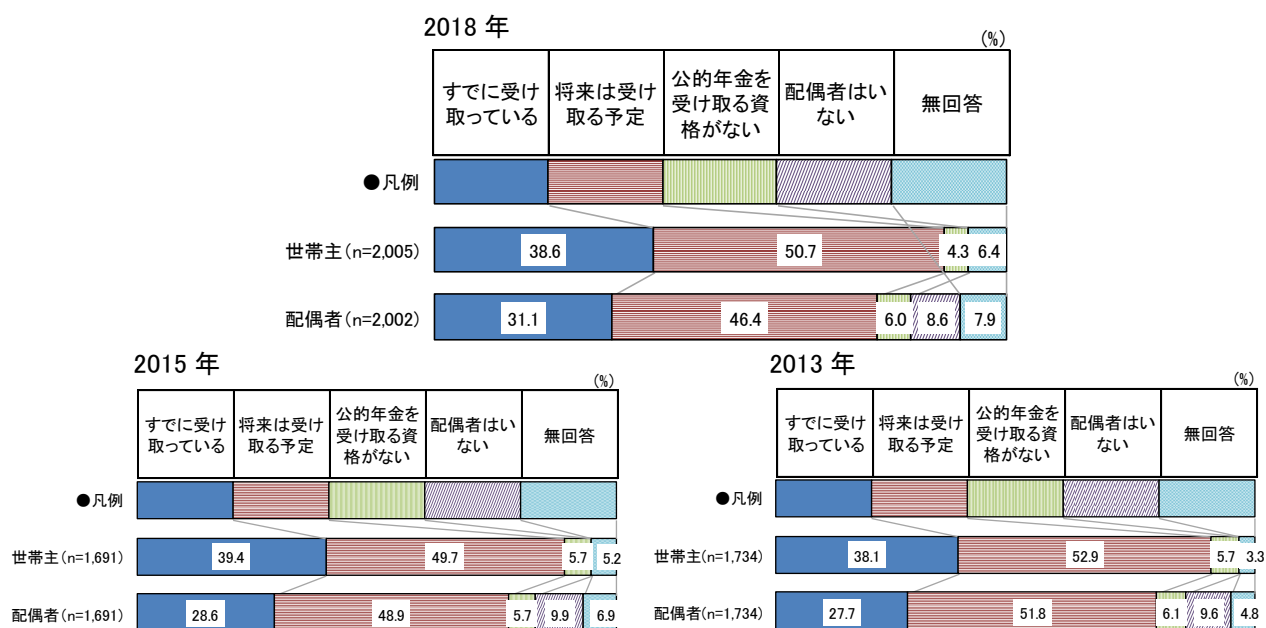


6. 年金について

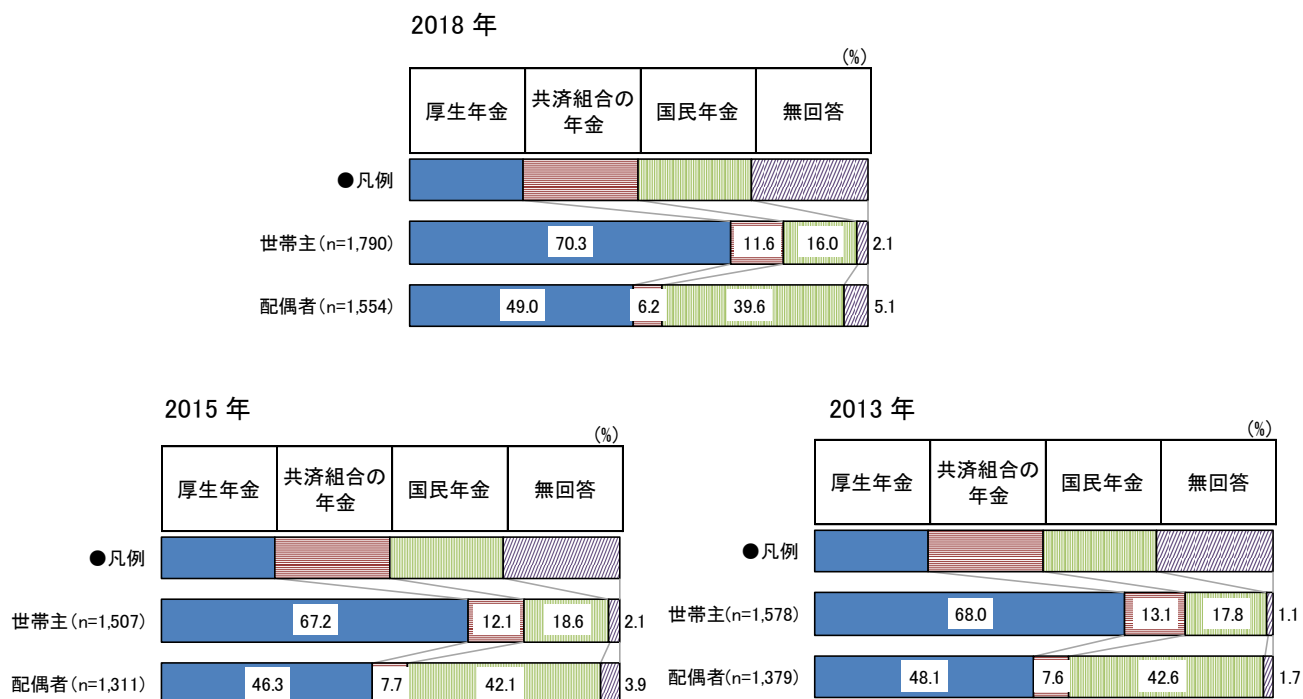
(1) 世帯主・配偶者の公的年金

- 現在公的年金の給付があるかどうかを尋ねたところ、世帯主については「すでに受け取っている」が38.6%、「将来は受け取る予定」が50.7%、「公的年金を受け取る資格がない」が4.3%となった。配偶者については、「将来は受け取る予定」が最も多く46.4%、続いて「すでに受け取っている」が31.1%となった。
- すでに受け取っているまたは将来受け取る予定の人の公的年金の種類は、世帯主（1,790人）については、「厚生年金」が70.3%、「共済組合の年金」が11.6%、「国民年金」が16.0%となった。配偶者（1,554人）については、「厚生年金」が49.0%、「共済組合の年金」が6.2%、「国民年金」が39.6%となった。
- すでに受け取っているまたは将来受け取る予定の公的年金の受給開始年齢は、世帯主は「65歳」（53.6%）、「60～65歳未満」（30.8%）、「66歳以上」（4.6%）となる。配偶者では「65歳」（54.4%）、「60～65歳未満」（26.8%）、「66歳以上」（4.1%）となる。2013年からの推移では、世帯主、配偶者ともに「60～65歳未満」の構成比が減り、「65歳」や「66歳以上」の比率が増えている。
- すでに受け取っている公的年金受取月額、世帯主では「15～20万円未満」が最も多く23.3%、続いて「20～25万円未満」が19.7%、「10～15万円未満」が14.1%となった。配偶者では「5～7万円未満」（23.1%）、「7～10万円未満」（22.0%）、「5万円未満」（15.6%）、「10～15万円未満」（10.0%）となり、世帯主よりかなり低い。
- 将来受け取る予定の公的年金受取月額の予想額について、世帯主では「10～15万円未満」（17.9%）、「15～20万円未満」（16.3%）、「20～25万円未満」（11.9%）、「7～10万円未満」（5.2%）となる。配偶者では「10～15万円未満」（18.8%）、「5～7万円未満」（17.0%）、「7～10万円未満」（12.2%）、「15～20万円未満」（4.8%）となる。

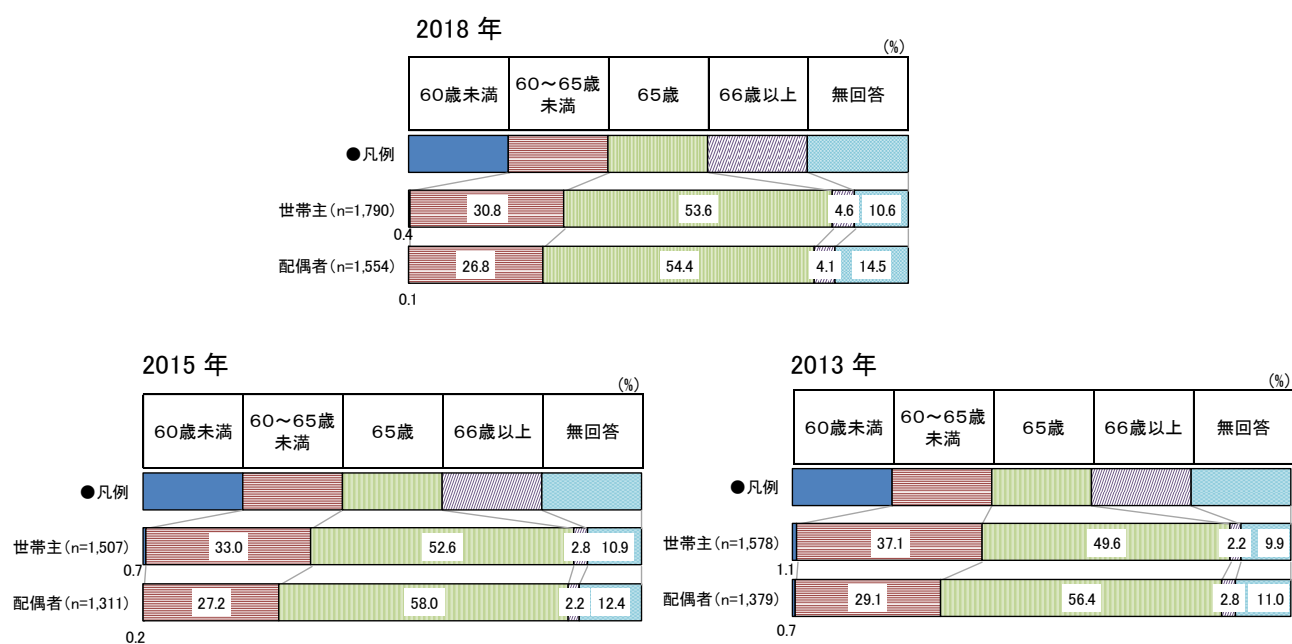
(図表 6－1) 世帯主・配偶者の公的年金給付の有無 (問 3 1、問 3 2)



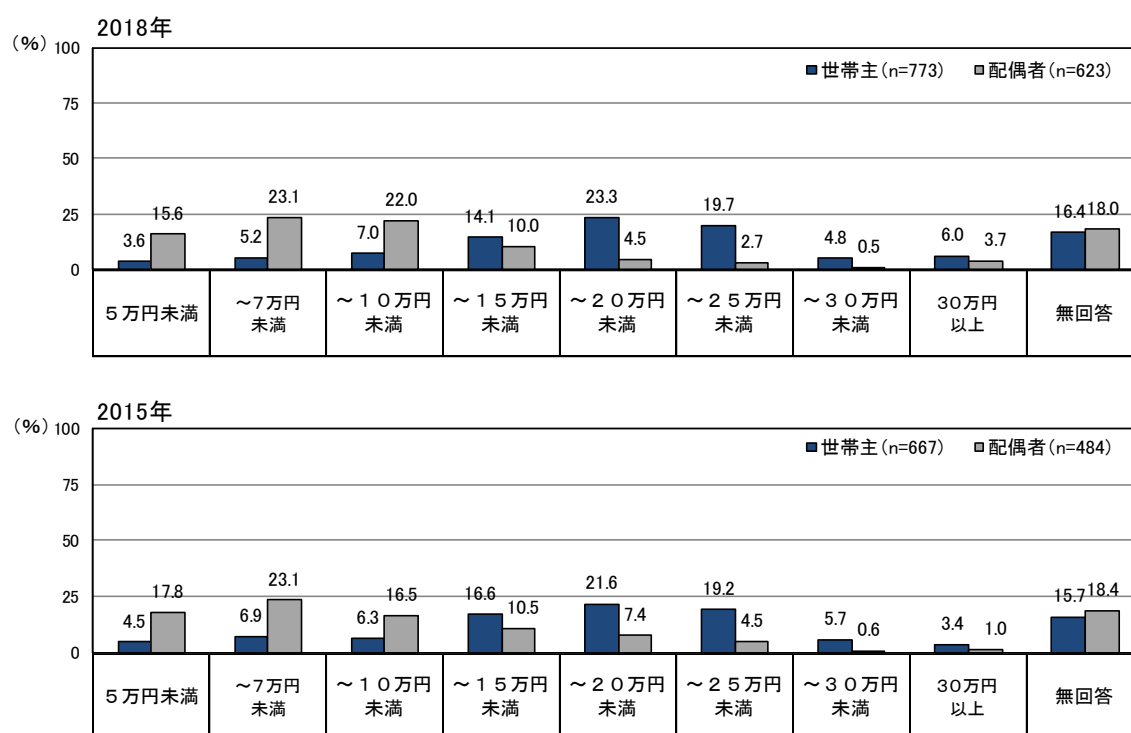
(図表 6－2) 世帯主・配偶者の公的年金の種類 (問 3 1－1、問 3 2－1)



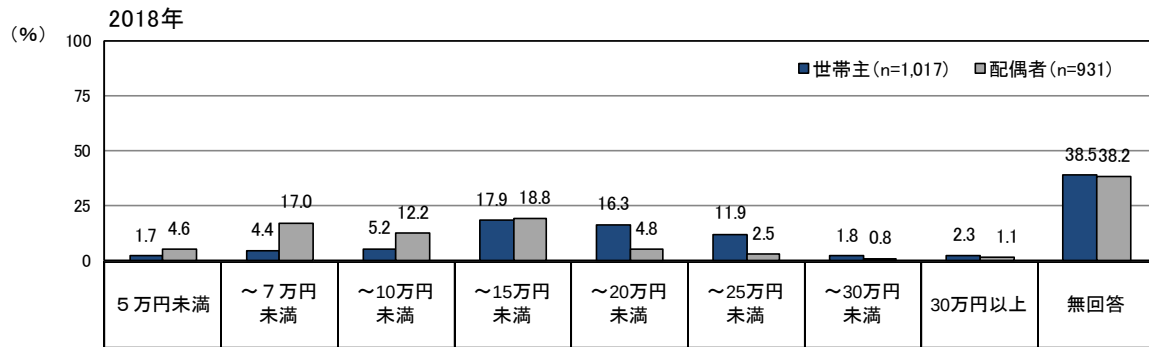
(図表 6-3) 世帯主・配偶者の公的年金受給開始年齢 (問 3 1-2、問 3 2-2)



(図表 6-4) 世帯主・配偶者の公的年金受取月額 (問 3 1-3、問 3 2-3)

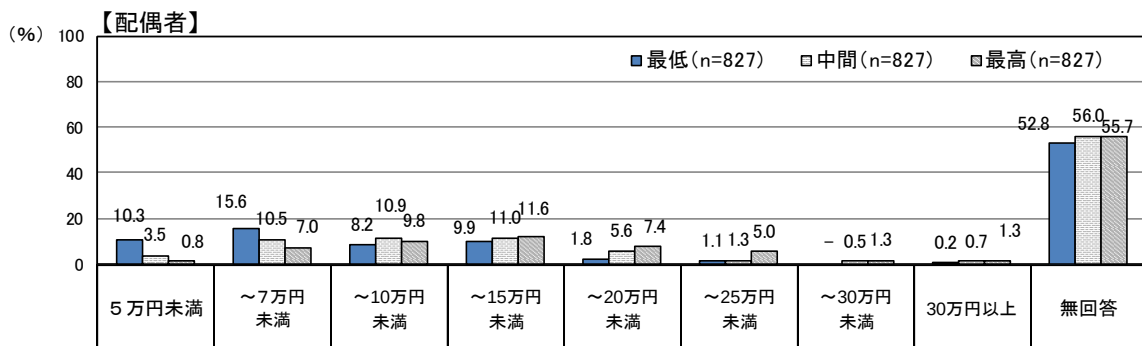
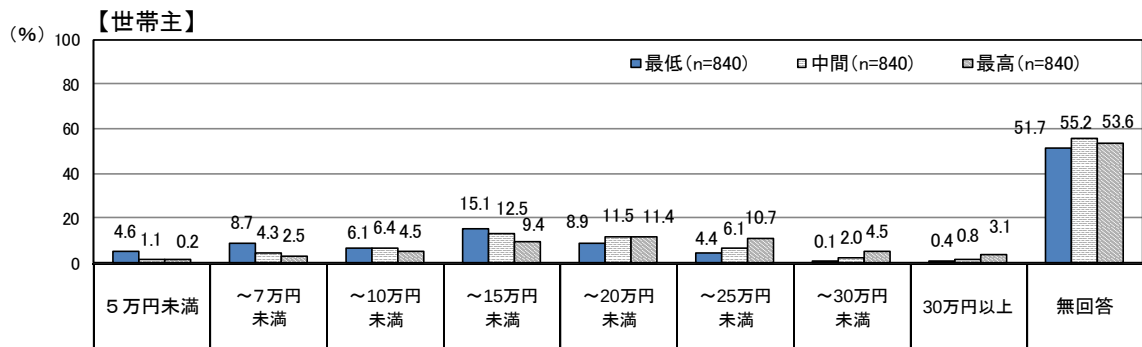


(図表 6-5) 公的年金受給予定者者の受取予想額 (問 3 1-3、問 3 2-3)

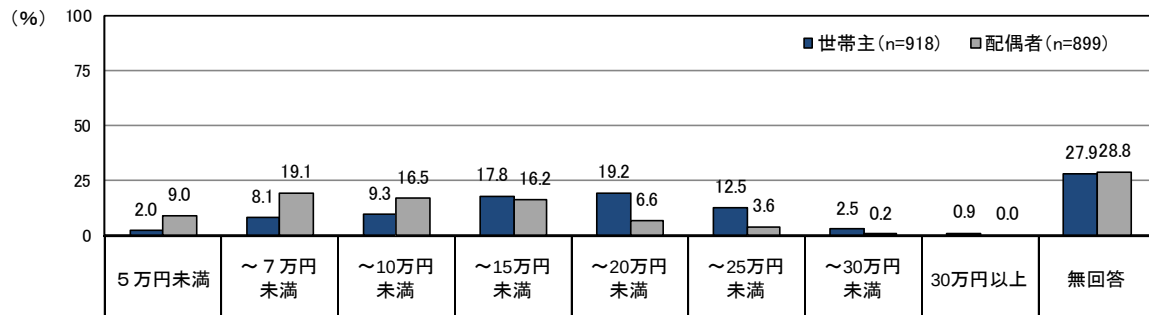


〔参考〕 2015 年公的年金受給予定者者の受取予想額

※2018 年、2013 年とは質問形式が異なり、受取予想額の「最低値」「中間値」「最高値」の3つを聞いた。



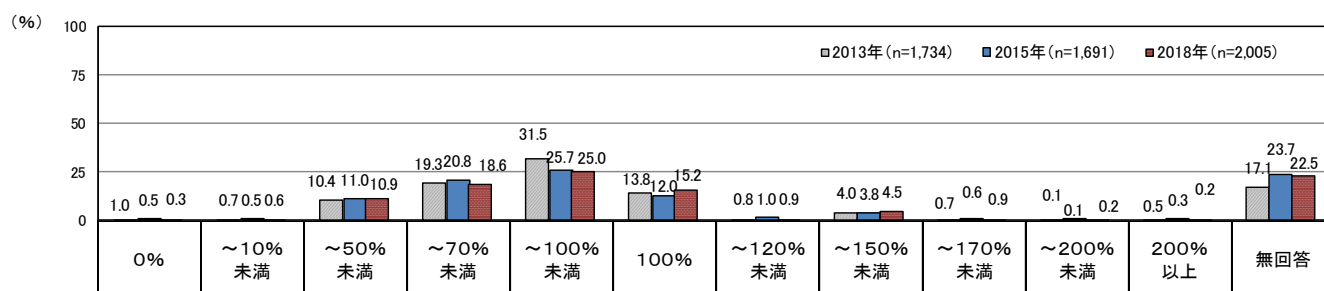
〔参考〕 2013 年公的年金受給予定者者の受取予想額



（２）公的年金でまかなえる高齢期（６５歳以上）の家計支出の割合

- ６５歳以上の高齢期となったときの世帯支出を公的年金でまかなえると考える程度を尋ねたところ、支出の「７０～１００％程度」が２５．０％で最も多く、続いて「５０～７０％未満」が１８．６％、「１００％」が１５．２％となった。１００％未満（世帯の支出を全額まかなえない）との回答合計は５５．４％と５割半を占め、１００％を超える（余剰が出る）との回答合計は６．８％だった。

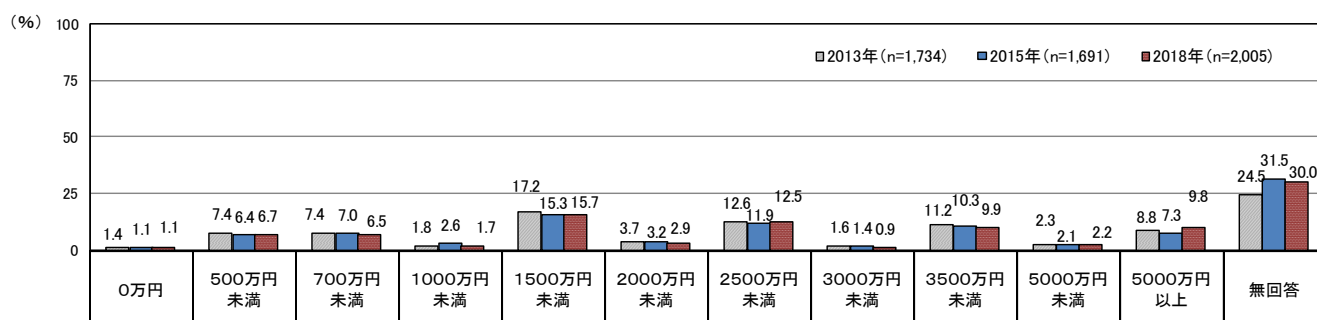
（図表６－６）公的年金でまかなえる高齢期（６５歳以上）の家計支出の割合（問３３）



（３）公的年金受給前に必要な貯蓄額

- 公的年金受給前に必要だと思う貯蓄額は、『３０００万円以上』が２１．９％、『１０００～２０００万円未満』１８．６％、『１０００万円未満』が１６．１％、『２０００～３０００万円未満』が１３．４％だった。

（図表６－７）公的年金受給前に必要な貯蓄額（問３４）

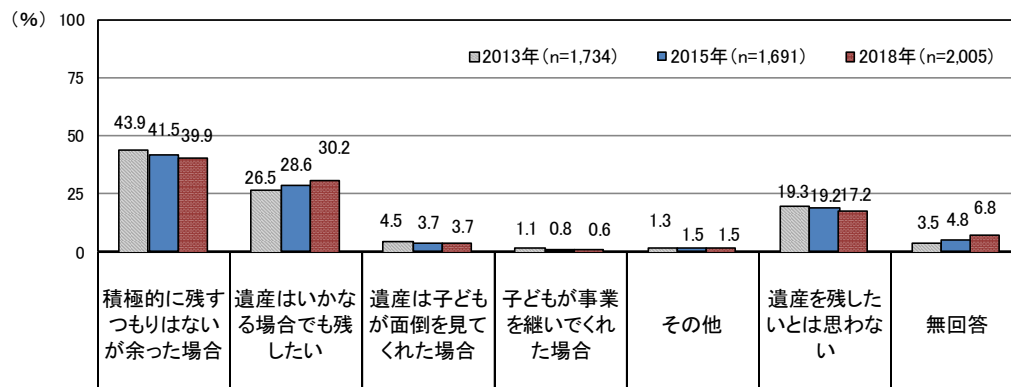


7. 遺産について

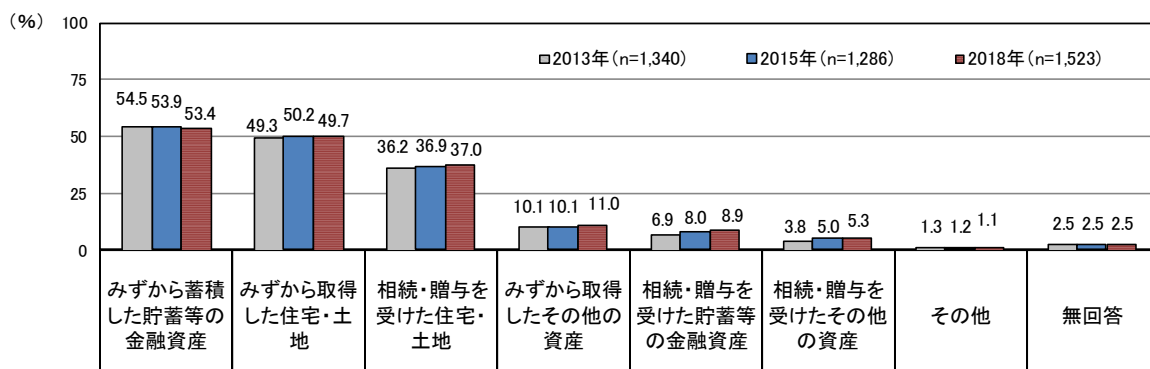
(1) 子どもに残す遺産についての考え方

- 子どもに残す遺産（生前贈与を含む）に関する考え方について、「積極的に残すつもりはないが余った場合」が39.9%で最も多く、続いて「遺産はいかなる場合でも残したい」が30.2%、「遺産を残したいとは思わない」が17.2%となった。（注）この質問は子どもがいない方もいると仮定して回答してもらっている。
- 子どもに遺産を残したいと考えている人（1,523人）が残したい遺産（複数回答）としては、「みずから蓄積した貯蓄等の金融資産」が53.4%で最も多く、次いで「みずから取得した住宅・土地」（49.7%）、「相続・贈与を受けた住宅・土地」（37.0%）となっている。
- 子どもに遺産を残したいと考えている人に、金融資産・住宅・土地その他の資産を含めた資産金額の見当について尋ねたところ、「見当がついていない」が76.0%を占め、「ある程度見当がついている」が15.0%だった。見当がついている人（228人）の見当金額は「1000～1500万円未満」が21.1%で最も多く、次いで「1000万円未満」が18.9%、「3000～5000万円未満」が16.7%となった。
- 子どもに遺産を残したいと考えている人の遺産分与の考え方は、「子どもの人数に応じて均等に分ける」が53.8%で5割強を占めた。続いて「子どもが1人なのでその子に全部残す」が16.3%で、「親の面倒を見た子どもに多く分ける」が12.9%だった。

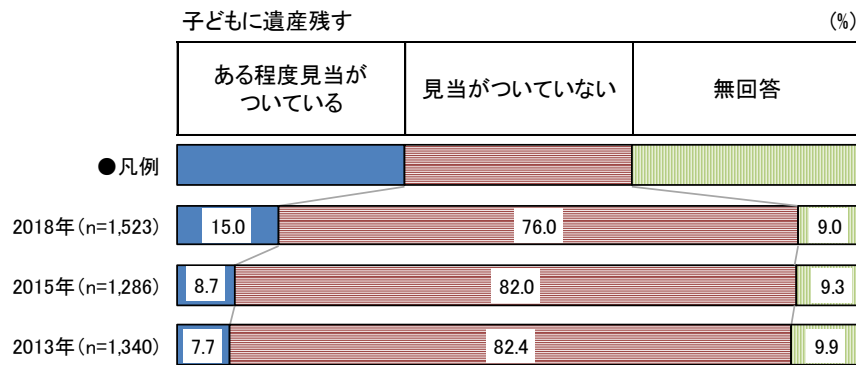
(図表7-1) 子どもに残す遺産についての考え方（問35）



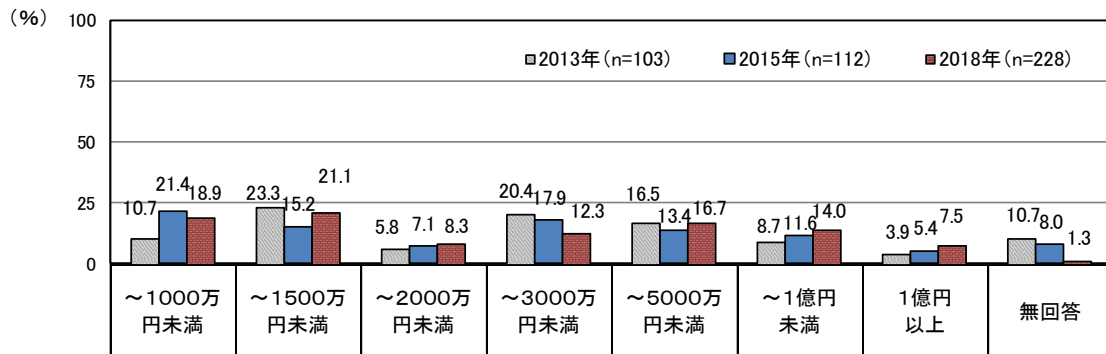
(図表7-2) 子どもに残す遺産の内容（問35-1、複数回答）



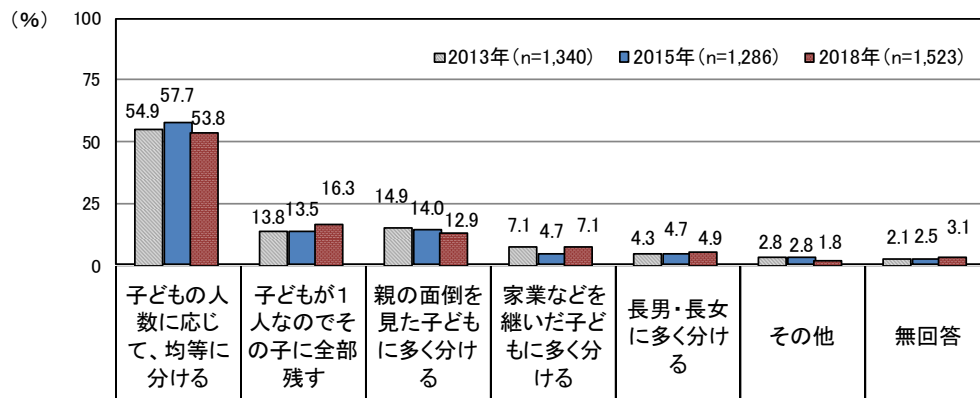
(図表 7-3) 子どもに残す遺産額 (問 3 5-2)



(図表 7-4) 子どもに残す遺産額 (問 3 5-2)



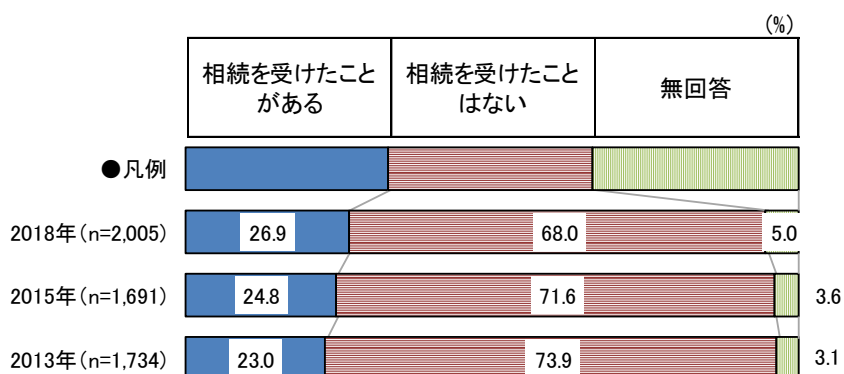
(図表 7-5) 遺産分与についての考え方 (問 3 5-3)



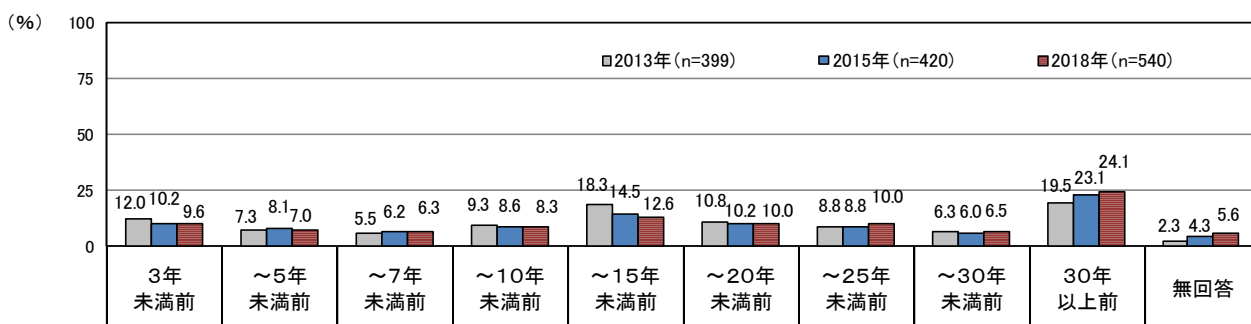
(2) 親からの遺産相続

- 世帯主の親からの遺産相続の有無については、「相続を受けたことはない」が68.0%、「相続を受けたことがある」が26.9%だった。
- 世帯主の親から遺産の相続を受けたことがある世帯(540人)が相続を受けた時期では、多い順で「30年以上前」(24.1%)、「10～15年未満前」(12.6%)、「20～25年未満前」(10.0%)となる。親から相続した資産の内容を複数回答で尋ねたところ、「居住用の不動産(一戸建て)」が58.3%で最も多く、以下「その他の不動産」(35.6%)「金融資産」(31.9%)となっている。

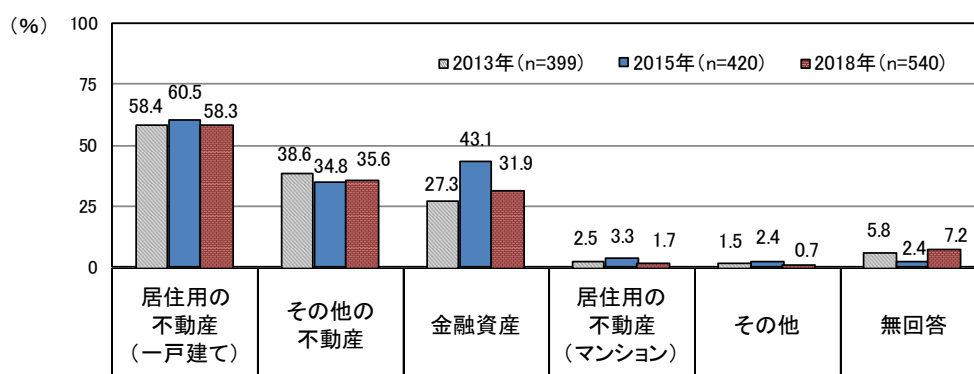
(図表7-6) 親からの遺産相続経験の有無(問36)



(図表7-7) 親からの遺産相続を受けた時期(問36-1)



(図表7-8) 親からの相続した資産の内容(問36-2(1)、複数回答)



- 世帯主の親から遺産の相続を受けたことがある世帯について、最も多い相続時の評価額を見ていくと、居住用の一戸建て（315人）は居住用の一戸建ては、「1000～1500万円未満」（8.3%）が最も多く、その他の不動産（192人）は「1000～1500万円未満」（9.9%）が最も多く、金融資産（172人）は「1000～1500万円未満」（12.8%）が最も多かった。また、相続時の評価の合計（509人）については「1000～1500万円未満」が10.4%で最も多い。

（図表7-9）親からの相続した資産の金額（問36-2(2)）

2018年

	(%)					
	居住用の 不動産 (一戸建て)	居住用の 不動産 (マンション)	その他の不 動産	金融資産	その他	合計
	(n=315)	(n=9)	(n=192)	(n=172)	(n=4)	(n=509)
～100万円未満	3.2	—	4.2	3.5	25.0	2.6
～200万円未満	5.7	—	5.2	11.0	—	5.5
～300万円未満	4.1	—	8.9	7.0	—	6.1
～400万円未満	3.8	—	3.1	9.9	25.0	5.3
～500万円未満	1.0	—	0.5	5.2	—	2.9
～700万円未満	7.6	11.1	7.8	8.1	—	7.1
～1000万円未満	4.8	—	5.2	7.0	—	4.5
～1500万円未満	8.3	11.1	9.9	12.8	25.0	10.4
～2000万円未満	3.8	—	3.1	4.7	—	4.1
～3000万円未満	5.7	11.1	6.3	8.1	25.0	7.1
～5000万円未満	5.4	11.1	3.6	4.7	—	7.3
5000万円以上	5.7	—	6.3	2.9	—	7.5
無回答	41.0	55.6	35.9	15.1	—	29.7

2015年

(%)

	居住用の 不動産 (一戸建て)	居住用の 不動産 (マンション)	その他の不 動産	金融資産	その他	合計
	(n=254)	(n=14)	(n=146)	(n=181)	(n=10)	(n=410)
～100万円未満	2.8	－	1.4	3.3	10.0	2.2
～200万円未満	5.1	－	4.8	7.7	10.0	4.9
～300万円未満	2.8	7.1	2.7	7.2	10.0	3.4
～400万円未満	2.8	－	3.4	9.4	20.0	4.9
～500万円未満	0.8	－	2.7	1.1	－	0.5
～700万円未満	9.8	14.3	5.5	12.7	－	7.3
～1000万円未満	4.3	－	4.8	8.3	20.0	7.3
～1500万円未満	11.0	14.3	8.9	13.8	10.0	12.0
～2000万円未満	4.3	7.1	4.8	3.3	10.0	6.6
～3000万円未満	5.9	－	5.5	4.4	－	5.9
～5000万円未満	7.1	21.4	3.4	3.9	－	7.8
5000万円以上	3.5	14.3	8.9	2.2	－	7.1
無回答	39.8	21.4	43.2	22.7	10.0	30.2

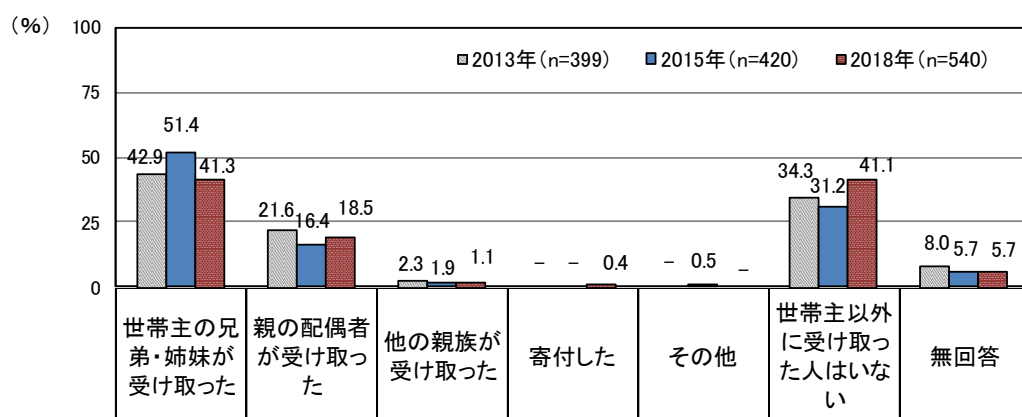
2013年

(%)

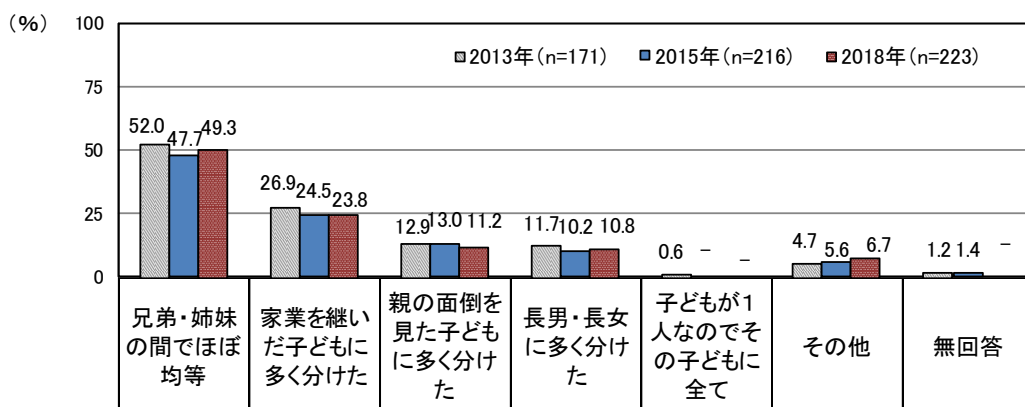
	居住用の 不動産 (一戸建て)	居住用の 不動産 (マンション)	その他の不 動産	金融資産	その他	合計
	(n=233)	(n=10)	(n=154)	(n=109)	(n=6)	(n=376)
～100万円未満	1.7	－	3.9	2.8	－	1.6
～200万円未満	4.3	－	5.2	9.2	－	3.7
～300万円未満	4.3	10.0	3.2	9.2	－	4.0
～400万円未満	3.9	20.0	4.5	13.8	33.3	7.2
～500万円未満	2.6	－	1.9	3.7	－	1.3
～700万円未満	12.9	30.0	9.1	13.8	－	9.6
～1000万円未満	3.9	10.0	3.2	8.3	－	2.9
～1500万円未満	11.6	－	12.3	11.9	16.7	11.4
～2000万円未満	8.2	－	3.2	4.6	－	8.5
～3000万円未満	7.3	10.0	2.6	3.7	16.7	7.4
～5000万円未満	6.4	－	9.1	3.7	－	8.0
5000万円以上	1.7	10.0	11.7	1.8	－	7.4
無回答	31.3	10.0	29.9	13.8	33.3	26.9

- 世帯主の親からの相続を受けたことがある世帯において、世帯主以外で親から遺産を相続した人は、「世帯主の兄弟・姉妹が受け取った」が41.3%で最も多く、次いで「世帯主以外に受け取った人はいない」が41.1%、「親の配偶者が受け取った」が18.5%となった。
- 世帯主のほかに世帯主の兄弟・姉妹が受け取った人（223人）に、親から相続した遺産の分配方法（兄弟姉妹の間）を尋ねたところ、遺産の分配方法（兄弟姉妹の間）は、「兄弟・姉妹の間でほぼ均等」が49.3%で最も多く、次いで「家業を継いだ子どもに多く分けた」が23.8%、「親の面倒を見た子どもに多く分けた」が11.2%となった。

（図表 7－10）世帯主以外の相続者（問 3 6－3、複数回答）



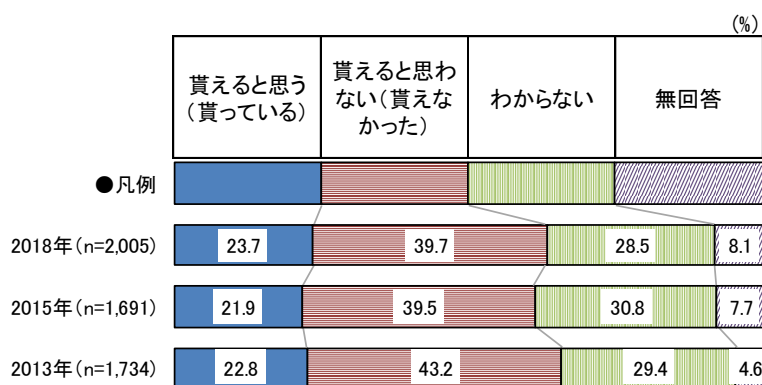
（図表 7－11）親からの相続遺産分与（問 3 6－4、複数回答）



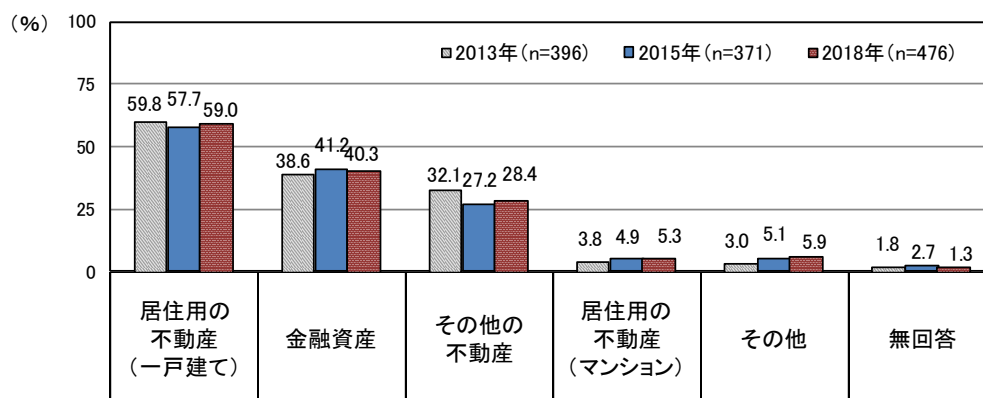
(3) 配偶者の親からの遺産相続の見込み有無

- 将来、世帯主または配偶者の親からの遺産（不動産や金融資産等）をもらえると思うかどうかについては、「貰えると思わない（貰えなかった）」が 39.7%で最も多く、「わからない」が 28.5%、「貰えると思う（貰っている）」が 23.7%となった。
- 将来遺産をもらえると思っている（またはすでにもらっている）世帯（476 人）に遺産の種類を尋ねたところ、回答の順位では「居住用の不動産（一戸建て）」（59.0%）、「金融資産」（40.3%）、「その他の不動産」（28.4%）となった。また、将来遺産相続できる資産の時価総額は、「1 0 0 0 ～ 1 5 0 0 万円未満」が 14.1%で最も多く、次いで「2 0 0 0 ～ 3 0 0 0 万円未満」（9.7%）、「5 0 0 ～ 7 0 0 万円未満」（9.0%）と続いた。

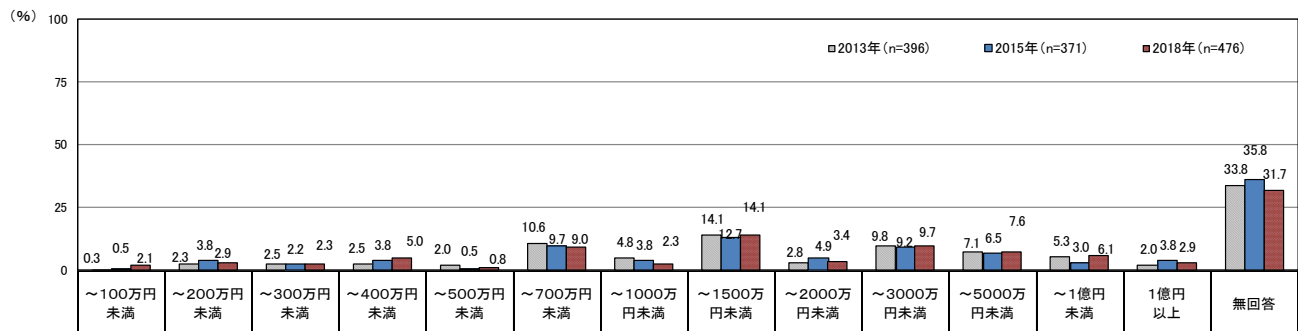
(図表 7-12) 世帯主の親または配偶者の親からの遺産相続の見込み有無（問 37）



(図表 7-13) 世帯主の親または配偶者の親からの相続遺産の内容（問 37-1、複数回答）



(図表 7－1 4) 世帯主の親または配偶者の親からの相続遺産の時価総額 (問 3 7－2)



Ⅲ 調査票（付：単純集計結果）

--	--	--	--	--	--

「第3回(2018年)家計と貯蓄に関する調査」 調査票

この調査は家計や貯蓄について、日ごろお考えになられていることなどをおうかがいするものです。

- ・お答えいただいた結果は、「〇〇という回答が△△%」というように統計的に集計処理し、家計の金融行動に関する今後の学術研究に役立てます。個人情報が出ることは一切ございませんので、ご安心ください。
- ・お答えは、あてはまる選択肢の番号を○で囲んでいただく場合と、マスの中に数字を記入していただく場合があります。「その他」にあてはまるときは選択肢の番号を○で囲み、()内に具体的な内容を記入してください。
- ・金額など数値をお尋ねしている設問では、それぞれの単位に合わせて、その1つ下の位を四捨五入してご回答ください。
例) 金額を「万円」の単位でおうかがいしている場合：
64,000 円であれば、千の位「4」を四捨五入して、「6万円」と回答してください。
- ・質問番号順にお答えください。質問の中には、一部の方にだけお尋ねする部分もありますが、その場合は指定された方法に従ってお答えください。

●次の方にご回答をお願いいたします。

世帯主の方、もしくはお宅様で家計や貯蓄を管理・掌握していらっしゃる方

※この調査において「世帯」とは、同別居にかかわらず家計を同一にしている方すべてを含めてお考えください。

- ・ご回答頂いた調査票は、1月13日(土)から1月28日(日)の期間に、調査員が受け取りにおうかがいいたしますので、同封の封筒に入れて調査員にお渡しください。
- 郵送でお送り頂く場合は、お渡しする郵送返送用封筒で、1月31日(水)までにご投函ください。
- ・ご協力いただいた方には、謝礼として1,000円分のQUOカードを贈呈いたします。調査員がお受け取りの場合は記入済調査票と引き換えにお渡しします。郵送でお送り頂く場合は、平成30年3月中にお送りさせていただきます。

【調査の企画】 一般財団法人ゆうちょ財団 金融行動調査ワーキングチーム

〒101-0061

東京都千代田区三崎町3-7-4

ホームページ <http://www.yu-cho-f.jp/>

慶應義塾大学 商学部客員教授 渡部 和孝

文京学院大学 人間学部准教授 寺島 拓幸

(独)労働政策研究・研修機構 主任研究員 周 燕飛

【調査の実施】 株式会社日本リサーチセンター



〒103-0023

東京都中央区日本橋本町2-7-1

ホームページ <http://www.nrc.co.jp/>

担当: 高田、縄田



お問い合わせ:フリーダイヤル 0120-925-225

(平日 10:00~12:00、13:00~17:00)

--	--	--	--	--	--	--	--

生活全般についておうかがいします。

問1 あなたは、全体として、現在の生活にどの程度満足していますか。(〇は1つ) (n=2, 005)

(10.0)	1	満足している	(30.1)	3	やや不満だ
(47.7)	2	まあ満足している	(8.8)	4	不満だ
(3.3)無回答					

問2 あなたは、次の「ア」～「キ」の生活のそれぞれの面では、どの程度満足していますか。(〇はそれぞれ1つずつ) (n=2, 005)

	満足 している	まあ満足 している	やや 不満だ	不満だ	無回答
ア 所得・収入	(5.1)	(36.1)	(38.3)	(19.5)	(1.1)
イ 資産・貯蓄	(3.3)	(26.7)	(40.3)	(27.7)	(1.9)
ウ 自動車、電気製品、家具などの耐久消費財	(9.1)	(54.0)	(28.0)	(6.8)	(2.0)
エ 食生活	(15.5)	(63.3)	(17.1)	(3.0)	(1.2)
オ 住生活	(16.1)	(53.7)	(23.0)	(6.0)	(1.2)
カ 自己啓発・能力向上	(4.8)	(46.8)	(38.4)	(6.8)	(3.2)
キ レジャー・余暇生活	(6.5)	(43.1)	(36.4)	(12.5)	(1.5)

問3 あなたは、日頃の生活の中で、悩みや不安を感じていますか。(〇は1つ) (n=2, 005)

(73.6) 1	悩みや不安を感じている	(15.5)	2	悩みや不安を感じていない	}	→ 次ページの 問4へ			
							(6.9)	3	わからない
(4.0)無回答									

→ 【問3で、「1 悩みや不安を感じている」と回答した方に】

問3-1 悩みや不安を感じているのはどのようなことについてですか。(〇はいくつでも) (n=1, 475)

(60.6)	1	自分の健康	(66.8)	7	老後の生活設計
(61.1)	2	家族の健康	(16.1)	8	家族・親族間の人間関係
(6.8)	3	自分の生活上の問題(進学、就職、結婚など)	(7.9)	9	近隣・地域との関係
(33.9)	4	家族の生活上の問題(進学、就職、結婚など)	(13.8)	10	勤務先での仕事や人間関係
(41.2)	5	現在の収入や資産	(7.3)	11	事業や家業の経営上の問題
(60.9)	6	今後の収入や資産	(3.3)	12	その他
(具体的に)					

(0.1)無回答

【全員の方へ】

問4 今後の生活において、「物の豊かさ」と「心の豊かさ」に関して、あなたの考え方に近いのはどちらですか。
(○は1つ) (n=2, 005)

- | | | |
|--------|---|---|
| (36.1) | 1 | 物質的にある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活をすることに重きをおきたい |
| (27.0) | 2 | まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに、重きをおきたい |
| (35.7) | 3 | どちらともいえない |

(1.3)無回答

問5 あなたは、今後の生活において、貯蓄や投資など将来に備えることに力を入れたいと思いますか。それとも毎日の生活を充実させて楽しむことに力を入れたいと思いますか。(○は1つ) (n=2, 005)

- | | | | | | | | | |
|--------|---|---------------|--------|---|----------------|--------|---|-----------|
| (27.6) | 1 | 貯蓄や投資など将来に備える | (42.7) | 2 | 毎日の生活を充実させて楽しむ | (28.8) | 3 | どちらともいえない |
|--------|---|---------------|--------|---|----------------|--------|---|-----------|

(0.8)無回答

問6 あなたが普段お出かけになる時に、傘などの雨具を持って出かけるのは、降水確率が何%以上のときですか。
(実数記入) (n=2, 005)

※いつも雨具を持ち歩いている方は「0」、雨が実際に降っている時以外は雨具を持ち歩かない方は「100」とお書きください。

- | | | | |
|--------|----------|--------|-----------|
| (11.7) | 0% | (13.4) | 60～80%未満 |
| (0.9) | 1～20%未満 | (4.5) | 80～100%未満 |
| (10.1) | 20～40%未満 | (30.0) | 100% |
| (28.2) | 40～60%未満 | | |

無回答 (1.1)

問7 物価の動向に関するお考えをおうかがいします。

1年後の物価は、現在と比べるとどうなると思いますか。(○は1つ) (n=2, 005)

※消費税引き上げ分は含めずにお考えください。

- | | | | | | | | | |
|-------|---|-----|--------|---|-----------------|--------|---|-----|
| (2.3) | 1 | 下がる | (22.6) | 2 | 変わらない →次ページの間8へ | (65.7) | 3 | 上がる |
|-------|---|-----|--------|---|-----------------|--------|---|-----|

(9.3)無回答

問7-1 下がる幅は、おおよそどの程度とお考えですか。(○は1つ) (n=46)

- | | | |
|--------|---|----------|
| (52.2) | 1 | 2%未満 |
| (30.4) | 2 | 2%～5%未満 |
| (6.5) | 3 | 5%～10%未満 |
| (8.7) | 4 | 10%以上 |

(2.2)無回答

問7-2 上がる幅は、おおよそどの程度とお考えですか。(○は1つ) (n=1, 318)

- | | | |
|--------|---|----------|
| (27.5) | 1 | 2%未満 |
| (50.5) | 2 | 2%～5%未満 |
| (18.3) | 3 | 5%～10%未満 |
| (3.5) | 4 | 10%以上 |

(0.3)無回答

貯蓄についておうかがいします。

【全員の方に】

問 8 あなたの世帯では、現在、世帯の貯蓄をどうなさっていますか。(〇は1つ) (n=2, 005)

※「貯蓄」には、住宅・土地・貴金属等は含みません。

(16.1) 1 貯蓄を増やしている (46.5) 2 あまり貯蓄額は変わっていない (34.9) 3 貯蓄を取り崩している

(2.5) 無回答

問 9 あなたの世帯では、どのような種類の預貯金・金融商品(外貨建て金融商品を含む)によって貯蓄をおこなっていますか。

(1) 「1」から「1 2」の預貯金・金融商品について、持っているものをすべてお知らせください。(〇はいくつでも) (n=2, 005)

【(1)で「持っている」と回答した預貯金・金融商品それぞれについて】

(2) 回答可能な範囲でお答えいただければ結構ですので、そのおおよその現在高(保有額)をご記入ください。

※ゼロの場合は「0」と記入してください。

(実数記入)

	(1) 持っているもの (〇はいくつでも) (n=2,005)	(2) 現在高 (保有額) ＜平成 29 年 12 月末現在＞	記入上のご注意
ゆうちょ銀行の貯金 ＜通常貯金＞ (n=935)	(46.6)	(46.3) ～100 万円未満 (0.4) ～15 万円未満 (16.6) ～200 万円未満 (-) ～2000 万円未満 (8.0) ～300 万円未満 (0.3) ～3000 万円未満 (4.3) ～400 万円未満 (0.1) ～5000 万円未満 (2.0) ～500 万円未満 (0.1) ～1 億円未満 (4.3) ～700 万円未満 (-) 1 億円以上 (0.7) ～1000 万円未満 (16.8) 無回答	ゆうちょ銀行や郵便局への貯金の総額を「通常貯金」「定期貯金・定額貯金」に分けて、それぞれお答えください。
ゆうちょ銀行の貯金 ＜定期貯金・定額貯金＞ (n=499)	(24.9)	(14.4) ～100 万円未満 (8.4) ～1500 万円未満 (17.4) ～200 万円未満 (0.6) ～2000 万円未満 (12.2) ～300 万円未満 (0.8) ～3000 万円未満 (10.2) ～400 万円未満 (-) ～5000 万円未満 (2.8) ～500 万円未満 (0.6) ～1 億円未満 (11.2) ～700 万円未満 (-) 1 億円以上 (6.2) ～1000 万円未満 (15.0) 無回答	
預貯金 ＜普通預金＞ (n=1, 297)	(64.7)	(26.4) ～100 万円未満 (4.3) ～1500 万円未満 (19.3) ～200 万円未満 (0.9) ～2000 万円未満 (8.2) ～300 万円未満 (1.6) ～3000 万円未満 (8.9) ～400 万円未満 (0.8) ～5000 万円未満 (2.5) ～500 万円未満 (0.2) ～1 億円未満 (8.2) ～700 万円未満 (0.1) 1 億円以上 (3.2) ～1000 万円未満 (15.3) 無回答	銀行、信用金庫・信用組合、農協などへの預貯金の額を「普通預金」「定期性預金・定期積立」に分けて、それぞれお答えください。 *外貨預金は含みません。
預貯金 ＜定期性預金・定期積立＞ (n=729)	(36.4)	(13.7) ～100 万円未満 (9.7) ～1500 万円未満 (12.9) ～200 万円未満 (3.0) ～2000 万円未満 (9.5) ～300 万円未満 (4.9) ～3000 万円未満 (7.1) ～400 万円未満 (4.3) ～5000 万円未満 (4.7) ～500 万円未満 (1.0) ～1 億円未満 (10.4) ～700 万円未満 (0.3) 1 億円以上 (4.4) ～1000 万円未満 (14.1) 無回答	

外貨建て金融商品 (外貨預金、外国債券、外国投資信託、FX等) (n=134)	(6.7)	(23.9) ～100 万円未満 (19.4) ～200 万円未満 (9.7) ～300 万円未満 (7.5) ～400 万円未満 (3.0) ～500 万円未満 (6.7) ～700 万円未満 (3.0) ～1000 万円未満	(7.5) ～1500 万円未満 (0.7) ～2000 万円未満 (3.0) ～3000 万円未満 (1.5) ～5000 万円未満 (0.7) ～1 億円未満 (-) 1 億円以上 (13.4) 無回答	記入時の為替相場で円換算してお答えください。
生命保険 (定期保険・医療保険などの掛け捨て型の保険は含みません。) (n=765)	(38.2)	(10.5) ～100 万円未満 (10.5) ～200 万円未満 (11.2) ～300 万円未満 (7.8) ～400 万円未満 (4.1) ～500 万円未満 (11.4) ～700 万円未満 (6.5) ～1000 万円未満	(7.7) ～1500 万円未満 (2.1) ～2000 万円未満 (2.6) ～3000 万円未満 (1.8) ～5000 万円未満 (0.4) ～1 億円未満 (-) 1 億円以上 (23.4) 無回答	生命保険会社、郵便局、農協などの生命保険に今までに払い込んだ保険料の総額をお答えください。定期保険・医療保険などの掛け捨て型は除きます。
個人年金 (公的年金の保険料は含みません。) (n=383)	(19.1)	(13.3) ～100 万円未満 (17.0) ～200 万円未満 (11.2) ～300 万円未満 (11.7) ～400 万円未満 (6.8) ～500 万円未満 (9.9) ～700 万円未満 (2.6) ～1000 万円未満	(3.7) ～1500 万円未満 (0.5) ～2000 万円未満 (1.8) ～3000 万円未満 (0.5) ～5000 万円未満 (-) ～1 億円未満 (-) 1 億円以上 (20.9) 無回答	生命保険会社、郵便局、農協などの年金商品に今までに払い込んだ掛け金の総額をお答えください。公的年金の保険料は含みません。
債券 (国債、金融債(ワイドを含む)、社債等) (n=59)	(2.9)	(13.6) ～100 万円未満 (11.9) ～200 万円未満 (11.9) ～300 万円未満 (6.8) ～400 万円未満 (8.5) ～500 万円未満 (13.6) ～700 万円未満 (1.7) ～1000 万円未満	(5.1) ～1500 万円未満 (5.1) ～2000 万円未満 (6.8) ～3000 万円未満 (1.7) ～5000 万円未満 (3.4) ～1 億円未満 (-) 1 億円以上 (10.2) 無回答	時価(現在の市場価値)でお答えください。(不明の場合は取得時の価額で結構です。)
株式 (従業員持株制度による株式を含みます。) (n=323)	(16.1)	(18.0) ～100 万円未満 (13.9) ～200 万円未満 (8.4) ～300 万円未満 (9.3) ～400 万円未満 (3.1) ～500 万円未満 (9.3) ～700 万円未満 (3.7) ～1000 万円未満	(12.1) ～1500 万円未満 (2.8) ～2000 万円未満 (4.0) ～3000 万円未満 (3.7) ～5000 万円未満 (-) ～1 億円未満 (0.9) 1 億円以上 (10.8) 無回答	時価(現在の市場価値)でお答えください。(不明の場合は取得時の価額で結構です。)
投資信託 (公社債投信、株式投信、MMF、REIT等) (n=203)	(10.1)	(19.7) ～100 万円未満 (18.7) ～200 万円未満 (11.8) ～300 万円未満 (5.9) ～400 万円未満 (1.5) ～500 万円未満 (10.3) ～700 万円未満 (2.0) ～1000 万円未満	(7.9) ～1500 万円未満 (3.0) ～2000 万円未満 (2.5) ～3000 万円未満 (2.5) ～5000 万円未満 (0.5) ～1 億円未満 (1.0) 1 億円以上 (12.8) 無回答	時価(現在の市場価値)でお答えください。(不明の場合は取得時の価額で結構です。)
財形貯蓄、社内預金(n=211)	(10.5)	(19.9) ～100 万円未満 (18.5) ～200 万円未満 (11.4) ～300 万円未満 (10.4) ～400 万円未満 (4.3) ～500 万円未満 (9.5) ～700 万円未満 (3.8) ～1000 万円未満	(3.3) ～1500 万円未満 (1.4) ～2000 万円未満 (0.9) ～3000 万円未満 (-) ～5000 万円未満 (0.9) ～1 億円未満 (-) 1 億円以上 (15.6) 無回答	財形貯蓄・社内預金などの貯蓄額をお答えください。
その他 (貸付信託、積立型損害保険、金貯蓄口座等) (n=39)	(1.9)	(23.1) ～100 万円未満 (20.5) ～200 万円未満 (2.6) ～300 万円未満 (7.7) ～400 万円未満 (-) ～500 万円未満 (17.9) ～700 万円未満 (2.6) ～1000 万円未満	(-) ～1500 万円未満 (2.6) ～2000 万円未満 (-) ～3000 万円未満 (2.6) ～5000 万円未満 (-) ～1 億円未満 (-) 1 億円以上 (20.5) 無回答	上記「1」～「11」以外の金融商品について、合算してお答えください。

無回答

(18.9)

【全員の方に】

問10 あなたの世帯でお持ちの金融資産についておうかがいします。

- (1) あなたの世帯でお持ちの金融資産をすべて合わせると、現在高はおいくらですか。現金や決済性預金を含めてお答えください。(実数記入) (n=1,097)

※「金融資産」には、土地・住宅・貴金属等の実物資産は含みません。

※お持ちでない場合は、「X 持っていない」に○をおつけください。

(6.2)	～100 万円未満	(10.4)	～700 万円未満	(8.9)	～5000 万円未満
(8.2)	～200 万円未満	(8.8)	～1000 万円未満	(6.1)	～1 億円未満
(6.1)	～300 万円未満	(13.9)	～1500 万円未満	(1.8)	1 億円以上
(7.7)	～400 万円未満	(7.6)	～2000 万円未満		
(3.8)	～500 万円未満	(10.3)	～3000 万円未満		
(54.7) 持っている		(15.1) 持っていない		(30.2) 無回答	
(n=2,005)					

- (2) では、1年前のあなたの世帯でお持ちの金融資産額は、おいくらでしたか。現金や決済性預金を含めてお答えください。平成28年12月末時点でお答えください。(実数記入) (n=1,074)

※「金融資産」には、土地・住宅・貴金属等の実物資産は含みません。

※お持ちでない場合は、「X 持っていない」に○をおつけください。

(7.0)	～100 万円未満	(9.7)	～700 万円未満	(8.3)	～5000 万円未満
(8.2)	～200 万円未満	(11.4)	～1000 万円未満	(5.5)	～1 億円未満
(6.4)	～300 万円未満	(12.8)	～1500 万円未満	(1.9)	1 億円以上
(6.4)	～400 万円未満	(7.6)	～2000 万円未満		
(4.7)	～500 万円未満	(10.1)	～3000 万円未満		
(53.6)持っている		(28.9)持っていない		(17.5)無回答	
(n=2,005)					

問11 保険商品(掛け捨ての保険のみ)についておうかがいします。

- (1) 現在、あなたの世帯の世帯主の方が被保険者となっていらっしゃる保険商品(掛け捨ての保険のみ)の死亡保障金額はおいくらくらいでしょうか。(実数記入) (n=960)

※お持ちでない場合は、「X 持っていない」に○をおつけください。

(6.0)	～100 万円未満	(15.3)	～700 万円未満	(12.2)	～5000 万円未満
(10.4)	～200 万円未満	(2.5)	～1000 万円未満	(5.4)	5000 万円以上
(8.4)	～300 万円未満	(17.6)	～1500 万円未満		
(7.3)	～400 万円未満	(3.8)	～2000 万円未満		
(1.9)	～500 万円未満	(9.2)	～3000 万円未満		
(47.9)持っている		(36.1)持っていない		(16.1)無回答	
(n=2,005)					

- (2) では、あなたの世帯のご家族全員の方の保険商品(掛け捨ての保険のみ)の死亡保障金額を合計すると、おいくらくらいでしょうか。(実数記入) (n=971)

※お持ちでない場合は、「X 持っていない」に○をおつけください。

(3.9)	～100 万円未満	(11.7)	～700 万円未満	(14.1)	～5000 万円未満
(5.8)	～200 万円未満	(5.1)	～1000 万円未満	(10.6)	5000 万円以上
(6.5)	～300 万円未満	(14.3)	～1500 万円未満		
(6.1)	～400 万円未満	(7.1)	～2000 万円未満		
(2.2)	～500 万円未満	(12.6)	～3000 万円未満		
(48.4) 持っている		(34.5) 持っていない		(17.1) 無回答	
(n=2,005)					

問12 あなたの世帯の貯蓄の目的についておたずねします。

(1) 現在あなたの世帯では、どのような目的で貯蓄をなさっていますか。「ア」から「シ」の中から、貯蓄の目的にあてはまるものをいくつでもお答えください。(〇はいくつでも) (n=2,005)

【(1)で〇をつけた貯蓄それぞれについて】

(2) 現在お持ちの貯蓄総額の何%程度を割り当てていますか。合計が100%になるようにお答えください。(実数記入)

(3) 目的の貯蓄は1年前に比べて増えましたか、それとも減りましたか。(〇は1つずつ)

	(1) 貯蓄の 目的 (〇はいく つでも) (n=2,005)	(2) 貯蓄総額に 占める% (実数記入)	(3) 1年前に比べて (〇は1つずつ)
ア 病気、災害、その他不時の出費への備え (n=1,143)	(57.0)	(3.5) 10%未満 (2.8) 60～80%未満 (21.6) 10～20%未満 (1.7) 80～100%未満 (35.3) 20～40%未満 (1.9) 100% (17.8) 40～60%未満 (15.4) 無回答	増えた 減った 変わら 無回答 ない (14.3) (18.2) (58.4) (9.1)
イ 子どもの教育費 (n=574)	(28.6)	(3.3) 10%未満 (8.5) 60～80%未満 (12.5) 10～20%未満 (5.6) 80～100%未満 (30.5) 20～40%未満 (3.0) 100% (20.7) 40～60%未満 (15.9) 無回答	(36.2) (15.9) (40.1) (7.8)
ウ 結婚資金(子どもの結婚資金を含む) (n=200)	(10.0)	(11.5) 10%未満 (0.5) 60～80%未満 (33.0) 10～20%未満 (0.5) 80～100%未満 (22.0) 20～40%未満 (-) 100% (6.0) 40～60%未満 (26.5) 無回答	(15.5) (21.0) (57.5) (6.0)
エ 自宅又は土地の取得、増改築などへの備え (n=332)	(16.6)	(5.4) 10%未満 (3.3) 60～80%未満 (29.8) 10～20%未満 (2.7) 80～100%未満 (29.5) 20～40%未満 (-) 100% (11.7) 40～60%未満 (17.5) 無回答	(23.2) (15.4) (49.4) (12.0)
オ 老後の生活への備え (n=1,102)	(55.0)	(2.1) 10%未満 (7.0) 60～80%未満 (12.8) 10～20%未満 (3.7) 80～100%未満 (32.0) 20～40%未満 (1.3) 100% (25.3) 40～60%未満 (15.8) 無回答	(18.6) (18.0) (53.1) (10.3)
カ 要介護状態(寝たきりなど)になったときの出費への備え (n=476)	(23.7)	(6.3) 10%未満 (0.6) 60～80%未満 (21.6) 10～20%未満 (0.2) 80～100%未満 (38.9) 20～40%未満 (0.2) 100% (12.0) 40～60%未満 (20.2) 無回答	(11.6) (15.1) (60.3) (13.0)

キ 耐久消費財(自動車、家具、家電などの購入 (n=476)	(23.7)	(13.2) 10%未満 (0.8) 60～80%未満 (42.4) 10～20%未満 (0.6) 80～100%未満 (24.8) 20～40%未満 (-) 100% (3.4) 40～60%未満 (14.7) 無回答	(14.9) (21.2) (52.5) (11.3)
ク 旅行やスポーツなどのレジャー (n=415)	(20.7)	(19.0) 10%未満 (0.2) 60～80%未満 (49.9) 10～20%未満 (-) 80～100%未満 (16.6) 20～40%未満 (-) 100% (1.7) 40～60%未満 (12.5) 無回答	(14.7) (21.4) (52.8) (11.1)
ケ 遺産として残すための貯蓄 (n=164)	(8.2)	(7.3) 10%未満 (1.2) 60～80%未満 (34.8) 10～20%未満 (-) 80～100%未満 (27.4) 20～40%未満 (0.6) 100% (9.1) 40～60%未満 (19.5) 無回答	(11.6) (18.9) (57.3) (12.2)
コ 特に目的はなく、安心のための貯蓄 (n=590)	(29.4)	(4.7) 10%未満 (5.3) 60～80%未満 (26.4) 10～20%未満 (6.8) 80～100%未満 (28.1) 20～40%未満 (3.9) 100% (14.6) 40～60%未満 (10.2) 無回答	(17.5) (20.8) (51.2) (10.5)
サ その他の目的の貯蓄 (n=147)	(7.3)	(10.9) 10%未満 (3.4) 60～80%未満 (26.5) 10～20%未満 (2.7) 80～100%未満 (25.2) 20～40%未満 (2.7) 100% (10.9) 40～60%未満 (17.7) 無回答	(11.6) (27.2) (50.3) (10.9)
シ あてはまるものはない (n=174)	(8.7)	→ 問13へ	

無回答 (13.1)

住居についておうかがいします。

【全員の方に】

問1 3 お住まいの住居はどのような構造ですか。(〇は1つ) (n=2, 005)

(62.9)	1	木造	(1.2)	3	ブロック造	(4.3)	5	その他
(3.7)	2	防火木造	(26.9)	4	鉄筋コンクリート	(具体的に:)		

(0.9)無回答

問1 3-1 お住まいの住居は築後何年ですか。(実数記入) (n=2, 005)

(0.3)	築1年未満	(21.8)	築10～19年	(8.7)	築50年以上
(3.1)	築1～2年	(22.6)	築20～29年	(3.4)	無回答
(3.2)	築3～4年	(15.6)	築30～39年		
(7.2)	築5～9年	(13.9)	築40～49年		

問1 3-2 敷地面積、床面積はそれぞれいくらですか。(マンションは床面積のみ) (実数記入) (n=2, 005)

※1 坪=3.3 平方メートルとして算出してください。平方メートル(m²)または坪数のどちらかでお知らせください。

ア) 敷地面積

(2.2)	50m ² 未満	(12.3)	～200m ² 未満	(6.7)	500m ² 以上
(9.2)	～100m ² 未満	(13.6)	～300m ² 未満	(36.8)	無回答
(8.4)	～150m ² 未満	(10.9)	～500m ² 未満		

イ) 床面積

(4.7)	50m ² 未満	(9.6)	～200m ² 未満	(0.3)	500m ² 以上
(29.8)	～100m ² 未満	(3.3)	～300m ² 未満	(27.0)	無回答
(24.2)	～150m ² 未満	(1.0)	～500m ² 未満		

問1 4 あなたの世帯では現在どのような住居にお住まいですか。親または親族の家に同居しており、生計をともにしている場合には、その住居についてお答えください。(〇は1つ) (n=2, 005)

(68.1)	1	持ち家(一戸建て)	(3.1)	4	民間の借家(一戸建て)	} → 8ページの 問1 6へ
(0.8)	2	持ち家(定期借地権付き一戸建て住宅)	(10.3)	5	民間の借家	
(11.4)	3	持ち家(マンション)			(マンション、アパート等の集合住宅)	
				6	公団・公社・公営の賃貸アパート	
			(3.7)	7	社宅・官舎	
			(0.7)	8	その他 (具体的に)	
			(0.5)			→ 8ページの問1 5へ

(1.2)無回答

→【問14で、「1」～「3」(持ち家)と回答した方に】

問1 4-1 それはどなたの所有ですか。土地ではなく建物についてお答えください。(〇はいくつでも) (n=1, 612)

(87.1)	1	世帯主	(2.2)	3	子ども	} → 8ページの 問1 5へ
(15.6)	2	配偶者	(0.3)	4	子どもの配偶者	
			(0.1)	5	孫	
			(6.4)	6	親、配偶者の親	
			(0.7)	7	その他 (具体的に)	

(0.5)無回答

【問14-1で、「1 世帯主」または「2 配偶者」と回答した方に】

問 1 4-2 それはどのようにして取得されましたか。(〇は1つ) (n=1, 483)

(77.9)	1	購入した	(1.1)	3	その他
(20.1)	2	相続または譲渡を受けた			(具体的に)

(0.9)無回答

【問14-1で、「1 世帯主」または「2 配偶者」と回答した方に】

問14-3 それを購入・相続・譲渡された時期はいつでしたか。(実数記入) (n=1, 483)

※23 ページの「西暦・元号対比表」をご参照ください。

(3.0)	1 年未満	(13.7)	～1 5 年未満	(9.6)	～4 0 年未満
(5.4)	～3 年未満	(11.9)	～2 0 年未満	(6.6)	～5 0 年未満
(4.7)	～5 年未満	(10.5)	～2 5 年未満	(2.6)	5 0 年以上前
(13.0)	～1 0 年未満	(8.7)	～3 0 年未満	(10.3)	無回答

【問14-2で、「1 購入した」と回答した方に。それ以外の方は問15 へお進みください。】

問14-4 調達資金の内訳をお答えください。(実数記入) (n=1, 155)

※ ①～③のそれぞれについて、該当する資金がある場合は「ある」に○をつけ、その金額を記入してください。

該当する資金がない場合は「なし」に○をつけ、金額欄に「0」と記入してください。

	(1) 調達資金の有無 (n=1, 155)			(2) 該当する資金がある場合はその金額を記入してください			
	ある	なし	無回答				
①金融機関からの 借入金 (n=678)	(68.7)	(20.2)	(11.1)	(0.7)	～1 0 0 万円未満	(5.3)	～1 0 0 0 万円未満
				(0.9)	～2 0 0 万円未満	(14.6)	～1 5 0 0 万円未満
				(1.2)	～3 0 0 万円未満	(12.5)	～2 0 0 0 万円未満
				(0.7)	～4 0 0 万円未満	(29.5)	～3 0 0 0 万円未満
				(1.3)	～5 0 0 万円未満	(27.1)	～5 0 0 0 万円未満
				(3.4)	～7 0 0 万円未満	(2.5)	～1 億円未満
						(0.1)	1 億円以上
②それ以外の 借入金 (n=67)	(7.2)	(50.5)	(42.3)	(3.0)	～1 0 0 万円未満	(17.9)	～1 0 0 0 万円未満
				(7.5)	～2 0 0 万円未満	(7.5)	～1 5 0 0 万円未満
				(7.5)	～3 0 0 万円未満	(9.0)	～2 0 0 0 万円未満
				(4.5)	～4 0 0 万円未満	(7.5)	～3 0 0 0 万円未満
				(9.0)	～5 0 0 万円未満	(6.0)	～5 0 0 0 万円未満
				(19.4)	～7 0 0 万円未満	(1.5)	～1 億円未満
						(-)	1 億円以上
③親からの援助 (n=164)	(16.9)	(45.0)	(38.1)	(0.6)	～1 0 0 万円未満	(9.8)	～1 0 0 0 万円未満
				(9.1)	～2 0 0 万円未満	(20.1)	～1 5 0 0 万円未満
				(14.0)	～3 0 0 万円未満	(1.8)	～2 0 0 0 万円未満
				(10.4)	～4 0 0 万円未満	(4.3)	～3 0 0 0 万円未満
				(3.0)	～5 0 0 万円未満	(4.9)	～5 0 0 0 万円未満
				(21.3)	～7 0 0 万円未満	(0.6)	～1 億円未満
						(-)	1 億円以上

問14-4①「金融機関からの借入金」がある方は問14-5 へ。それ以外の方は次ページの問15 へお進みください。

【問14-4で、「①金融機関からの借入金」があると回答した方に】

問14-5 次のうち主にどの金融機関から調達されましたか。(〇はいくつでも) (n=794)

(70.0)	1	民間金融機関	(31.7)	2	住宅金融支援機構(旧 住宅金融公庫)	} 次ページの 問15へ
			(1.9)	3	その他(具体的に)	

(3.5)無回答

【問14-5で、「1 民間金融機関」と回答した方に】

問14-6 民間金融機関はどちらでしたか。金融機関名をご記入ください。複数の金融機関から借り入れている場合は、最も金額の多い機関名をご記入ください。(n=556)

(66.9) 銀行
(24.5) 協同組織金融機関
(1.4) その他
(7.2) 不明・無回答

問14-7 民間金融機関からの借入金について金利のタイプは次のうちどれにあてはまりますか。(〇は1つ) (n=556)

(40.5) 1 変動金利型 (23.0) 2 固定金利期間選択型(10年以下) (4.0) 4 全期間固定金利型(10年以下)
(9.9) 3 固定金利期間選択型(10年超) (15.5) 5 全期間固定金利型(10年超)

(7.2)無回答

問14-8 民間金融機関から借入れたときの金利はおおよそどの位でしたか。(〇は1つ) (n=556)

(4.5) 1 0.5%未満 (10.6) 5 2.0%~2.5%未満 (1.4) 9 4.0%~4.5%未満
(15.5) 2 0.5%~1.0%未満 (7.4) 6 2.5%~3.0%未満 (1.8) 10 4.5%~5.0%未満
(10.6) 3 1.0%~1.5%未満 (2.2) 7 3.0%~3.5%未満 (6.5) 11 5.0%以上
(11.3) 4 1.5%~2.0%未満 (2.2) 8 3.5%~4.0%未満 (16.9) 12 わからない
(9.2) 無回答

【問14(現在お住まいの住居)で、「1」~「3」(持ち家)、または「8 その他」と回答した方に】

問15 現在お住まいの住居について、3年後のその資産価値はどうなると思いますか。

マンションにお住まいの方は専有部分についてのみお答えください。(〇は1つ) (n=1,623)

(57.1) 1 下がる (30.5) 2 変わらない →問17へ (5.2) 3 上がる

(7.2)無回答

問15-1 下がる幅は、おおよそどの程度とお考えですか。(〇は1つ) (n=926)

(22.1) 1 5%未満
(26.3) 2 5%~10%未満
(17.7) 3 10%~20%未満
(9.7) 4 20%~30%未満
(7.6) 5 30%~50%未満
(10.6) 6 50%以上
(5.9) 無回答

問15-2 上がる幅は、おおよそどの程度とお考えですか。(〇は1つ) (n=85)

(51.8) 1 5%未満
(29.4) 2 5%~10%未満
(9.4) 3 10%~20%未満
(7.1) 4 20%~30%未満
(2.4) 5 30%~50%未満
(-) 6 50%~100%未満
(-) 7 100%以上
(-) 無回答

ご回答後は問17へお進みください。

【問14(現在お住まいの住居)で、「4」～「7」(借家または賃貸または社宅・官舎)と回答した方に】

問16 ひと月の家賃はどれくらいですか。共益費や管理費も含めてご回答ください。(実数記入) (n=358)

(9.2)	3万円未満	(10.9)	～8万円未満	(0.6)	20万円以上
(17.9)	～5万円未満	(8.9)	～9万円未満	(14.0)	無回答
(11.2)	～6万円未満	(4.2)	～10万円未満		
(11.2)	～7万円未満	(12.0)	～20万円未満		

資産についておうかがいします。

【全員の方に】

問17 住居の取得(建て替え、買い替えなどを含む)についてどのような予定をお持ちですか。(〇は1つ)

(n=2,005)

(1.0)	1	1年以内に取得を予定	} → 次ページの問17-3へ
(1.8)	2	5年以内に取得を予定	
(6.5)	3	時期ははっきりしないが取得を予定している	
(60.0)	4	住居の取得・建て替え・買い替えは今のところ考えていない	
(24.3)	5	将来とも住居を取得する気持ちはない	

(6.3) 無回答

→【問17で、「1」～「3」と回答した方に】

問17-1 住居を取得(建て替え、買い替えなどを含む)する場合は、どのようにしたいですか。(〇は1つ) (n=188)

(48.4)	1	新規購入	(14.9)	3	買い替え	(2.1) 無回答
(29.8)	2	建て替え	(4.8)	4	相続・贈与等	

【問17で、「1」～「3」と回答した方に】

問17-2 予定されている調達資金の内訳をお答えください。(実数記入) (n=188)

※①～③のそれぞれについて、該当する資金調達の予定がある場合は「ある」に〇をつけ、予定金額を記入してください。
該当する資金調達の予定がない場合は「なし」に〇をつけ、金額欄に「0」と記入してください。

	(1) 調達資金の有無 (n=188)			(2) 該当する資金がある場合はその金額を記入してください			
	ある	なし	無回答				
①金融機関からの 借入金 (n=63)	(40.4)	(47.9)	(11.7)	(3.2)	～100万円未満	(-)	～1000万円未満
				(-)	～200万円未満	(15.9)	～1500万円未満
				(-)	～300万円未満	(3.2)	～2000万円未満
				(-)	～400万円未満	(28.6)	～3000万円未満
				(-)	～500万円未満	(33.3)	～5000万円未満
				(3.2)	～700万円未満	(12.7)	～1億円未満
						(-)	1億円以上
②それ以外の 借入金 (n=3)	(3.2)	(66.5)	(30.3)	(-)	～100万円未満	(-)	～1000万円未満
				(-)	～200万円未満	(33.3)	～1500万円未満
				(-)	～300万円未満	(-)	～2000万円未満
				(-)	～400万円未満	(33.3)	～3000万円未満
				(-)	～500万円未満	(-)	～5000万円未満
				(33.3)	～700万円未満	(-)	～1億円未満
						(-)	1億円以上

③親からの援助 (n=10)				(10.0)	～100万円未満	(20.0)	～1000万円未満
				(20.0)	～200万円未満	(20.0)	～1500万円未満
				(-)	～300万円未満	(-)	～2000万円未満
				(10.0)	～400万円未満	(-)	～3000万円未満
				(-)	～500万円未満	(10.0)	～5000万円未満
				(10.0)	～700万円未満	(-)	～1億円未満
						(-)	1億円以上



回答後は問18へお進みください。

【問17で、「4」または「5」と回答した方に】

問17-3 住居の取得(建て替え、買い替えなどを含む)をお考えになっていないのはなぜですか。(〇はいくつでも)
(n=1,690)

(24.6)	1	資金不足	(47.4)	4	現在の自宅に満足している
(0.7)	2	適当な広さの物件がない	(37.2)	5	将来どうなるか分からないから
(1.0)	3	立地条件が合わない	(4.4)	6	その他(具体的に)

(7.2)無回答

【 全員の方に 】

問 1 8 あなたの世帯の借入金についておうかがいします。

- (1) 現在あなたの世帯では、次のような目的での借入金がありますか。あてはまるものをすべてお知らせください。
(○はいくつでも) (n=2, 005)

【(1)で○をつけた借入金目的のそれぞれについて】

- (2) それぞれの目的での、現在の借入残高をご記入ください。(実数記入)
(3) 1年前に比べて残高が増えたのは、どの目的の借入金ですか。(○はいくつでも) (n=682)
(4) 1年前に比べて残高が減ったのは、どの目的の借入金ですか。(○はいくつでも) (n=682)

	(1) 借入の 目的 (○は いくつ でも) (n=2, 005)	(2) 現在の借入残高 (実数記入)	(3) 1年前 に比べ て残高 が <u>増え</u> <u>た</u> もの (○は いくつ でも) (n=682)	(4) 1年前に 比べて残 高が <u>減っ</u> <u>た</u> もの (○は いくつでも) (n=682)
ア 自宅又は土地の 取得・増改築など (n=512)	(25.5)	(2.5) 100万円未満 (8.0) ~1000万円未満 (2.5) ~200万円未満 (16.6) ~1500万円未満 (2.7) ~300万円未満 (11.7) ~2000万円未満 (2.0) ~400万円未満 (18.4) ~3000万円未満 (1.6) ~500万円未満 (13.9) 3000万円以上 (5.1) ~700万円未満 (15.0) 無回答	(2.8)	(62.6)
イ 耐久消費財(自動 車、家具、家電な ど)の購入資金 (n=154)	(7.7)	(30.5) 100万円未満 (0.6) ~1000万円未満 (30.5) ~200万円未満 (-) ~1500万円未満 (17.5) ~300万円未満 (-) ~2000万円未満 (8.4) ~400万円未満 (-) ~3000万円未満 (1.3) ~500万円未満 (-) 3000万円以上 (0.6) ~700万円未満 (10.4) 無回答	(5.0)	(15.5)
ウ 子どもの教育費 (n=93)	(4.6)	(23.7) 100万円未満 (2.2) ~1000万円未満 (22.6) ~200万円未満 (4.3) ~1500万円未満 (15.1) ~300万円未満 (-) ~2000万円未満 (9.7) ~400万円未満 (-) ~3000万円未満 (4.3) ~500万円未満 (-) 3000万円以上 (1.1) ~700万円未満 (17.2) 無回答	(4.5)	(6.7)
エ 生活費(n=59)	(2.9)	(33.9) 100万円未満 (-) ~1000万円未満 (22.0) ~200万円未満 (1.7) ~1500万円未満 (10.2) ~300万円未満 (-) ~2000万円未満 (3.4) ~400万円未満 (-) ~3000万円未満 (-) ~500万円未満 (-) 3000万円以上 (-) ~700万円未満 (28.8) 無回答	(3.8)	(3.8)
オ その他の 目的の借入金 (n=73)	(3.6)	(20.5) 100万円未満 (1.4) ~1000万円未満 (20.5) ~200万円未満 (1.4) ~1500万円未満 (15.1) ~300万円未満 (1.4) ~2000万円未満 (11.0) ~400万円未満 (-) ~3000万円未満 (1.4) ~500万円未満 (4.1) 3000万円以上 (6.8) ~700万円未満 (16.4) 無回答	(2.3)	(6.5)
カ 借入金はない	(44.4)	→問 19へ		
無回答	(21.5)		(83.4)	(22.0)

仕事と家計についておうかがいします。

【全員の方へ】

問19 世帯主の方は、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。(〇は1つ) (n=2,005)

(70.3)	1	している	(3.2)	2	していない(求職中)	} →次ページの問21へ
			(24.6)	3	していない(求職活動もしていない)	

(1.8)無回答

→ **【問19で、世帯主の方が現在、収入をとまなう仕事を「1 している」と回答した方へ】**

問19-1 世帯主の方の現在のお仕事についてお答えください。複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事1つだけについてお答えください。(n=1,410)

※(2)業種は24ページの「業種分類表」にしたがって回答してください。

(1)雇用形態 (〇は1つ) (1.8)無回答	(62.2) 1 正社員・正規職員 (8.8) 2 嘱託・契約社員 (1.0) 3 派遣社員	(8.9) 4 パート・アルバイト (7.1) 5 自営業(雇人あり) (8.7) 6 自営業(雇人なし)	(0.6) 7 自営業の手伝い (0.1) 8 内職 (1.0) 9 その他()
(2)業種 (〇は1つ) (4.3)無回答	(3.4) 1 農林漁鉱業 (11.3) 2 建設業 (19.3) 3 製造業	(7.0) 4 運輸業、郵便業 (8.7) 5 卸売業、小売業 (2.8) 6 宿泊業、 飲食サービス業	(7.3) 7 医療、福祉 (11.8) 8 公務、教育、電気水道業 (24.1) 9 その他サービス業
(3)職種 (〇は1つ) (3.5)無回答	(17.7) 1 専門・技術的職業(医師、看護師、弁護士、教師、技術者、デザイナーなど) (9.9) 2 管理的な仕事(企業・官公庁における課長職以上、議員、経営者など) (12.2) 3 事務的な仕事(企業・官公庁における一般事務、経理、内勤の営業など) (11.9) 4 営業・販売の仕事(小売・卸売店主、店員、不動産売買、保険外交、外勤のセールスなど) (22.1) 5 技能工・生産工程に関わる職業 (製品製造・組立て、自動車整備、建設作業員、大工、電気工事、農水産物加工など) (7.4) 6 運輸・通信の仕事(トラック・タクシー運転手、船員、郵便配達、通信士など) (2.9) 7 保安的職業(警察官、消防士、自衛官、警備員など) (2.7) 8 農林漁業に関わる職業 (7.9) 9 サービスの職業(理・美容師、料理人、ホールスタッフ、ホームヘルパーなど) (1.7) 10 その他(具体的に)		
(4)従業員数 (パート・アルバイトなどを含む) (〇は1つ) (6.9)無回答	(14.8) 1 5人未満 (7.2) 2 5人以上10人未満 (10.4) 3 10人以上30人未満	(14.0) 4 30人以上100人未満 (10.8) 5 100人以上300人未満 (5.0) 6 300人以上500人未満	(4.8) 7 500人以上1,000人未満 (16.3) 8 1,000人以上 (5.3) 9 官公庁 (4.5) 10 わからない ※派遣社員や業務委託社員の方は、実際に働いている会社の従業員数をお答えください。

(5) 就労時間

(7.4)	10時間未満	(38.6)	～50時間未満	(1.2)	～90時間未満
(4.3)	～20時間未満	(17.4)	～60時間未満	(0.2)	～100時間未満
(3.6)	～30時間未満	(8.3)	～70時間未満	(0.1)	100時間以上
(7.6)	～40時間未満	(3.0)	～80時間未満	(8.2)	無回答

6) 入社時期

(0.1)	1950年代以前	(14.1)	1980年代	(27.3)	2010年代
(1.1)	1960年代	(18.4)	1990年代	(14.3)	無回答
(4.3)	1970年代	(20.4)	2000年代		

問20 世帯主の方は、何歳まで働きたいと考えていらっしゃいますか。**(実数記入)**(n=2,005)

(0.4)	50歳未満	(18.3)	60～64歳まで	(8.2)	75～79歳まで
(0.3)	50～54歳まで	(37.7)	65～69歳まで	(5.5)	80歳を超える年齢まで
(0.9)	55～59歳まで	(20.5)	70～74歳まで	(8.2)	無回答

【全員の方に】

問 2 1 世帯主の配偶者の方は、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。(○は1つ) (n=2005)

- | | | | | |
|----------|------|----------|-------------------|-----------------|
| (46.1) 1 | している | (5.8) 2 | していない(求職中) | } → 次ページの間 23 へ |
| | | (36.8) 3 | していない(求職活動もしていない) | |
| | | (8.6) 4 | 配偶者はいない | |

(2.7) 無回答

→【問21で、世帯主の配偶者の方が現在、収入をとまなう仕事を「1 している」と回答した方に】

問 2 1-1 世帯主の配偶者の方の現在のお仕事についてお答えください。複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事 1 つだけについてお答えください。(n=924)

※(2) 業種は 24 ページの「業種分類表」にしたがって回答してください。

(1) 雇用形態 (○は1つ) (1.2) 無回答	(28.8) 1 正社員・正規職員 (7.1) 2 嘱託・契約社員 (2.6) 3 派遣社員	(47.7) 4 パート・アルバイト (1.9) 5 自営業(雇人あり) (4.2) 6 自営業(雇人なし)	(4.8) 7 自営業の手伝い (0.2) 8 内職 (1.4) 9 その他()
(2) 業種 (○は1つ) (6.7) 無回答	(2.4) 1 農林漁鉱業 (3.9) 2 建設業 (10.5) 3 製造業	(2.7) 4 運輸業、郵便業 (11.3) 5 卸売業、小売業 (5.5) 6 宿泊業、 飲食サービス業	(19.5) 7 医療、福祉 (11.9) 8 公務、教育、電気水道業 (25.6) 9 その他サービス業
(3) 職種 (○は1つ) (3.7) 無回答	(21.4) 1 専門・技術的職業(医師、看護師、弁護士、教師、技術者、デザイナーなど) (1.8) 2 管理的な仕事(企業・官公庁における課長職以上、議員、経営者など) (25.0) 3 事務的な仕事(企業・官公庁における一般事務、経理、内勤の営業など) (11.1) 4 営業・販売の仕事(小売・卸売店主、店員、不動産売買、保険外交、外勤のセールスなど) (8.5) 5 技能工・生産工程に関わる職業 (製品製造・組立て、自動車整備、建設作業員、大工、電気工事、農水産物加工など) (1.4) 6 運輸・通信の仕事(トラック・タクシー運転手、船員、郵便配達、通信士など) (0.1) 7 保安的職業(警察官、消防士、自衛官、警備員など) (2.3) 8 農林漁業に関わる職業 (21.8) 9 サービスの職業(理・美容師、料理人、ホールスタッフ、ホームヘルパーなど) (2.8) 10 その他(具体的に)		
(4) 従業員数 (パート・アルバイトなどを含む) (○は1つ) (6.7) 無回答	(12.9) 1 5 人未満 (10.5) 2 5 人以上 10 人未満 (16.9) 3 10 人以上 30 人未満	(19.2) 4 30 人以上 100 人未満 (8.4) 5 100 人以上 300 人未満 (3.5) 6 300 人以上 500 人未満	(2.7) 7 500 人以上 1,000 人未満 (9.4) 8 1,000 人以上 (3.2) 9 官公庁 (6.6) 10 わからない ※派遣社員や業務委託社員の方は、実際に働いている会社の従業員数をお答えください。

(5) 就労時間

(11.3)	10時間未満	(28.6)	～50時間未満	(0.8)	～90時間未満
(10.3)	～20時間未満	(5.7)	～60時間未満	(-)	～100時間未満
(19.3)	～30時間未満	(1.8)	～70時間未満	(-)	100時間以上
(14.7)	～40時間未満	(0.6)	～80時間未満	(6.9)	無回答

6) 入社時期

(-)	1950年代以前	(6.5)	1980年代	(40.0)	2010年代
(0.6)	1960年代	(12.3)	1990年代	(16.5)	無回答
(0.9)	1970年代	(23.2)	2000年代		

問22 世帯主の配偶者の方は、何歳まで働きたいと考えていらっしゃいますか。(実数記入) (n=924)

(3.0)	50歳未満	(30.7)	60～64歳まで	(4.1)	75～79歳まで
(3.6)	50～54歳まで	(26.9)	65～69歳まで	(2.8)	80歳を超える年齢まで
(3.7)	55～59歳まで	(14.6)	70～74歳まで	(10.5)	無回答

【全員の方に】

問23 あなたの世帯の昨年1年間の就労収入について、おうかがいします。

(1) 世帯主の方の昨年1年間の就労収入は、およそいくらですか。

税金・社会保険料などを差し引かれる前の残業手当、ボーナス、臨時収入、副業収入を含む総収入でお答えください。また、自営の場合は、売上高などから必要経費を除いた金額を記入してください。(実数記入) (n=1,250)

※収入がない場合には「X 昨年1年間は、収入はない」に○をおつけください。

(7.4)	～100万円未満	(11.3)	～600万円未満	(7.7)	～1500万円未満
(8.6)	～200万円未満	(11.7)	～700万円未満	(1.4)	～2000万円未満
(11.2)	～300万円未満	(6.6)	～800万円未満	(0.4)	2000万円以上
(13.6)	～400万円未満	(4.6)	～900万円未満		
(12.7)	～500万円未満	(3.0)	～1000万円未満		

(62.3)就労収入がある (21.8)昨年1年間は、就労収入はない (15.8)無回答 (n=2,005)

(2) では、世帯主の配偶者の昨年1年間の就労収入は、およそいくらですか。

税金・社会保険料などを差し引かれる前の残業手当、ボーナス、臨時収入、副業収入を含む総収入でお答えください。また、自営の場合は、売上高などから必要経費を除いた金額を記入してください。(実数記入) (n=854)

※収入がない場合には「X 昨年1年間は、収入はない」に○をおつけください。

※配偶者がいらっしゃらない場合には、「Y 配偶者はいない」に○をおつけください。

(31.9)	～100万円未満	(4.9)	～600万円未満	(0.6)	～1500万円未満
(28.1)	～200万円未満	(2.3)	～700万円未満	(0.5)	～2000万円未満
(14.8)	～300万円未満	(1.4)	～800万円未満	(0.2)	2000万円以上
(8.9)	～400万円未満	(0.4)	～900万円未満		
(5.9)	～500万円未満	(0.2)	～1000万円未満		

(42.6)就労収入がある (33.2)昨年1年間は、就労収入はない (8.6)配偶者はいない (15.6)無回答 (n=2,005)

問24 あなたの世帯の、昨年1年間の収入の総額は、およそいくらですか。(1) 税金・社会保険料などを差し引かれる前の社会保障給付、贈与、財産収入等を含む総収入(遺産を除く)と(2) 税金・社会保険料などを差し引かれた手取り額でお答えください。**(実数記入)** (n=2,005)

※収入がなかった場合は「0」と記入してください。

(1) 総収入 (n=2,005)

(5.3)	～100万円未満	(7.5)	～600万円未満	(8.6)	～1500万円未満
(3.2)	～200万円未満	(7.2)	～700万円未満	(2.3)	～2000万円未満
(5.8)	～300万円未満	(6.1)	～800万円未満	(1.0)	2000万円以上
(7.9)	～400万円未満	(5.4)	～900万円未満	(27.7)	無回答
(7.9)	～500万円未満	(3.9)	～1000万円未満		

(2) 手取り額 (n=2,005)

(5.9)	～100万円未満	(7.9)	～600万円未満	(2.6)	～1500万円未満
(4.5)	～200万円未満	(6.1)	～700万円未満	(0.5)	～2000万円未満
(8.5)	～300万円未満	(4.2)	～800万円未満	(0.1)	2000万円以上
(10.7)	～400万円未満	(3.0)	～900万円未満	(35.1)	無回答
(8.9)	～500万円未満	(1.8)	～1000万円未満		

問25 あなたの世帯の支出の状況についておうかがいします。

(1) あなたの世帯の、昨年のひと月あたりの支出は、平均してどのくらいですか。**(実数記入)** (n=2,005)

(1.8)	10万円未満	(13.7)	～30万円未満	(1.7)	～50万円未満
(5.0)	～15万円未満	(12.9)	～35万円未満	(8.9)	50万円以上
(8.1)	～20万円未満	(4.4)	～40万円未満	(21.7)	無回答
(15.9)	～25万円未満	(5.8)	～45万円未満		

(2) 上記(1)でお答えになったひと月あたりの支出金額のうち、住宅などのローンの返済額はどのくらいですか。

※ローン返済がない場合は「X ローン返済はない」に○をつけてください。**(実数記入)** (n=624)

(62.8)	10万円未満	(0.6)	～30万円未満	(-)	～50万円未満
(25.8)	～15万円未満	(0.5)	～35万円未満	(1.1)	50万円以上
(5.9)	～20万円未満	(0.2)	～40万円未満		
(2.9)	～25万円未満	(0.2)	～45万円未満		

(31.1) ローン返済がある (52.5) ローン返済はない (16.4) 無回答 (n=2,005)

問26 子どもや親との仕送りのやりとりについて、おうかがいします。

(1) あなたの世帯では、子どもや親と仕送りのやりとりをしていますか。1から5のうち、あてはまるものをすべてお知らせください。(〇はいくつでも) (n=2,005)

(2) 「仕送りがある」場合、月々の仕送り金額は、それぞれいくらですか。(実数記入)

	(1) ある (〇はいくつでも)	(2) 月々の仕送り金額
世帯主のお子様に仕送りをしている (n=81)	(4.0)	(-) 1万円未満 (7.4) ~30万円未満 (3.7) ~3万円未満 (-) ~40万円未満 (12.3) ~5万円未満 (-) ~50万円未満 (19.8) ~7万円未満 (-) 50万円以上 (9.9) ~10万円未満 (7.4) 無回答 (39.5) ~20万円未満
世帯主のお子様から仕送りを受けている (n=23)	(1.1)	(-) 1万円未満 (8.7) ~30万円未満 (13.0) ~3万円未満 (-) ~40万円未満 (17.4) ~5万円未満 (-) ~50万円未満 (17.4) ~7万円未満 (-) 50万円以上 (17.4) ~10万円未満 (8.7) 無回答 (17.4) ~20万円未満
世帯主の親御様に仕送りをしている (n=27)	(1.3)	(-) 1万円未満 (-) ~30万円未満 (40.7) ~3万円未満 (-) ~40万円未満 (33.3) ~5万円未満 (-) ~50万円未満 (18.5) ~7万円未満 (-) 50万円以上 (3.7) ~10万円未満 (-) 無回答 (3.7) ~20万円未満
世帯主の親御様から仕送りを受けている (n=6)	(0.3)	(-) 1万円未満 (-) ~30万円未満 (50.0) ~3万円未満 (-) ~40万円未満 (16.7) ~5万円未満 (-) ~50万円未満 (16.7) ~7万円未満 (-) 50万円以上 (-) ~10万円未満 (16.7) 無回答 (-) ~20万円未満
上記にいずれもあてはまらない 無回答	(76.3) (17.1)	

問27 あなたの世帯の家計について、おうかがいします。

(1) あなたの世帯では現在の家計支出をどのような収入でまかなっていますか。(〇はいくつでも) (n=2,005)

※支出には次のものを含まます：食費、光熱費、住宅ローンの返済・住居費（住宅購入費や住宅改修費を除く）、被服費、耐久消費財購入費、交通・通信費、保健・医療費、教育娯楽・交際費

(66.1) 1 給与収入	(3.2) 8 国や市町村等の公的機関からの援助
(7.1) 2 事業収入	(14.9) 9 貯蓄の取り崩し
(4.2) 3 不動産賃貸収入	(1.9) 10 退職一時金
(3.9) 4 利子・配当等での収入	(2.0) 11 満期保険金
(36.1) 5 公的年金	(0.0) 12 土地・家屋などの不動産売却収入
(10.6) 6 個人年金・企業年金	(-) 13 リバースモーゲージ
(2.2) 7 子ども、親戚などからの援助（仕送り）	(0.5) 14 その他（具体的に)

(4.2) 無回答

(2) 上記 (1) でお答えになった収入のうち、最も金額が大きい収入は何ですか。番号を 1 つだけ選んで、ご記入ください。(n=2, 005)

(57.4)	1	給与収入	(0.3)	8	国や市町村等の公的機関からの援助
(4.3)	2	事業収入	(0.9)	9	貯蓄の取り崩し
(1.1)	3	不動産賃貸収入	(0.4)	10	退職一時金
(0.1)	4	利子・配当等での収入	(0.1)	11	満期保険金
(22.0)	5	公的年金	(-)	12	土地・家屋などの不動産売却収入
(1.4)	6	個人年金・企業年金	(-)	13	リバースモーゲージ
(0.4)	7	子ども、親戚などからの援助(仕送り)	(0.4)	14	その他(具体的に)

(11.0) 無回答

問 2 8 あなたの世帯の年間収入について、1 年後の年間収入は現在の年間収入に比べてどうなると思いますか。

(〇は1つ) (n=2, 005)

(32.9) <u>1</u> 下がる			(46.5) <u>2</u> 変わらない →次ページの間29へ			(15.3) <u>3</u> 上がる			(5.3)無回答		
↓						↓					
問28-1 下がる幅は、おおよそどのくらいとお考え ですか。(○は1つ)(n=660)						問28-2 上がる幅は、おおよそどのくらいとお考 えですか。(○は1つ) (n=307)					
(36.8)	1	5 %未満	(66.4)	1	5 %未満	(19.5)	2	5 %～1 0 %未満	(5.9)	3	1 0 %～2 0 %未満
(27.7)	2	5 %～1 0 %未満	(3.9)	4	2 0 %～3 0 %未満	(1.0)	5	3 0 %～5 0 %未満	(1.3)	6	5 0 %～1 0 0 %未満
(11.7)	3	1 0 %～2 0 %未満	(0.7)	7	1 0 0 %以上						
(7.3)	4	2 0 %～3 0 %未満									
(4.8)	5	3 0 %～5 0 %未満									
(7.1)	6	5 0 %以上									
(4.5)無回答						(1.3)無回答					

年金についておうかがいします。

【全員の方に】

問 2 9 65 歳以上の高齢期に、あなたの世帯では、1 か月にどのくらいの支出があるとお考えになりますか。高齢期に もっとも可能性の高い家族形態を想定してお答えください(例えば、子どもと生計をともにする可能性が高い場 合、二世帯世帯の生活を想定)。

65 歳以上の方は、現在の状況をお答えください。(実数記入) (n=2, 005)

(1.8)	1 0 万円未満	(14.2)	～3 0 万円未満	(0.3)	～5 0 万円未満
(6.7)	～1 5 万円未満	(14.0)	～3 5 万円未満	(3.7)	5 0 万円以上
(11.7)	～2 0 万円未満	(2.3)	～4 0 万円未満	(18.1)	無回答
(24.0)	～2 5 万円未満	(3.0)	～4 5 万円未満		

問30 65歳以上の高齢期の家計支出について、おうかがいします。

(1) あなたの世帯では、65歳以上の高齢期の家計支出を何によってまかなおうとお考えですか。65歳以上の方は、現在の状況をお答えください。(〇はいくつでも) (n=2,005)

(29.0)	1 給与収入	(2.5)	8 国や市町村等の公的機関からの援助
(6.7)	2 事業収入	(31.8)	9 貯蓄の取り崩し
(4.4)	3 不動産賃貸収入	(13.9)	10 退職一時金
(4.7)	4 利子・配当等での収入	(6.0)	11 満期保険金
(70.8)	5 公的年金	(0.4)	12 土地・家屋などの不動産売却収入
(32.5)	6 個人年金・企業年金	(0.1)	13 リバースモーゲージ *注
(3.1)	7 子ども、親戚などからの援助(仕送り)	(0.8)	14 その他(具体的に)

*注 リバースモーゲージとは、持ち家を担保として自治体や信託銀行等から融資を受け、融資額満了時(契約者の死亡時等)に持ち家を売却することにより融資額を一括返済するシステムを指します。

(9.0)無回答

(2) 上記(1)でお答えになった収入のうち、最も金額が大きくなるとお考えの収入は何ですか。番号を1つだけ選んで、ご記入ください。(n=2,005)

(15.8)	1 給与収入	(0.6)	8 国や市町村等の公的機関からの援助
(3.6)	2 事業収入	(4.3)	9 貯蓄の取り崩し
(1.2)	3 不動産賃貸収入	(2.6)	10 退職一時金
(0.3)	4 利子・配当等での収入	(0.3)	11 満期保険金
(45.6)	5 公的年金	(0.0)	12 土地・家屋などの不動産売却収入
(9.0)	6 個人年金・企業年金	(-)	13 リバースモーゲージ *注
(0.4)	7 子ども、親戚などからの援助(仕送り)	(0.7)	14 その他(具体的に)

(15.2)無回答

問31 あなたの世帯では、世帯主の方は現在公的年金の給付がありますか。(〇は1つ) (n=2,005)

(38.6)	1 すでに受け取っている	(4.3)	3 公的年金を受け取る資格がない
(50.7)	2 今は受け取っていないが、将来は受け取る予定	→次ページの問32へ	

(6.4)無回答

→【問31で「1」または「2」と回答した方に】

問31-1 世帯主の方が加入または受給または受け取る予定の公的年金は何ですか。(〇は1つ) (n=1,790)

(70.3)	1 厚生年金(民間サラリーマンの年金)	(16.0)	3 国民年金
(11.6)	2 共済組合の年金(公務員やこれに準ずる者の年金)		

(2.1)無回答

問31-2 世帯主の方の公的年金受給開始年齢は、何歳ですか。まだ受け取っていない場合は、受給開始予定年齢をご記入ください。(実数記入) (n=1,790)

(0.4)	60歳未満	(4.6)	66歳以上
(30.8)	60～65歳未満	(10.6)	無回答
(53.6)	65歳		

問3 1-3 世帯主の方の公的年金受取額は毎月おおよそいくら位ですか。まだ受け取っていない場合は、受取予想額をご記入ください。(実数記入)

(3.6)	5万円未満	(14.1)	～15万円未満	(4.8)	～30万円未満
(5.2)	～7万円未満	(23.3)	～20万円未満	(6.0)	30万円以上
(7.0)	～10万円未満	(19.7)	～25万円未満	(16.4)	無回答

(1.7)	5万円未満	(17.9)	～15万円未満	(1.8)	～30万円未満
(4.4)	～7万円未満	(16.3)	～20万円未満	(2.3)	30万円以上
(5.2)	～10万円未満	(11.9)	～25万円未満	(38.5)	無回答

(4.6)	5万円未満	(18.8)	～1.5万円未満	(0.8)	～3.0万円未満
(17.0)	～7万円未満	(4.8)	～2.0万円未満	(1.1)	3.0万円以上
(12.2)	～1.0万円未満	(2.5)	～2.5万円未満	(38.2)	無回答

【全員の方へ】

問33 あなたの世帯では、公的年金で、65歳以上の高齢期の支出を何割程度まかなえるとお考えでしょうか。
全部まかなえると思う方は「100」%とお答えください。また、公的年金が高齢期の支出を上回るとお考えの場合は「100」以上の数字をご記入ください。

65歳以上の方は、現在の状況をお答えください。(実数記入) (n=2,005)

(例：1か月の公的年金額が24万円で現役引退後の支出が20万円の場合は、24/20となるので、「120」%程度とご記入ください。)

※支出には次のものを含まず。

食費、光熱費、住宅ローン返済・住居費(住宅購入費や住宅改修費を除く)、被服費、耐久消費財購入費、交通・通信費、保健・医療費、教育娯楽・交際費

(0.3)	0%	(25.0)	～100%程度	(0.9)	～170%未満
(0.6)	～10%未満	(15.2)	100%	(0.2)	～200%未満
(10.9)	～50%未満	(0.9)	～120未満	(0.2)	200%以上
(18.6)	～70%未満	(4.5)	～150%未満	(22.5)	無回答

問34 あなたの世帯では、公的年金受給前に、どのくらい貯蓄額が必要だとお考えになりますか。すでに公的年金を受給している場合は、公的年金を受給開始時の貯蓄額をお答えください。(実数記入) (n=2,005)

(1.1)	0万円	(15.7)	1500万円未満	(9.9)	3500万円未満
(6.7)	500万円未満	(2.9)	2000万円未満	(2.2)	5000万円未満
(6.5)	700万円未満	(12.5)	2500万円未満	(9.8)	5000万円以上
(1.7)	1000万円未満	(0.9)	3000万円未満	(30.0)	無回答

遺産についておうかがいします。

【全員の方に】

問35 あなたの世帯では、子どもに残す遺産(生前贈与を含む)に関してどのようにお考えですか。
子どもがいらない場合は、いらないと仮定してお答えください。(〇は1つ) (n=2,005)

(30.2)	1	遺産(生前贈与を含む)は、いかなる場合においても残したい
(3.7)	2	遺産(生前贈与を含む)は、子どもが面倒を見てくれた場合に限って残したい
(0.6)	3	遺産(生前贈与を含む)は、子どもが事業を継いでくれた場合に限って残したい
(39.9)	4	遺産(生前贈与を含む)を積極的に残すつもりはないが、余った場合には残したい
(1.5)	5	その他(具体的に)
(17.2)	6	遺産(生前贈与を含む)を残したいとは思わない → 次ページの問36へ

(6.8)無回答

→ 【問35で「1」～「5」と回答した方に】

問35-1 あなたの世帯では、どのような資産を子どもに残したいとお考えですか。(〇はいくつでも) (n=1,523)

(37.0)	1	相続・贈与を受けた住宅・土地	(53.4)	4	みずから蓄積した貯蓄等の金融資産
(49.7)	2	みずから取得した住宅・土地	(5.3)	5	相続・贈与を受けたその他の資産
(8.9)	3	相続・贈与を受けた貯蓄等の金融資産	(11.0)	6	みずから取得したその他の資産
			(1.1)	7	その他(具体的に)

(2.5)無回答

問35-2 あなたの世帯で資産(生前贈与を含む)を子どもに残される場合、金融資産・住宅・土地その他の資産を含めた金額はどのくらいの金額になるとの見当がついていますか。(〇は1つ)(n=1,523)

(15.0)	1 ある程度見当がついている ⇒ 見込額 (n=228)	(18.9) ~1000万円未満 (21.1) ~1500万円未満 (8.3) ~2000万円未満 (12.3) ~3000万円未満	(16.7) ~5000万円未満 (14.0) ~1億円未満 (7.5) 1億円以上 (1.3) 無回答
(76.0)	2 見当がついていない		

(9.0) 無回答

問35-3 遺産(生前贈与を含む)を子どもに残す場合、その分け方に対する考え方を教えてください。(〇は1つ)(n=1,523)

(53.8)	1 子どもの人数に応じて、均等に分ける
(7.1)	2 家業などを継いだ子どもに、多く(もしくは全部)分ける
(4.9)	3 長男・長女に、多く(もしくは全部)分ける
(12.9)	4 介護など親の面倒を見た子どもに、多く(もしくは全部)分ける
(16.3)	5 子どもが1人なので、その子に全部残す
(1.8)	6 その他(具体的に)

(3.1) 無回答

【全員の方に】

問36 あなたの世帯では、世帯主の親からの遺産相続を受けたことがありますか。(〇は1つ)(n=2,005)

(26.9) 1 相続を受けたことがある (68.0) 2 相続を受けたことはない → 次ページの問37へ

(5.0) 無回答

→【問36で「1 相続を受けたことがある」と回答した方に】

問36-1 親からの遺産の相続を受けたのは今から何年前のことですか。(実数記入)

※複数回受けたことがある場合は、一番最近受けたときのことをお答えください。(n=540)

(9.6) 3年未満前	(12.6) ~15年未満前	(24.1) 30年以上前
(7.0) ~5年未満前	(10.0) ~20年未満前	(5.6) 無回答
(6.3) ~7年未満前	(10.0) ~25年未満前	
(8.3) ~10年未満前	(6.5) ~30年未満前	

【問36で「1 相続を受けたことがある」と回答した方に】

問36-2 世帯主の親から相続した資産についておうかがいします。

(1) 世帯主の親から相続した遺産はどのような種類の資産ですか。1～5のうち、あてはまるものをすべてお知らせください。(〇はいくつでも) (n=540)

(2) 世帯主の親から相続したものについて、それぞれ、その資産の相続時の価額をご記入ください。(実数記入)

※複数回受けたことがある場合は、受けたことのあるものをすべて含めてお答えください。

	(1) 相続した 資産(〇は いくつでも)	2) 相続時の価額			
居住用の不動産 (一戸建て) (n=315)	(58.3)	(3.2)	～100万円未満	(8.3)	～1500万円未満
		(5.7)	～200万円未満	(3.8)	～2000万円未満
		(4.1)	～300万円未満	(5.7)	～3000万円未満
		(3.8)	～400万円未満	(5.4)	～5000万円未満
		(1.0)	～500万円未満	(5.7)	5000万円以上
		(7.6)	～700万円未満	(41.0)	無回答
		(4.8)	～1000万円未満		
居住用の不動産 (マンション) (n=9)	(1.7)	(-)	～100万円未満	(11.1)	～1500万円未満
		(-)	～200万円未満	(-)	～2000万円未満
		(-)	～300万円未満	(11.1)	～3000万円未満
		(-)	～400万円未満	(11.1)	～5000万円未満
		(-)	～500万円未満	(-)	5000万円以上
		(11.1)	～700万円未満	(55.6)	無回答
		(-)	～1000万円未満		
その他の不動産 (n=192)	(35.6)	(4.2)	～100万円未満	(9.9)	～1500万円未満
		(5.2)	～200万円未満	(3.1)	～2000万円未満
		(8.9)	～300万円未満	(6.3)	～3000万円未満
		(3.1)	～400万円未満	(3.6)	～5000万円未満
		(0.5)	～500万円未満	(6.3)	5000万円以上
		(7.8)	～700万円未満	(35.9)	無回答
		(5.2)	～1000万円未満		
金融資産 (n=172)	(31.9)	(3.5)	～100万円未満	(12.8)	～1500万円未満
		(11.0)	～200万円未満	(4.7)	～2000万円未満
		(7.0)	～300万円未満	(8.1)	～3000万円未満
		(9.9)	～400万円未満	(4.7)	～5000万円未満
		(5.2)	～500万円未満	(2.9)	5000万円以上
		(8.1)	～700万円未満	(15.1)	無回答
		(7.0)	～1000万円未満		
その他 (n=4) (具体的に)	(0.7)	(25.0)	～100万円未満	(25.0)	～1500万円未満
		(-)	～200万円未満	(-)	～2000万円未満
		(-)	～300万円未満	(25.0)	～3000万円未満
		(25.0)	～400万円未満	(-)	～5000万円未満
		(-)	～500万円未満	(-)	5000万円以上
		(-)	～700万円未満	(-)	無回答
		(-)	～1000万円未満		
合計 (n=509)		(2.6)	～100万円未満	(10.4)	～1500万円未満
		(5.5)	～200万円未満	(4.1)	～2000万円未満
		(6.1)	～300万円未満	(7.1)	～3000万円未満
		(5.3)	～400万円未満	(7.3)	～5000万円未満
		(2.9)	～500万円未満	(7.5)	5000万円以上
		(7.1)	～700万円未満	(29.7)	無回答
		(4.5)	～1000万円未満		
無回答	(7.2)				

【問36で「1 相続を受けたことがある」と回答した方に】

問3 6-3 世帯主の親から受けたことのある遺産は、世帯主の方のほかにも、どなたが受け取りましたか。

(〇はいくつでも) (n=540)

(18.5) 1 親の配偶者が受け取った →問37へ

(41.3) 2 世帯主の兄弟・姉妹が受け取った

(1.1) 3 他の親族が受け取った

(0.4) 4 寄付した

(-) 5 その他(具体的に)

(41.1) 6 世帯主の方以外に受け取った人はいない

→問37へ

(5.7)無回答

【問36-3で「2 世帯主の兄弟・姉妹が受け取った」と回答した方に】

問3 6-4 その遺産はどのように分けられましたか。(〇はいくつでも)(n=223)

(49.3) 1 兄弟・姉妹の間で、ほぼ均等に分けられた

(23.8) 2 兄弟・姉妹の間で、家業などを継いだ子どもに多く(もしくは全部)分けた

(10.8) 3 兄弟・姉妹の間で、長男・長女に多く(もしくは全部)分けた

(11.2) 4 兄弟・姉妹の間で、介護など親の面倒を見た子どもに多く(もしくは全部)分けた

(-) 5 子どもが1人なのでその子どもがすべてを相続した

(6.7) 6 その他(具体的に)

(0.0)無回答

【全員の方に】

問3 7 あなたの世帯では将来、世帯主の親、または配偶者の親から、不動産や金融資産などを遺産または生前贈与してもらえenと思いますか。(〇は1つ) (n=2,005)

(23.7) 1 もらえると思う(または、すでにもらっている)

(39.7) 2 もらえると思わない(または、もらえなかった)

(28.5) 3 わからない

→次ページの F1へ

(8.1)無回答

【問37で「1 もらえると思う(または、すでにもらっている)」と回答した方のみ】

問3 7-1 それはどのような種類ですか。(〇はいくつでも) (n=476)

(59.0) 1 居住用の不動産(一戸建て)

(28.4) 3 その他の不動産

(5.9) 5 その他

(5.3) 2 居住用の不動産(マンション)

(40.3) 4 金融資産

(1.3)無回答

問3 7-2 また、その時価総額はいくら位になると思いますか。(実数記入) (n=476)

(2.1) ~100万円未満

(9.0) ~700万円未満

(7.6) ~5000万円未満

(2.9) ~200万円未満

(2.3) ~1000万円未満

(6.1) ~1億円未満

(2.3) ~300万円未満

(14.1) ~1500万円未満

(2.9) 1億円以上

(5.0) ~400万円未満

(3.4) ~2000万円未満

(31.7) 無回答

(0.8) ~500万円未満

(9.7) ~3000万円未満

あなたとご家族のことについておうかがいします。

【全員の方に】

F 1 世帯主の性別についておうかがいします。(○は1つ) (n=2, 005)

(92.7) 1 男 性	(7.3) 2 女 性	(-) 無回答
--------------	--------------	-----------

F 2 世帯主のお生まれの年月をご記入ください。(実数記入) (n=2, 005)

※23 ページの「西暦・元号対比表」をご参照ください。

(1.3) 2 0 歳代	(20.0) 5 0 歳代	(-) 無回答
(10.0) 3 0 歳代	(23.8) 6 0 歳代	
(20.8) 4 0 歳代	(24.1) 7 0 歳以上	

F 3 世帯主のご健康状態は、いかがでしょうか。(○は1つ) (n=2, 005)

(41.7) 1 健康である	(12.9) 3 あまり健康でない	(0.6) 無回答
(40.1) 2 まあ健康である	(4.6) 4 健康でない	

F 4 あなたの世帯では、以下の資産をお持ちですか（世帯主・配偶者のみでなく、生計を共にされている方全てがお持ちのものを含みます）。

（１）お持ちの資産の種類をお知らせください。１～４のうち当てはまるものをすべてお知らせください。（n=2, 005）

（２）お持ちのものそれぞれについて、その現在の評価額（時価評価額）をお知らせください（事業用部分は除く）。

資産別の額が分からなくても、合計額のみご記入可能な方は、その額をお知らせください。（実数記入）

※回答可能な範囲でお答えいただければ結構です。正確な金額が分からないものは、推計額で結構です。

	(1) 世帯でお持ちの資産(○はいくつでも)		(2) 時価評価額	
現在居住している土地 (n=1, 202)	(60.0)		(1.7) ～100万円未満 (3.1) ～200万円未満 (1.6) ～300万円未満 (3.2) ～400万円未満 (2.2) ～500万円未満 (9.5) ～700万円未満 (7.2) ～1000万円未満	(13.7) ～1500万円未満 (5.3) ～2000万円未満 (6.7) ～3000万円未満 (4.9) ～5000万円未満 (1.7) ～1億円未満 (0.7) 1億円以上 (38.5) 無回答
現在居住している建物 (n=1, 339)	(66.8)		(8.0) ～100万円未満 (4.9) ～200万円未満 (4.3) ～300万円未満 (4.1) ～400万円未満 (1.3) ～500万円未満 (9.5) ～700万円未満 (4.8) ～1000万円未満	(10.4) ～1500万円未満 (4.0) ～2000万円未満 (6.3) ～3000万円未満 (3.2) ～5000万円未満 (1.0) ～1億円未満 (0.1) 1億円以上 (38.2) 無回答
その他の土地および建物 (別荘、通勤用住宅、投資用マンション等) (n=207)	(10.3)		(2.4) ～100万円未満 (4.3) ～200万円未満 (3.4) ～300万円未満 (2.4) ～400万円未満 (1.4) ～500万円未満 (7.2) ～700万円未満 (5.8) ～1000万円未満	(5.8) ～1500万円未満 (4.3) ～2000万円未満 (8.7) ～3000万円未満 (13.0) ～5000万円未満 (4.3) ～1億円未満 (2.9) 1億円以上 (33.8) 無回答
その他（ゴルフ会員権、貴金属、書画、骨董等） (n=84)	(4.2)		(28.6) ～100万円未満 (20.2) ～200万円未満 (2.4) ～300万円未満 (7.1) ～400万円未満 (1.2) ～500万円未満 (7.1) ～700万円未満 (-) ～1000万円未満	(7.1) ～1500万円未満 (-) ～2000万円未満 (3.6) ～3000万円未満 (1.2) ～5000万円未満 (2.4) ～1億円未満 (-) 1億円以上 (19.0) 無回答
合計 (n=2, 005)			(1.5) ～100万円未満 (0.4) ～200万円未満 (0.3) ～300万円未満 (0.4) ～400万円未満 (0.4) ～500万円未満 (1.9) ～700万円未満 (2.3) ～1000万円未満	(3.1) ～1500万円未満 (2.2) ～2000万円未満 (5.0) ～3000万円未満 (3.5) ～5000万円未満 (1.8) ～1億円未満 (0.9) 1億円以上 (76.0) 無回答
無回答	(27.2)			

【全員の方に】

F 5 あなたの世帯が昨年1年間に支払った所得税・住民税・社会保険料がありましたか。ある場合は「1 ある」に○をつけ、その金額を記入してください。なかった場合は「2 なし」に○をつけ、「0」と記入してください。
(実数記入) (n=2, 005)

① 所得税・住民税 (n=841)

(19.6)	10万円未満	(5.7)	～50万円未満	(4.3)	～200万円未満
(14.3)	～20万円未満	(10.9)	～70万円未満	(7.6)	200万円以上
(11.8)	～30万円未満	(6.5)	～100万円未満		
(9.2)	～40万円未満	(10.1)	～150万円未満		
(77.0)あり		(8.9)なし		(14.1)無回答 (n=2, 005)	

② 社会保険料 (n=805)

(5.6)	10万円未満	(8.0)	～50万円未満	(3.7)	～200万円未満
(10.8)	～20万円未満	(17.4)	～70万円未満	(3.2)	200万円以上
(11.6)	～30万円未満	(14.2)	～100万円未満		
(10.8)	～40万円未満	(14.8)	～150万円未満		
(70.7)あり		(8.2)なし		(21.1)無回答 (n=2, 005)	

F 6 世帯主の最終学歴はどれにあたりますか。(○は1つ) (n=2, 005)

(12.2)	1	中学校(旧制小・高等小)	(5.9)	4	短大・高等専門学校	(0.1)	7	その他
(40.6)	2	高等学校(旧制中・旧制高女)	(20.3)	5	大学・大学院(文系)			(具体的に)
(6.4)	3	専修学校・各種学校	(12.3)	6	大学・大学院(理系)	(0.2)	8	わからない

(1.8)無回答

F 7 あなた(このアンケートをご記入くださっている方)は、どなたですか。(○は1つ) (n=2, 005)

(62.4)	1	世帯主ご本人	(-)	6	世帯主の親、世帯主の配偶者の親
(37.6)	2	世帯主の配偶者	(-)	7	世帯主の祖父、または祖母
(-)	3	世帯主の子ども	(-)	8	世帯主の兄弟・姉妹
(-)	4	世帯主の子どもの配偶者	(-)	9	その他(具体的
(-)	5	世帯主の孫	(-)	に :	)
無回答					

F 8 世帯主の方のお子さまは何人いらっしゃいますか。(実数記入) (n=2, 005)

(8.7)	0人	(0.5)	5人
(17.4)	1人	(0.2)	6人
(48.4)	2人	(-)	7人以上
(20.4)	3人	(1.9)	無回答
(2.5)	4人		

F 9 現在、同居のご家族の方は、あなたを含めて何人いらっしゃいますか。ひとり暮らしの方は、「1」とご記入ください。(実数記入) (n=2, 005)

(-)	1人	(8.7)	5人
(37.2)	2人	(3.3)	6人
(26.1)	3人	(1.8)	7人以上
(22.9)	4人	(-)	無回答

F10 現在、あなたが同居しているご家族の方々は、どなたですか。あなたご自身を含め、あてはまる方すべてに○をつけ、それぞれ人数もご記入ください。(○はいくつでも)

	同居家族の 家族構成	人 数			
世帯主	(100.0)				
世帯主の配偶者	(90.4)				
世帯主の子ども (n=1,266)	(63.1)	(50.0) 1人	(0.3) 5人	(36.0) 2人	(-) 6人
		(9.4) 3人	(-) 7人以上	(1.3) 4人	(3.0) 無回答
世帯主の子どもの配偶者 (n=71)	(3.5)	(88.7) 1人	(-) 5人	(4.2) 2人	(-) 6人
		(-) 3人	(-) 7人以上	(-) 4人	(7.0) 無回答
世帯主の孫 (n=97)	(4.8)	(46.4) 1人	(2.1) 5人	(38.1) 2人	(-) 6人
		(9.3) 3人	(-) 7人以上	(3.1) 4人	(1.0) 無回答
世帯主の親、世帯主の 配偶者の親 (n=283)	(14.1)	(74.2) 1人	(-) 5人	(16.6) 2人	(-) 6人
		(-) 3人	(-) 7人以上	(-) 4人	(9.2) 無回答
世帯主の祖父、または祖母 (n=8)	(0.4)	(87.5) 1人	(-) 5人	(12.5) 2人	(-) 6人
		(-) 3人	(-) 7人以上	(-) 4人	(-) 無回答
世帯主の兄弟・姉妹 (n=29)	(1.4)	(69.0) 1人	(-) 5人	(13.8) 2人	(-) 6人
		(-) 3人	(-) 7人以上	(-) 4人	(17.2) 無回答
その他 (n=15)	(0.7)	(60.0) 1人	(6.7) 5人	(6.7) 2人	(-) 6人
		(13.3) 3人	(-) 7人以上	(-) 4人	(13.3) 無回答
無回答	(-)				

【F10で、「3 世帯主の子ども」に○をつけた方のみ】

F10-1 一番下のお子様の年齢をお知らせください。(実数記入) (n=1,266)

(10.9) 3歳未満	(3.0)	9～11歳未満	(6.8)	17～20歳未満
(5.2) 3～5歳未満	(3.8)	11～13歳未満	(43.4)	20歳以上
(5.5) 5～7歳未満	(5.3)	13～15歳未満	(4.6)	無回答
(5.1) 7～9歳未満	(6.5)	15～17歳未満		

【F10で、「5 世帯主の孫」に○をつけた方のみ】

F 1 0-2 一番下のお孫様の年齢をお知らせください。(実数記入) (n=97)

(22.7)	3歳未満	(8.2)	9～11歳未満	(10.3)	17～20歳未満
(11.3)	3～5歳未満	(6.2)	11～13歳未満	(6.2)	20歳以上
(5.2)	5～7歳未満	(7.2)	13～15歳未満	(6.2)	無回答
(7.2)	7～9歳未満	(9.3)	15～17歳未満		

【全員の方に】

F 1 1 生計をとともにしている別居中のご家族がいらっしゃいますか。(○は1つ) (n=2,005)

(9.8)	1	いる	(84.3)	2	いない	(5.9)	無回答
-------	---	----	--------	---	-----	-------	-----

F 1 2 世帯主のお子様のうち、同別居に関わらず、すでに独立しておられる方(働いて収入を得ていたり、専業主婦になっていたりして生計を別にしていらっしゃる方)は、現在どちらにお住まいですか。(○はいくつでも) (n=2,005)

(14.7)	1	すでに独立している子どもと現在同居している
(7.1)	2	近所(徒歩15分以内)に別居している子どもがいる
(20.1)	3	片道1時間未満のところに別居している子どもがいる
(24.9)	4	片道1時間以上のところに別居している子どもがいる
(36.4)	5	独立している子どもはいない(または子どもがいない)

(12.3)無回答

F 1 3 世帯主の配偶者の方のお生まれの年月をご記入ください。(実数記入) (n=2,005)

※世帯主の配偶者がいらっしゃらない場合は、「X 世帯主に配偶者はいない」に○をつけて、次ページのF 1 6へお進みください。

※23ページの「西暦・元号対比表」をご参照ください。

(2.2)	20歳代	(20.5)	50歳代
(12.8)	30歳代	(24.0)	60歳代
(21.5)	40歳代	(18.9)	70歳以上

(85.2) 世帯主に配偶者あり (8.6) 世帯主に配偶者はいない (6.1) 無回答

【世帯主に配偶者がおいでの方に】

F 1 4 世帯主の配偶者の方のご健康状態は、いかがでしょうか。(○は1つ) (n=1,709)

(44.4)	1	健康である	(11.2)	3	あまり健康でない	(0.6)	無回答
(40.2)	2	まあ健康である	(3.6)	4	健康でない		

F 1 5 世帯主の配偶者の方の最終学歴はどれにあたりますか。(○は1つ) (n=1,709)

(9.4)	1	中学校(旧制小・高等小)	(18.7)	4	短大・高等専門学校	(0.1)	7	その他
(44.4)	2	高等学校(旧制中・旧制高女)	(13.1)	5	大学・大学院(文系)			(具体的に)
(9.8)	3	専修学校・各種学校	(3.2)	6	大学・大学院(理系)	(0.2)	8	わからない

(1.1)無回答

【全員の方に】

F 1 6 世帯主の方、または世帯主の配偶者の親御様についておうかがいします。

※世帯主の配偶者がいらっしゃらない場合は、世帯主の親御様についてのみお答えください。

(1) 現在、どのようにお住まいですか。(〇はそれぞれ1つ)

(2) 親御様の中に、介護が必要な方はいらっしゃいますか。(〇はそれぞれ1つ)

【F16(2)で、「2 (介護を)必要とする」とお答えの方について】

(3) 介護が必要な親御様がいらっしゃる場合、主な介護者はどなたですか。(〇はそれぞれ1つ)

(4) 介護のために、あなたの世帯が負担されている費用は月々いくらくらいですか。(〇はそれぞれ1つ)

	世帯主のご両親		[世帯主に配偶者のいる方に] 配偶者のご両親	
	母親 (n=2, 005)	父親 (n=2, 005)	母親 (n=1, 709)	父親 (n=1, 709)
(1) あなたとの同別居状態 (〇はそれぞれ1つずつ)	(9.2) 同居中 (16.7) 別居中 (同じ市町村) (23.8) 別居中(他の地域) (41.1) 母親はいない	(2.5) 同居中 (12.5) 別居中 (同じ市町村) (16.0) 別居中(他の地域) (58.0) 父親はいない	(4.2) 同居中 (19.4) 別居中 (同じ市町村) (31.2) 別居中(他の地域) (37.2) 母親はいない	(1.3) 同居中 (13.9) 別居中 (同じ市町村) (20.8) 別居中(他の地域) (55.6) 父親はいない
	(9.2) 無回答	(11.0) 無回答	(8.0) 無回答	(8.4) 無回答
	母親 (n=997)	父親 (n=622)	母親 (n=937)	父親 (n=615)
(2) 介護の必要有無 (〇はそれぞれ1つずつ)	(82.6) 必要としない (16.5) 必要とする	(87.6) 必要としない (11.6) 必要とする	(81.9) 必要としない (15.0) 必要とする	(88.5) 必要としない (8.9) 必要とする
	(0.8) 無回答	(0.8) 無回答	(3.1) 無回答	(2.6) 無回答
	母親 (n=165)	父親 (n=72)	母親 (n=141)	父親 (n=55)
(3) 主に介護している方 (〇はそれぞれ1つずつ)	(13.9) 世帯主 (16.4) 世帯主の配偶者 (4.8) 世帯主の父親 (18.8) その他の親族 (10.9) 介護老人福祉施設 (特養) (9.1) 介護保健施設 (老健) (3.6) 療養型病床 (8.5) 有料老人ホーム (3.0) 病院 (10.3) その他	(13.9) 世帯主 (8.3) 世帯主の配偶者 (19.4) 世帯主の母親 (6.9) その他の親族 (15.3) 介護老人福祉施設 (特養) (8.3) 介護保健施設 (老健) (-) 療養型病床 (6.9) 有料老人ホーム (9.7) 病院 (9.7) その他	(7.1) 世帯主 (20.6) 世帯主の配偶者 (5.0) 配偶者の父親 (17.0) その他の親族 (14.2) 介護老人福祉施設 (特養) (6.4) 介護保健施設 (老健) (1.4) 療養型病床 (12.8) 有料老人ホーム (5.0) 病院 (7.1) その他	(-) 世帯主 (20.0) 世帯主の配偶者 (21.8) 配偶者の母親 (9.1) その他の親族 (3.6) 介護老人福祉施設 (特養) (7.3) 介護保健施設 (老健) (3.6) 療養型病床 (9.1) 有料老人ホーム (10.9) 病院 (7.3) その他
	(0.6) 無回答	(1.4) 無回答	(3.5) 無回答	(7.3) 無回答

	母親 (n=165)	父親 (n=72)	母親 (n=141)	父親 (n=55)
(4) 介護費用 の負担額 (〇はそれぞれ 1つずつ)	(21.2) 3万円未満	(11.1) 3万円未満	(18.4) 3万円未満	(18.2) 3万円未満
	(10.3) 3～5万円未満	(4.2) 3～5万円未満	(5.0) 3～5万円未満	(3.6) 3～5万円未満
	(7.3) 5～7万円未満	(5.6) 5～7万円未満	(5.7) 5～7万円未満	(3.6) 5～7万円未満
	(6.1) 7～10万円未満	(5.6) 7～10万円未満	(5.7) 7～10万円未満	(5.5) 7～10万円未満
	(6.1) 10～15万円未満	(8.3) 10～15万円未満	(6.4) 10～15万円未満	(5.5) 10～15万円未満
	(5.5) 15万円以上	(6.9) 15万円以上	(8.5) 15万円以上	(1.8) 15万円以上
	(21.2) わからない	(23.6) わからない	(27.7) わからない	(32.7) わからない
	(17.0) 費用負担はない	(27.8) 費用負担はない	(15.6) 費用負担はない	(20.0) 費用負担はない
	(5.5) 無回答	(6.9) 無回答	(7.1) 無回答	(9.1) 無回答

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

